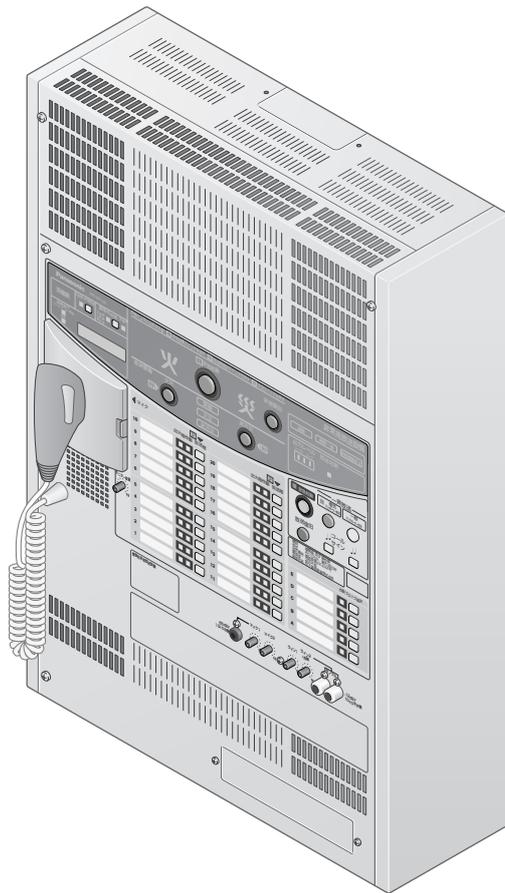


Panasonic[®]

工事説明書

壁掛形非常用放送設備

品番 WK-EK110 WK-EK115 WK-EK120



<ソフトウェアの改訂について>

本機*は、従来の機能を向上させて、7種類のメッセージ音声を内蔵しています。

※：2006年5月生産（製造番号：FE0001）以降の製品が対象

納入システムをご確認ください

システム設計書、承認図などを今一度読み直し、ユニット、工事部品に欠品がないか確認してください。

- 非常放送、業務放送の局数は、WK-EK110は10局10回線、WK-EK115は15局15回線、WK-EK120は20局20回線です。
- 電力増幅ユニットのW数は、60 W、120 W、240 W、360 Wの4種類です。
- 蓄電池の容量は、電力増幅ユニットのW数に合わせて、蓄電池（NCB-165、NCB-350、NCB-600）の3種類から選択します。
- 緊急時に自動放送する内容が、内蔵可能なメッセージ時間では十分でないときは、デジタルICプレーヤー／レコーダー等の外部音源機器を使用します。
- 停電時に緊急放送や業務放送をするときは、業務用電源ユニット（特別受注生産品）と蓄電池（NCB-350または、NCB-600）が必要です。
- 非常リモコンの台数は、最大4台まで接続できます。
- マルチリモコンマイクの台数は、最大4台まで接続できます。非常リモコンと合わせて合計5台以上の場合、マルチリモコンマイクに別売のACアダプター（WZ-MC100）が必要です。
- 一般リモコンの台数は、単局、5局、10局リモコンを最大2台まで接続できます。
- ラジオチューナーは、別売のラジオチューナーユニット（WU-T60）を1台取り付けることができます。
- ラックに収納するときは、ラックマウント金具が別途必要です。
- オリジナル階情報を放送するときは、別売の増設階情報メモリーカードが必要です。
- オリジナルメッセージやオリジナルコールサインを放送するときは別途、オリジナルの音源（メッセージ、コールサインなど）と「設定支援ソフト」*を用意してください。

※：設定支援ソフトの入手方法は販売会社にご相談ください。（無償）

付属品をご確認ください

マイクロホン（本体マイク用）.....	1	グロメット.....	1
チューナー用線材*1.....	1	束線バンド.....	3
外部制御出力用ケーブル*1.....	1	返信用ハガキ.....	1
取扱説明書.....	1	分電盤注意ラベル.....	1
工事説明書（本書）.....	1	型紙.....	1
「非常放送のしかた」手順書.....	1	定格拉ベル*2.....	1
保証書.....	1	コードランプ*1.....	1

*1：この付属品は、本機内部下面にあります。

*2：この付属品は、本機内部操作パネル面にあります。

もくじ

[はじめに]

納入システムをご確認ください	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	6
設置工事の前に	9
■設置上の主な技術基準	9
■接続線について	10
■外観寸法図	12
■取り付け孔・通線口位置図	12
■工事の順序	12
■設置上のご注意	13

[設置のしかた]

設置のしかた	14
■本体内 各部のなまえ	14
■設置手順	14
1. 輸送補強金具の取り外し	14
2. 取り付け位置の決定	15
3. 本体の取り付け	15
4. 配線と結線	16
5. 本体マイクロホン（付属マイクロホン）の接続	18
6. 電力増幅ユニット、蓄電池の取り付け	19
7. 操作パネル面に仕様を表示	20
●ラックに収納する場合	21

[接続のしかた]

接続のしかた	22
■スピーカーの接続	22
■自火報起動端子の接続	23
■スプリンクラー／感知器（受信機）への配線例	23
■非常外部制御端子の接続	24
■非常リモコンの接続	25
■音声入力端子の接続	27
■マルチリモコンマイクの接続	30
■一般リモコンマイクの接続	32
■ラジオチューナーの接続	34
■外部制御出力の接続	35
■停電起動と業務用電源ユニットの接続	36
■停電時に緊急放送を行う場合の接続	38
■蓄電池・電源の接続	40
■接続・配線の点検	41
■放送先名称の表示について	42

はじめに

設置のしかた

接続のしかた

書き込みのしかたと調整

保守点検

[書き込みのしかたと調整]

はじめに

設置のしかた

接続のしかた

書き込みのしかたと調整

保守点検

書き込みとは	43
■書き込み・読み出しの流れ（システム設定データ）	43
■書き込み・読み出しの流れ（音源データ）	44
書き込みのしかた	45
■書き込みの手順について	45
■書き込みに使用するスイッチ	46
■書き込み開始（パスワード入力）	47
■書き込み中の放送と注意事項	48
■設定データの初期化	49
書き込み画面の構成	50
■書き込み画面構成	50
■設定項目一覧	52
■書き込み終了	55
■書き込みデータの確認	55
書き込みのしかた（設定表の作成）	56
■説明のためのシステム例	56
防災センター内の音源機器の接続	56
システム構成	57
運用形態	57
本体スイッチの割り当て	57
■設定表について	58
基本設定表の作成	58
出火連動階系統表の作成	60
放送系統表の作成	61
書き込みのしかた（本体操作）	62
■機器構成設定	62
■非常放送設定	63
■業務放送設定	65
■緊急放送設定	75
■その他の設定	75
書き込みのしかた（PCカード）	88
■PCカード設定	88
動作履歴について	96
■動作履歴の確認	96
■動作履歴の初期化	96
工場出荷設定	97
■初期値一覧表	97
■内蔵メッセージ音声の内容	99
設定表	100
1.基本設定表	100
2.出火連動階系統表	102
3.放送系統表	103

調整のしかた	104
■調整	104
設置時の点検	108
■動作点検（非常放送）	108
■動作点検（緊急放送）	112
■動作点検（業務放送）	113
■スピーカー回線の点検および絶縁抵抗試験	114

[保守点検]

保守点検	115
■総合点検	115
■自動点検について	116
■電源の点検	117
■手動点検（蓄電池の点検）	117
■蓄電池の電圧測定のしかた	118
■蓄電池の交換について	119
故障かな!?	120

はじめに

設置のしかた

接続のしかた

書き込みのしかたと調整

保守点検

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

蓄電池に強い衝撃を与えない



禁止

ハンマーなどでたたいたり、釘などを打ち込まないでください。発火・破裂の原因となります。

蓄電池を分解しない



分解禁止

電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故の原因となります。

蓄電池の \oplus \ominus 端子をショートさせない



禁止

発熱、発火の原因となります。

蓄電池を火の中に入れてない



禁止

火気にも近づけないでください。発火、破裂の原因となります。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに分電盤の電源を切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

周囲に物を置かない



禁止

非常時の操作を妨げる原因となります。

- 指定範囲は常に整理、整頓してください。

定期的な点検をする



非常時に適切な避難誘導が行えない原因となります。

- 点検は、販売店や保守契約店に依頼してください。

質量に耐える取り付けをする



取付の場所や方法が不適切な場合、落下（や転倒）などでの原因となります。

- 販売店に依頼してください。

決められたヒューズを使う



規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。

雷のときは工事、配線をしな



火災や感電の原因となります。

定格20 A以上・交流100 Vの分電盤に接続する



指定外の接続をした場合、非常時に適切な避難誘導が行えない原因となります。

電源ケーブルを熱器具および発熱物に近づけない



禁止

ケーブルの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけない



禁止

重いものをのせたり、はさんだりするとケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに分電盤の電源を切り、販売店にご連絡ください。

 **注意**

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、
火災の原因になります。

蓄電池をぬらさない

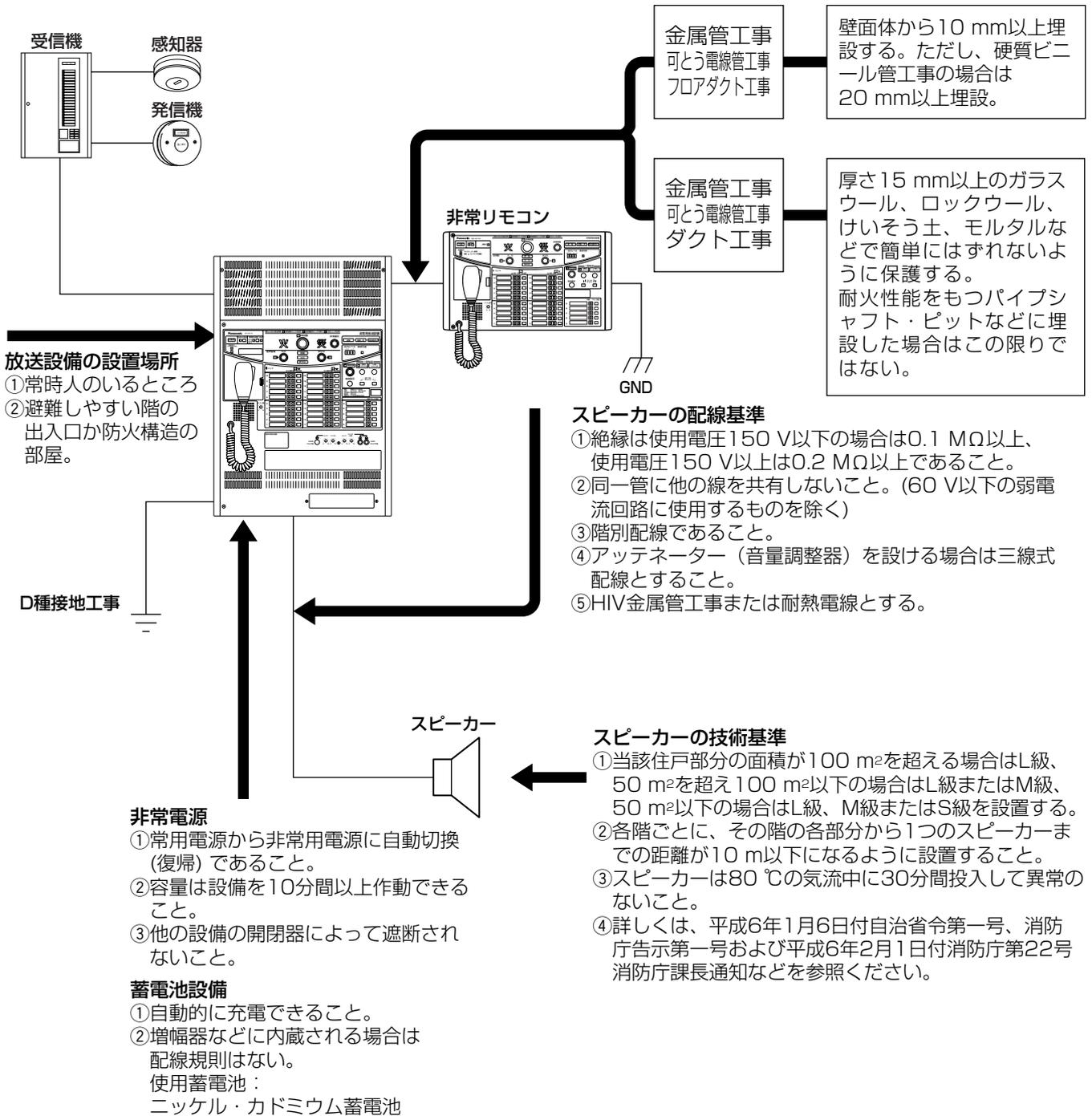


禁止

発熱、破損などの原因
となります。

設置工事の前に

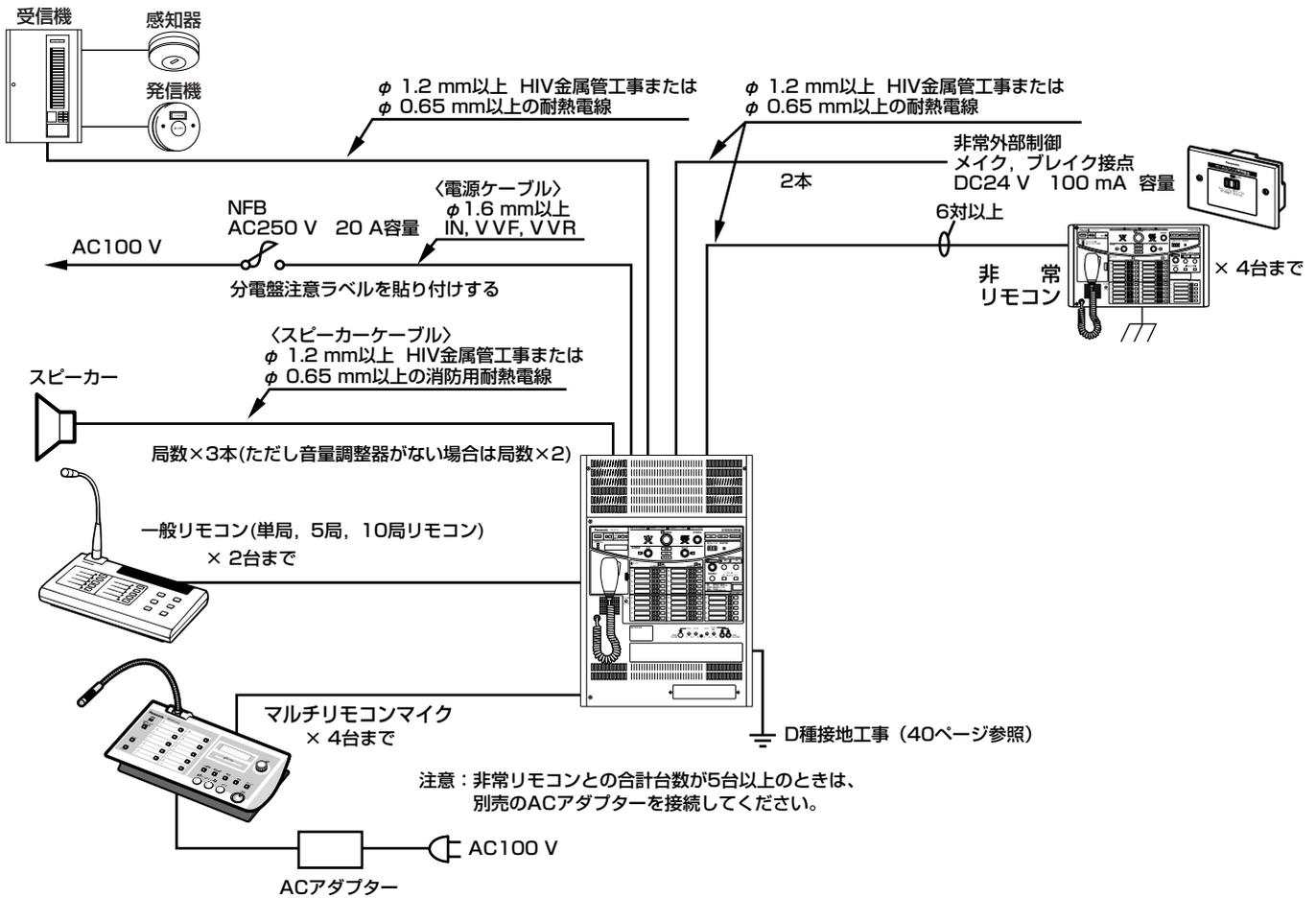
■設置上の主な技術基準



■接続線について

接続線は、下図を参考にご用意ください。

※配線工事（AC電源、スピーカーケーブルなど）には、電気工事士の資格が必要です。



●AC電源配線

※AC100V電線関係の配線工事には、電気工事士の資格が必要です。

非常用放送設備は、非常電源を有するため消防法施行規則第25条2-2-5項に基づき、規則第24条の4項の規定を受けます。

1. AC配線は、他の電気回路の開閉器または遮断器により遮断されないこと。
2. 600V耐熱ビニル絶縁電線か、これと同等以上の耐熱性をもった電線を使用し、金属管工事により、これを鉄筋コンクリート造、鉄筋、鉄骨コンクリート造など耐火構造に10mm以上埋設すること。
なお、主要構造物が耐火構造でない建築物または耐火構造の主要構造物に埋設することが困難なときは、MIケーブルまたは耐火電線(840℃ 30分) [昭和53年10月16日告示7号に基づく新基準]を用いて露出配線すること。
3. 電線は、より線の場合は2.0mm以上、単線の場合は直径1.6mm以上で、線路抵抗(往復)による電圧降下が5V以内となるものをお選びください。

600Vビニル絶縁電線表(JIS C3307による)

単線(軟銅)			より線(軟銅)		
導体		導体抵抗 Ω/km 20℃	導体		導体抵抗 Ω/km 20℃
径(mm)	断面積 (mm ²)		公称断面積 (mm ²)	外径(mm)	
1.6	2.011	8.92	2.0	1.8	9.24
2.0	3.142	5.65	3.5	2.4	5.20

●非常リモコン (WR-EC110/115/120) の接続線

- 必ず消防用認定耐熱対形ケーブル (ペア線) : 6対以上を使用してください。

6対 (6ペア) の内訳は、信号線で5ペア、電源線で1ペアです。

※電源線 (24 Vと0 V) の本数を増やすと、距離を延ばせます。

- ・1ペア増やすと距離は2倍
- ・2ペア増やすと距離は3倍

電源線を考慮して、線径1.2 mmの7対 (7ペア) 以上のケーブルを通線してください。

7ペア-5ペア=2ペア…電源線で利用できるペア数

300 m×2ペア=600 mの延長距離となります。

線径(mm)	φ0.65	φ0.9	φ1.2	φ1.6	φ2.0
導体抵抗 (20℃)Ω/km	56.8	29.2	16.5	9.29	5.94
信号線(m) (50Ω以下)	880	1,000	1,000	1,000	1,000
電源線(m) (5Ω以下)	88	170	300	530	840

●マルチリモコンマイク (WR-MC100) の接続線

データ線

データ線はペア線を使用してください。(平行線では外部ノイズの影響によって、信号 (データ) が乱れることがあります。)

データ線 (LB+, LB-) の総延長距離は1,000 mまでです。

線径(mm)	φ0.65	φ0.9	φ1.2
最大距離	200 m	600 m	1,000 m

音声シールド線 (2芯シールド線)

線径(mm)	φ0.35以上	φ0.5以上
最大距離	500 m	1,000 m

電源線

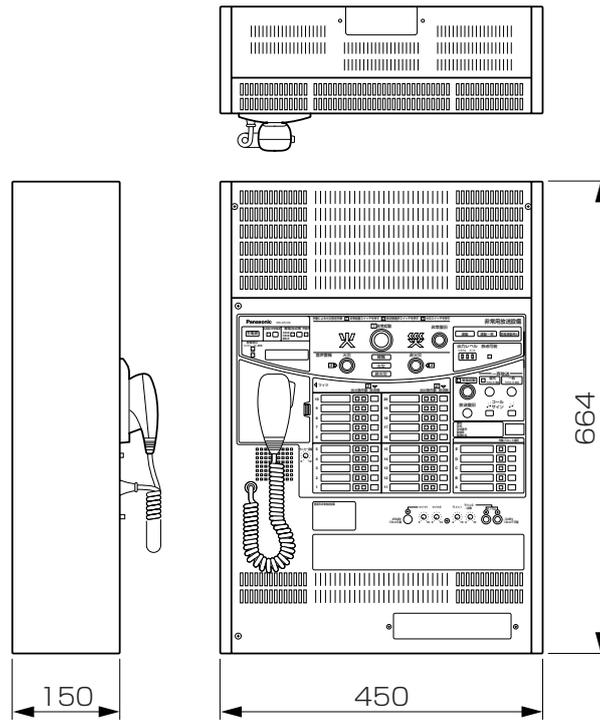
電源線は線径により延長距離に制約がありますので、下表を参照してペア数を決定してください。

線径(mm)	距離								
	200 m	300 m	400 m	500 m	600 m	700 m	800 m	900 m	1,000 m
φ0.9	1ペア	2ペア	2ペア	3ペア	3ペア	不可	不可	不可	不可
φ1.2	1ペア	1ペア	2ペア	2ペア	2ペア	2ペア	3ペア	3ペア	3ペア

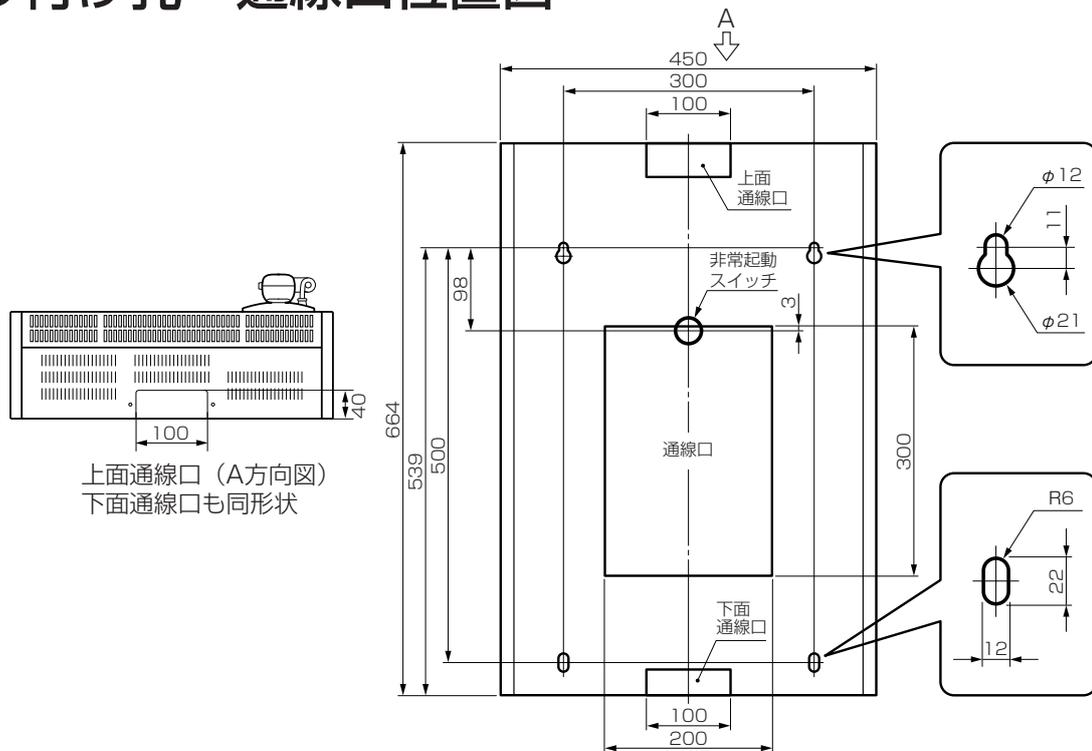
●一般リモコンの接続線

	配線距離	200 m以下	500 m以下
	単局、5局、 10局リモコン	シールド線(1本)	φ0.5 mm (AWG24)
	制御線	φ0.8 mm~φ1.2 mm	φ1.2 mm

■外観寸法図

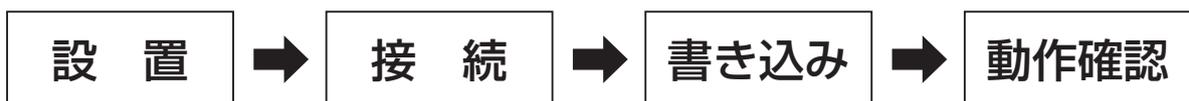


■取り付け孔・通線口位置図



■工事の順序

次の順序で工事を行ってください。



■設置上のご注意

● 取り付け高さ

法令により、非常操作部は床面より0.8 m～1.5 mの高さに設置しなければなりません。したがって、非常起動スイッチが1.1 m～1.5 mの高さになるように取り付けてください。

● 取り付け壁面の強度

本機は17.64 N/mm² (180 kgf/cm²) 以上の強度を持つ壁面に取り付けてください。

● 周囲に障害物を置かない

右図の範囲内には障害物を置かないで、空間を確保してください。

● 「非常放送のしかた」手順書は設定した起動方式を表にする

設定起動は、各ページ表題の下に記載しています。

透明ケースから取り出し、設定した起動方式を表にし、裏面は一緒に入れてある白紙でかくして、再度透明ケースに入れてください。

● 「非常放送のしかた」手順書は本機のそばに置く

非常時に確実に操作できるように、本機の近くに置いてください。ただし、本機の上には絶対に置かないでください。

● 電源について

電源の接続は、すべての組み込み、接続が終了するまで接続しないでください。本機の電源は、接点距離を3 mm以上有する分電盤のブレーカーに接続してください。ブレーカーは保護アース導体を除くすべての極が遮断できるものを使用してください。20 Aまたは30 Aの分電盤に接続してください。

● 電源スイッチ（常用電源）について

本機の常用電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、分電盤のブレーカーを「切」にしてください。

● 分電盤注意ラベルを分電盤に、貼り付ける

設置工事完了後は、分電盤のブレーカーを切らないでください。本機は停電時でも放送できるように非常用電源を組み込んでいます。分電盤のブレーカーを切ると充電が行われず、非常時に放送できなくなる恐れがあります。必ず、分電盤注意ラベルを結線したブレーカーのそばに貼り付けてください。

● D種接地工事を行ってください。

● 本機は認定品ですので、絶対に改造しないでください。

● 静電気について

静電気による破損を防止するために、作業を始める前にパネルなどの金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

● 主銘板への表示について

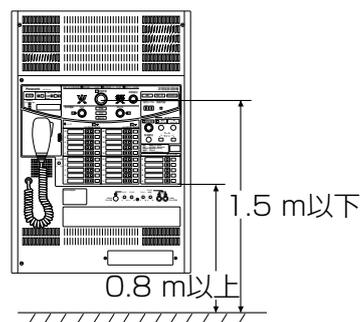
組み込む電力増幅ユニットにより、定格出力、消費電力が異なります。本機操作パネル内面に添付した付属の定格ラベルの中から、該当するラベルを主銘板上の枠がかけられるように貼ってください。

● 蓄電池品番の表示について

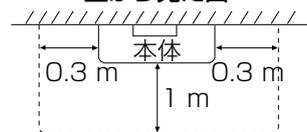
操作パネルを開けることなく収納した蓄電池の容量がわかるように、本機操作パネル内面に添付した付属の定格ラベルから蓄電池の品番ラベルを、パネル面の「蓄電池交換のお願い」表示部に貼ってください。あわせて蓄電池交換時期の目安を図るために、使用開始日を記入してください。

● 本機と自火報（自動火災報知設備）を接続しない場合は、自火報受信機または副受信機と同一室内に設置してください。

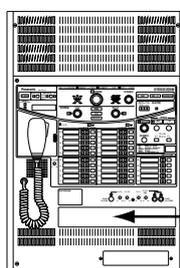
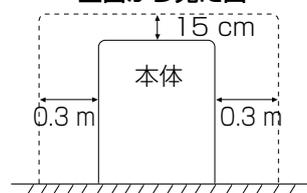
● 本機には電源用ケーブルは付属しておりません。別途ご用意ください。



上から見た図



正面から見た図



蓄電池交換のお願い

- 蓄電池を使用するには、必ず24時間充電してからご使用ください。
- 蓄電池は非常放送されなくても寿命があります。
- 蓄電池の交換時期は約4年です。4年を経過すると性能が低下してきますので、蓄電池の電圧状態が正常の範囲内でも交換してください。

収納蓄電池品番

蓄電池使用開始日

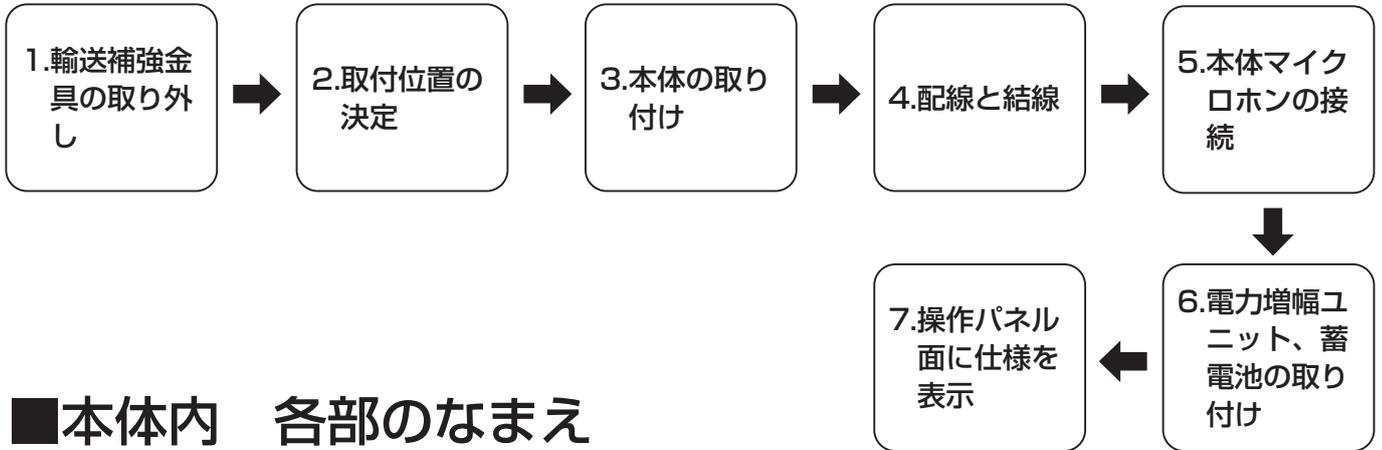
年 月

設置のしかた

●次の手順で設置してください。

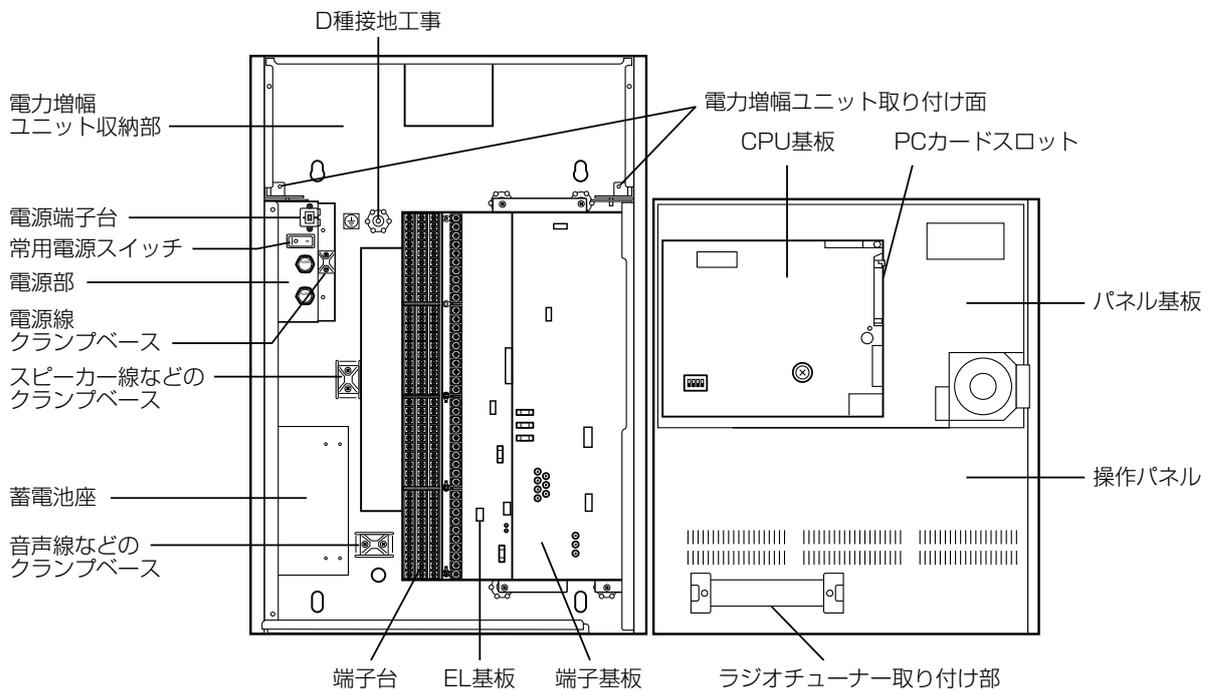
⚠ 警告

工事は、必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてから行ってください。感電の原因になります。



設置のしかた

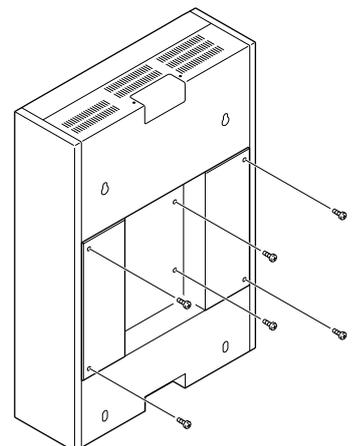
■ 本体内 各部のなまえ



■ 設置手順

1. 輸送補強金具の取り外し

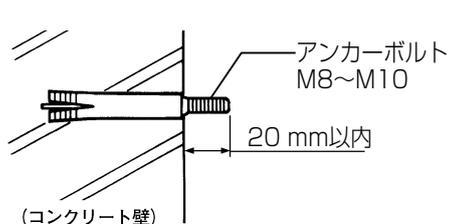
輸送時の補強のため、背面通線口に取り付けた輸送補強金具を取り外します。青色ねじ6本を外してください。



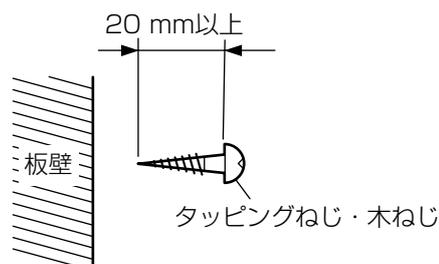
2. 取り付け位置の決定

17.64 N/mm² (180 kgf/cm²) 以上の強度を持つ壁面に取り付けます。
化粧合板やボード製の壁面には取り付けないでください。落下などでけがの原因となります。

- ① 付属の型紙幅から左右それぞれ30 cm空間が確保できる面に、非常起動スイッチの位置が床面から1.1～1.5 mの高さになるように貼り付けます。
- ② 型紙に合わせて、4か所の取り付け孔をあけ、アンカーボルトを打ち込みます。
また、アンカーボルトが使用できない板壁などに取り付けるときは、タッピングねじ、または木ねじを使用します。
収納する電力増幅ユニットとの当たりを避けるため、アンカーボルトの凸量は20 mm以下にしてください。



[タッピングねじ・木ねじを使用するとき]



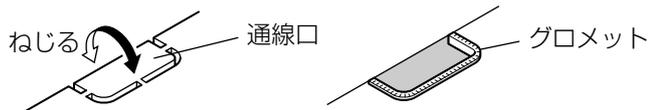
- ③ 壁面からケーブルの引き込みを行うときは、型紙の通線口枠内に引き込み孔をあけてください。
上下方向からケーブルを引き込むときの通線口は、本機の中央に配置しています。型紙の位置を目安に配管してください。

3. 本体の取り付け

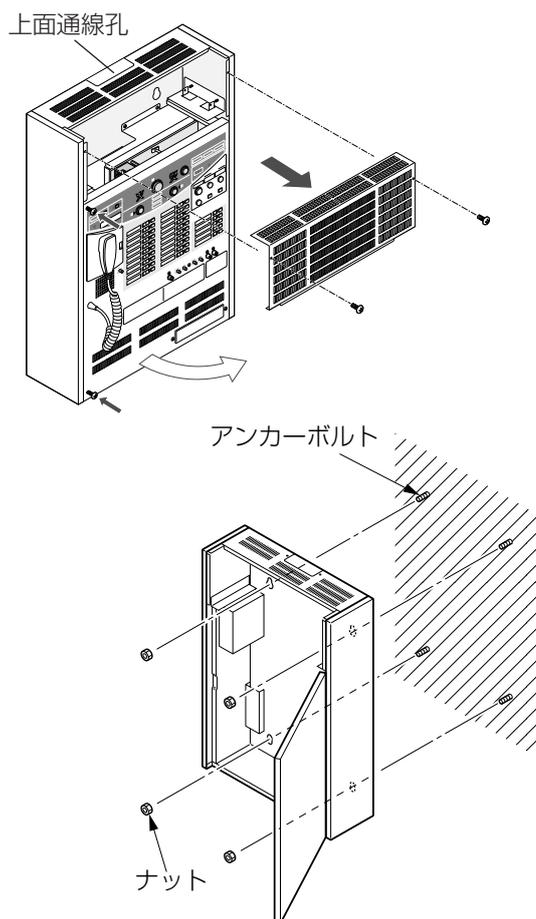
操作パネルと上カバーのねじを緩め、操作パネルを開き上カバーを外します。

電源、スピーカー線などのケーブルを上下面の通線口から本機内に引き入れるときは、ノック形状の通線口をペンチなどでねじって外してください。

外した通線口の端面でケーブルを傷つけないように、付属のグロメットを端面に取り付けてください。



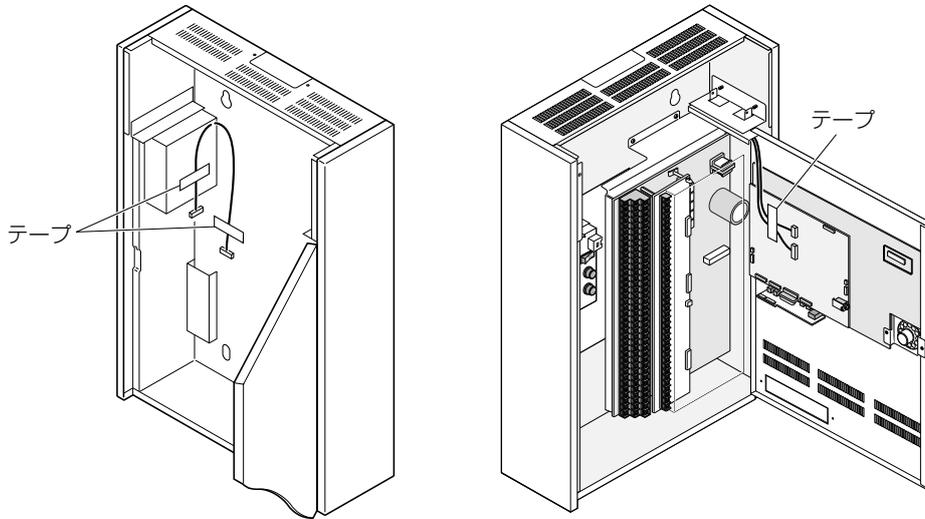
本機を壁面に取り付けます。
壁面に打ち込んだアンカーボルトに本機の取り付け孔を掛けて乗せ、ナットで固定します。
めねじタイプのアンカーボルトを打ち込んだときは、ボルトを仮止めして本機の取り付け孔を掛けて乗せ、そのあと本締めして固定します。



設置のしかた

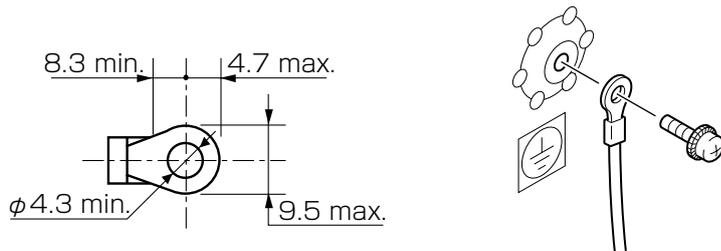
4.配線と結線

電源、スピーカー線などのケーブルを背面通線口または上下面の通線口から本機内に引き入れます。電源部、本体部とCPU基板部に線材を止めているテープをはがします。



先端に丸端子を取り付けたアース線を止めて、大地アースをとります。(D種接地工事)
丸端子はJIS-C2805 RAV2-4、RAP-4 (適用電線断面積2.00 mm²)、またはRAV5.5-4、RAP5.5-4 (適用電源断面積5.5 mm²) に適合するものをご使用ください。

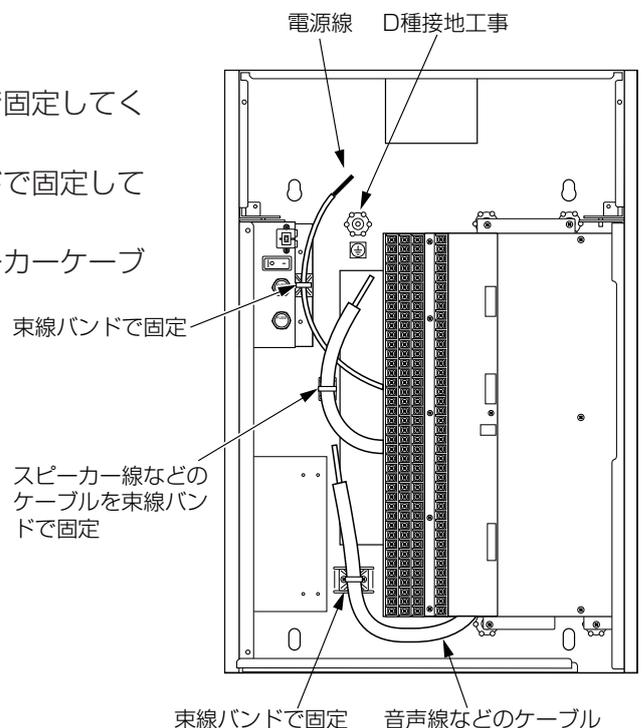
※作業性から、アース線の取り付けは端子台にケーブルを結線する前に止めることを推奨します。



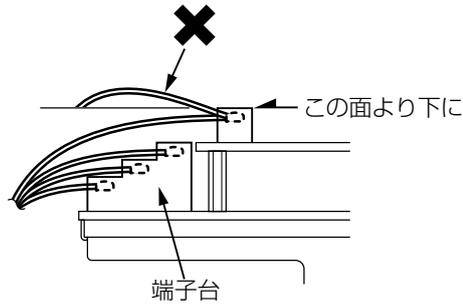
通線口から引き入れたケーブルを付属の束線バンドで固定してください。

電源線は、電源端子台下のベースに付属の束線バンドで固定してください。

発振防止のため音声ケーブルと出力ケーブル、スピーカーケーブルは分けて束線し、離して配線してください。

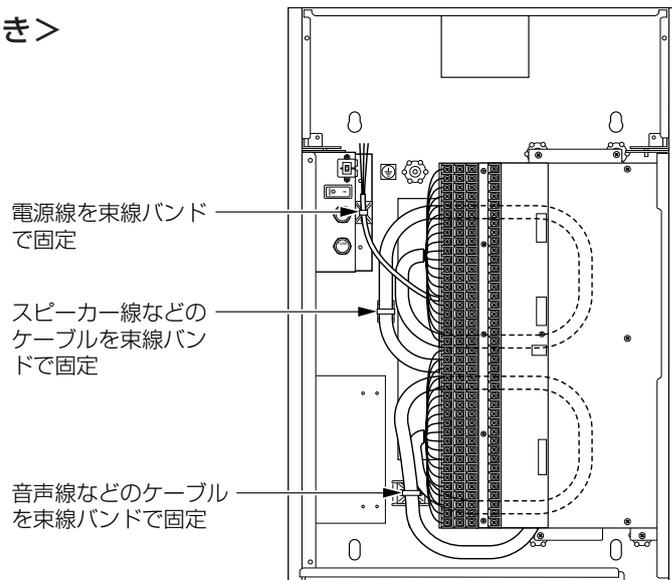


端子台に結線したケーブルが端子台面より浮き上がらないように、余長分のケーブルは端子台ベースの裏側に収めてください。

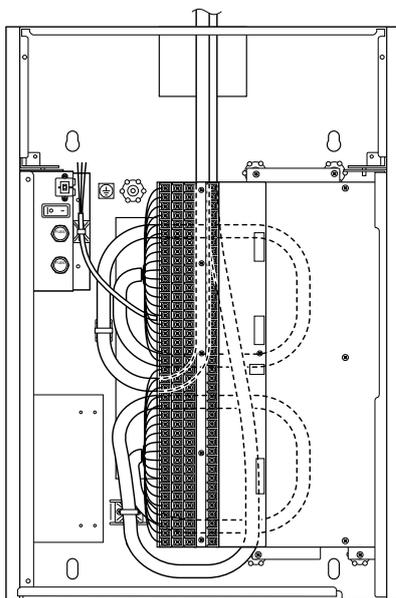


●引き入れたケーブルの余長分の収納例

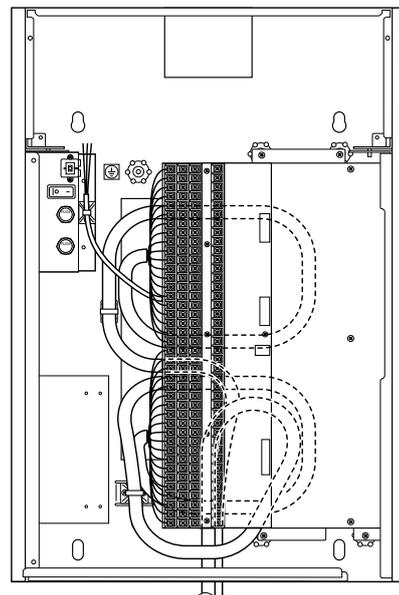
<背面から引き入れたとき>



<上側から引き入れたとき>



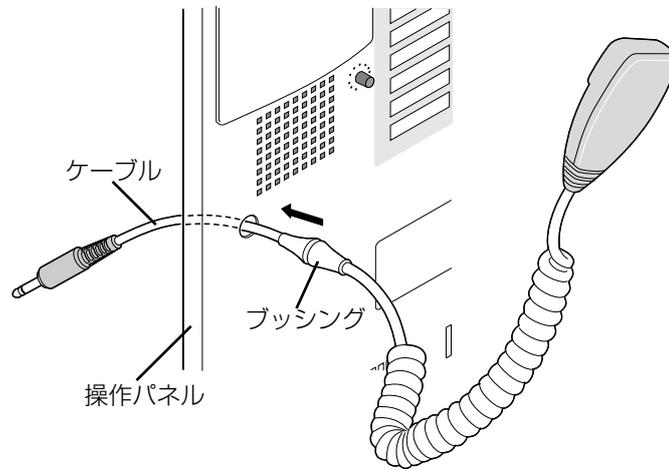
<下側から引き入れたとき>



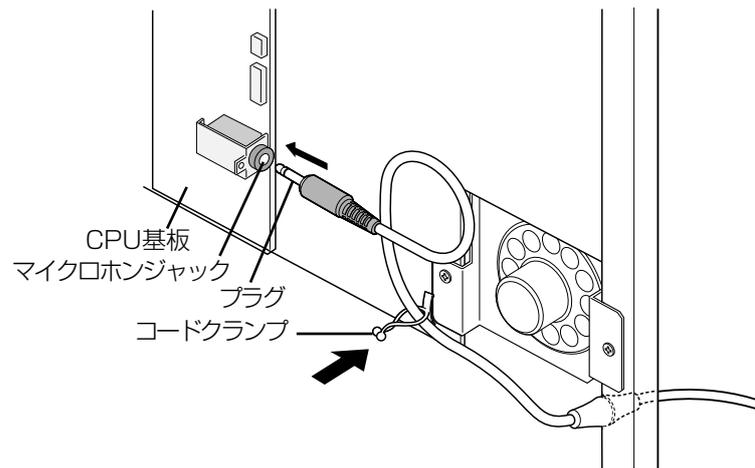
設置のしかた

5.本体マイクロホン（付属マイクロホン）の接続

本機に付属のマイクロホンを、操作パネルの孔に通し、ブッシングをパネルにはめ込みます。



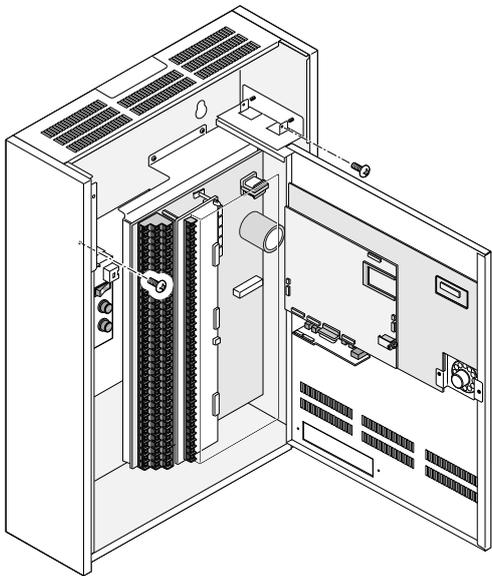
マイクロホンのプラグを、CPU基板のマイクロホンジャックに接続します。
マイクロホンのコードを、コードクランプに通して固定します。



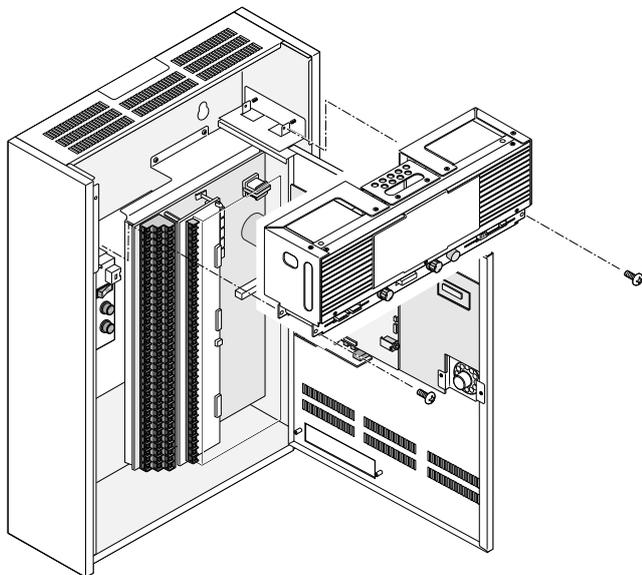
6.電力増幅ユニット、蓄電池の取り付け

●電力増幅ユニットの取り付け・接続

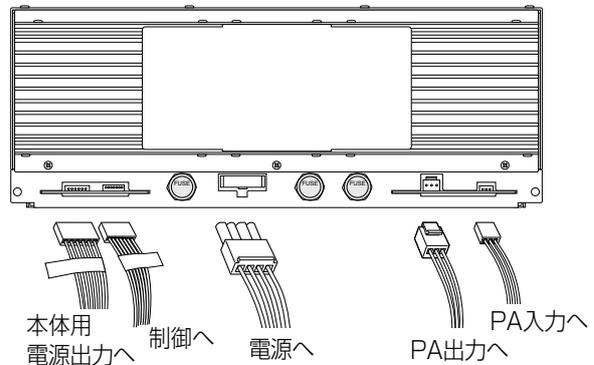
① 電力増幅ユニット取り付け面に止めてある、ねじ (M4×8) 2本を外します。



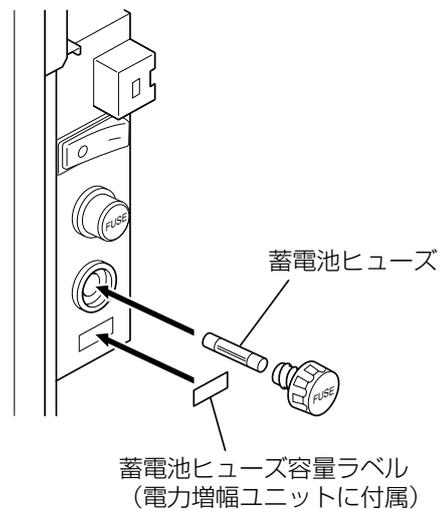
② 電力増幅ユニットを本機上部の収納部に組み込み、外したねじ (M4×8) 2本で取り付けます。



③ 本機の基板面から出ている5本のコネクタ線材を電力増幅ユニットに接続します。



④ 電力増幅ユニットに付属している蓄電池ヒューズを本機のヒューズホルダーに挿入します。付属のヒューズ容量ラベルから、挿入したヒューズの容量に該当するラベルを選んでヒューズホルダーの下に貼り付けてください。



電力増幅ユニット	蓄電池ヒューズ容量
WU-PK106	10 A
WU-PK112	15 A
WU-PK124	25 A
WU-PK136	30 A

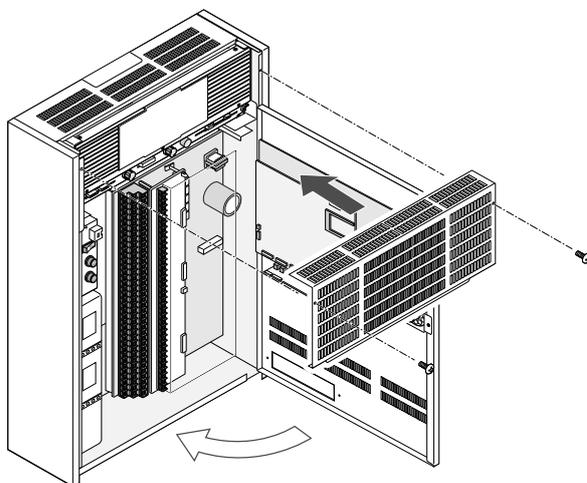
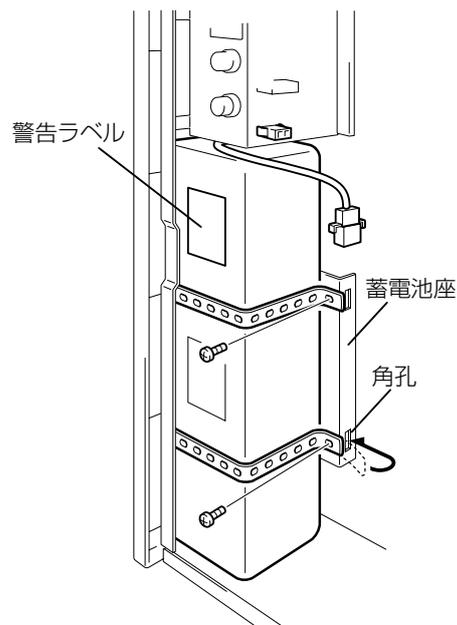
設置のしかた

●電力増幅ユニットと蓄電池の組み合わせ

電力 (W)	電力増幅ユニット	蓄電池
60 W	WU-PK106	NCB-165
120 W	WU-PK112	NCB-350
240 W	WU-PK124	NCB-600
360 W	WU-PK136	NCB-600

●蓄電池の取り付け

- 蓄電池座に止めてあるねじを外して、バンドを外します。
- 警告ラベルが貼ってある面を表側にして蓄電池を蓄電池座にのせ、バンドをかけて、外したねじで取り付けます。
蓄電池が動かないようにバンドが引張り気味になるように取り付けてください。
※NCB-165を取り付けたときはバンドの余りが長くなりますので、その分は座側面の角孔に差し込んでください。
- 上カバー、パネル部を元どおり本機に取り付けます。
上カバーを止めると太い内部配線材を押す形になりますが、配線材の性能には影響を与えません。



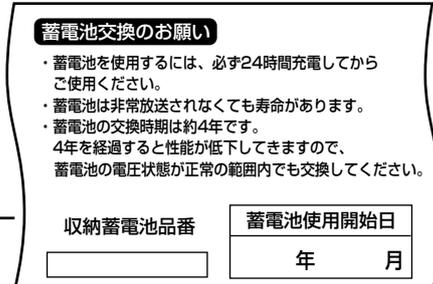
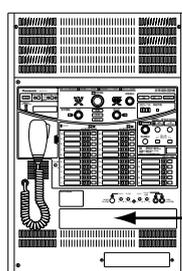
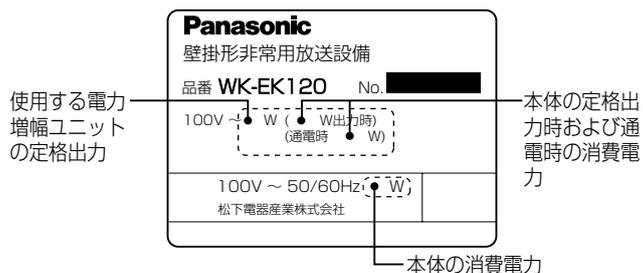
7.操作パネル面に仕様を表示

① 主銘板への表示

組み込む電力増幅ユニットにより、定格出力、消費電力が異なります。本機操作パネル内面に添付した付属の定格ラベルの中から、該当するラベルを主銘板上の枠がくくれるように貼ってください。

② 蓄電池品番の表示

操作パネルを開けることなく収納した蓄電池の容量がわかるように、本機操作パネル内面に添付した付属の定格ラベルから蓄電池の品番ラベルを、パネル面の「蓄電池交換のお願い」表示部に貼ってください。あわせて蓄電池交換時期の目安を図るために、使用開始日を記入してください。



●ラックに収納する場合

ラックはスタンダードラック（WU-RS71）、ロングラック（WU-RL76）またはEIA19型規格相当のラック（奥行き450 mm以上）をご使用ください。

ラックに収納するには、ラックアングルを別途ご用意ください。ラックアングルの形状寸法は、本機の製品仕様書をご参照ください。

・取り付け高さ

法令により、非常用放送設備は床面から0.8 m～1.5 mの高さに操作部を配置する必要があります。

本機をラックに取り付けるときは、右図の範囲に設置してください。

・業務用放送機器の収納位置について

卓上アンプなど、発熱する機器は本機の上に設置してください。本機の下には絶対に取り付けしないでください。本機と他の機器との間は1 U以上開けて取り付けてください。

推奨パンチングパネル W2-PPA/44

推奨ブランクパネル W2-BPA/44

・取り付け方

①操作パネル部を開けて、側面板を固定しているねじを外し、側面板を取り外します。

②操作パネルを閉じます。

③ラックアングルをねじ止めします。

取り付けねじ：M4×8バインド（現地調達）

・右面側は、ラックアングル面端側にある孔に止めます。（3本）

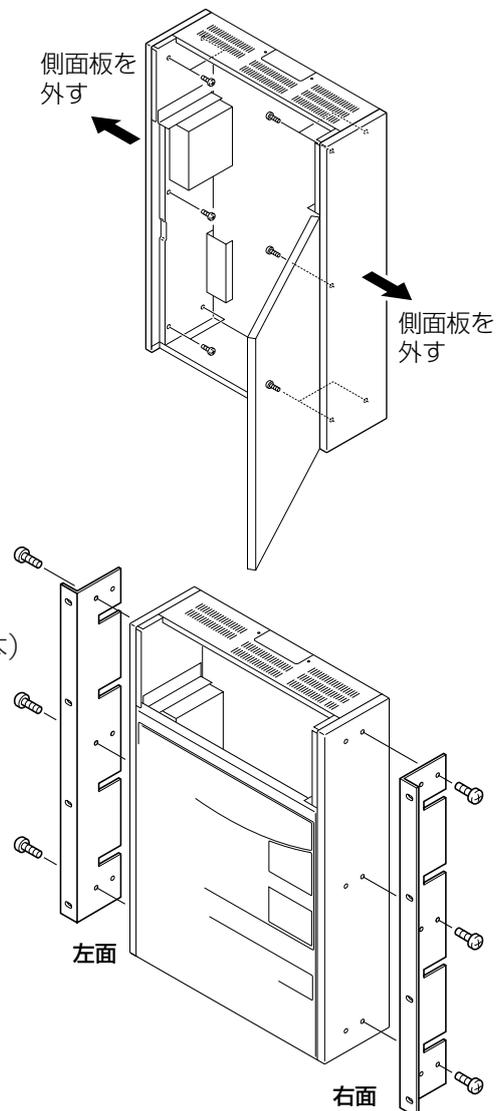
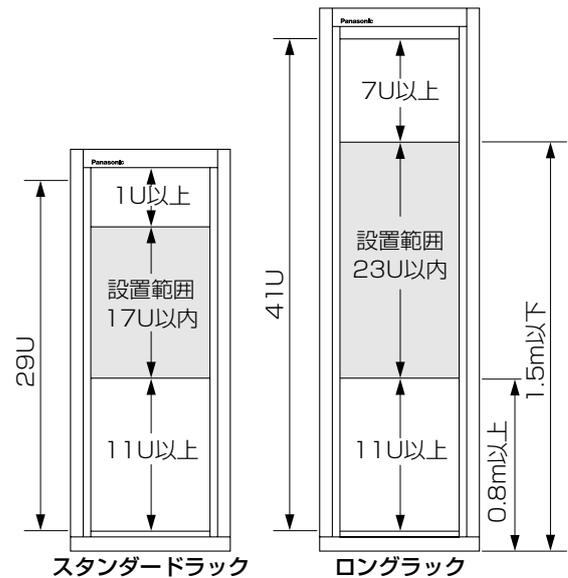
・左面側は、ラックアングル面中央側にある孔に止めます。

（3本）

④ラックに取り付けます。（8本）

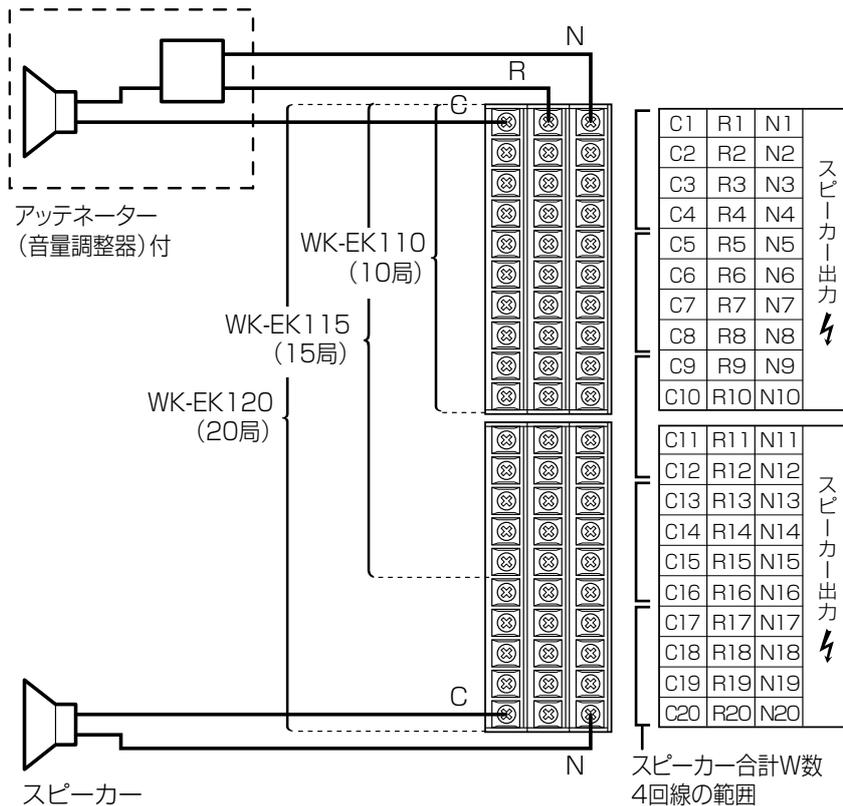
取り付けねじ：M5×12バインド（現地調達）

※上記取り付けねじの長さは、ラックアングルの板厚が2.3 mmのときの寸法です。



接続のしかた

■スピーカーの接続



※スピーカーケーブルの配線工事には、電気工事士の資格が必要です。

スピーカーW数について

スピーカーを接続するときは、下表に示す1回線あたりの最大W数および4回線あたりの合計W数をお守りください。

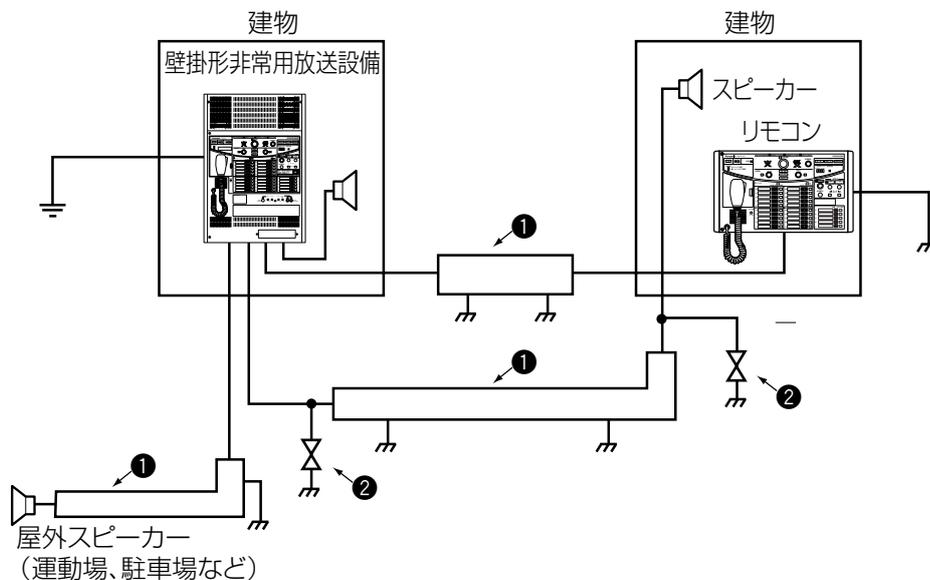
電力増幅ユニット出力	1回線あたりの最大W数	4回線あたりの合計W数
60 W	60 W	60 W
120 W	70 W	120 W
240 W	70 W	140 W
360 W	70 W	140 W

注：4回線あたりの合計W数とは、スピーカー出力1～4、5～8、9～12、13～16、17～20ごとの合計W数です。

接続のしかた

外来サージに対する対策

雷の多い地域でご使用になる場合は、下図に示すように①金属配管、②保安器などの対策を行ってください。



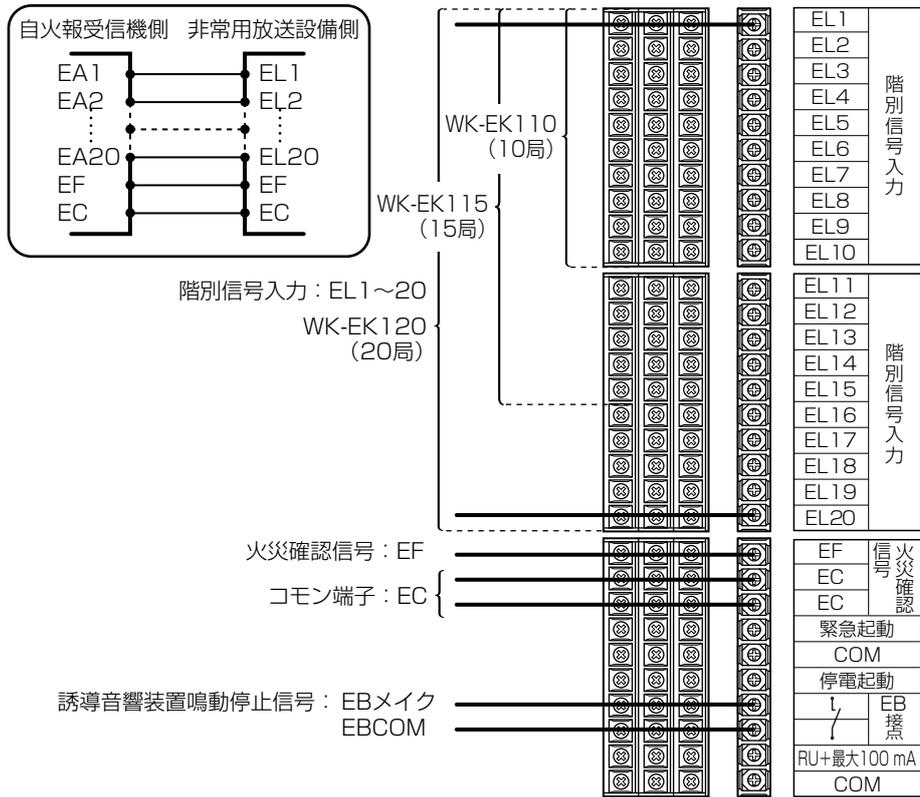
①金属配管について

建物間にわたる配線などで配線が露出しないように金属配管をしてください。
外来ノイズに対して信号線（データ線）は、ペア線を使用してください。
（平行線は、ノイズの影響によって信号（データ）が乱れることがあります）

②保安器について

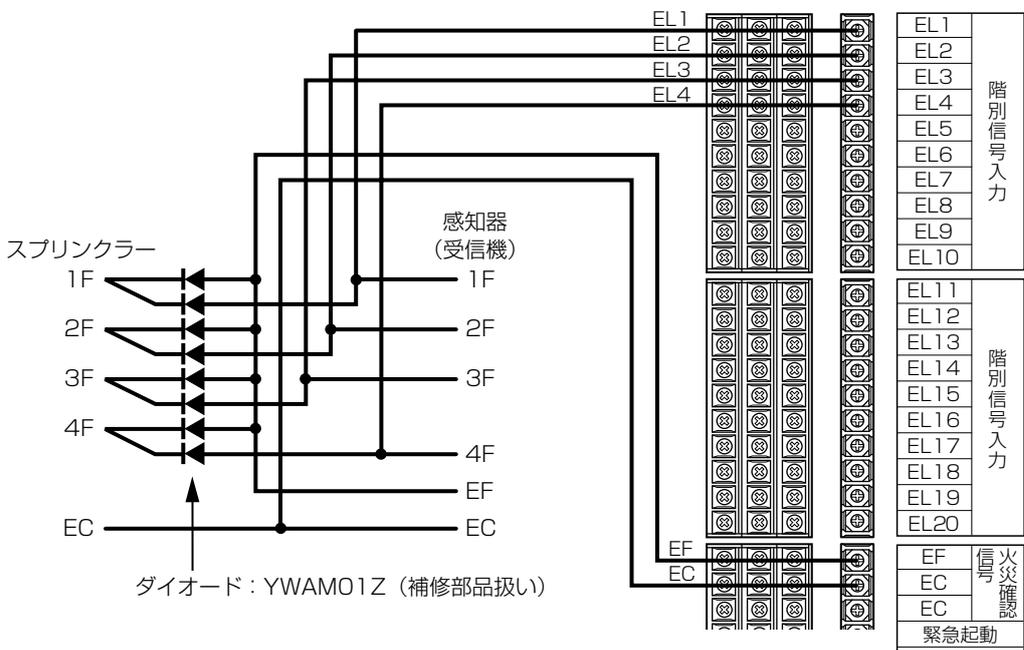
本機はスピーカー出力、データラインなどにサージアブソーバを設けていますが、特に雷の多い場所では現地で金属配管を行うときに、保安器を設けてください。

■自火報起動端子の接続



接続のしかた

■スプリンクラー／感知器（受信機）への配線例



■非常外部制御端子の接続

非常放送時にローカルアンプの放送を停止させる場合、非常外部制御端子に電源制御器（WU-R40B）やスピーカー制御ボックス（WU-R45）を接続します。

非常外部制御端子の制御電流は、最大100 mAです。

・接続可能台数

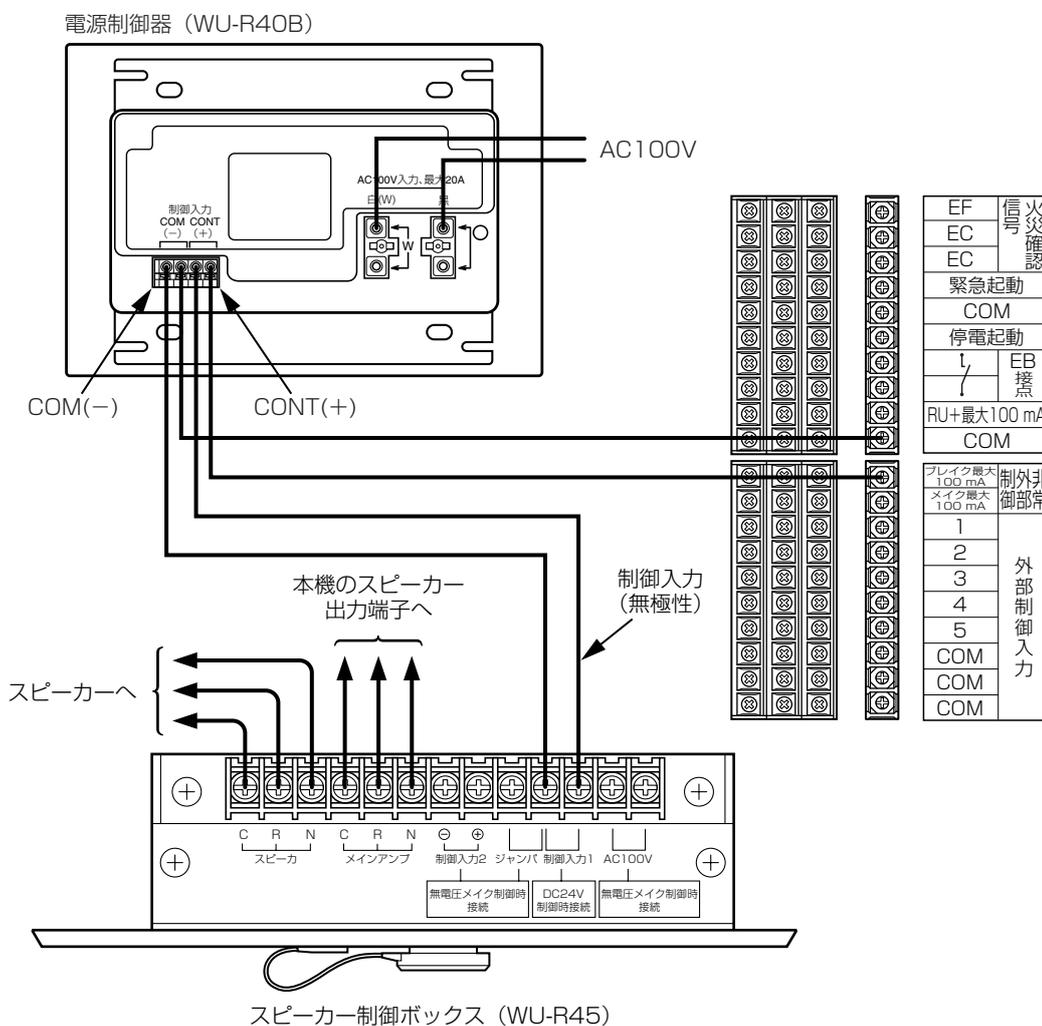
- 電源制御器WU-R40B 制御電流0.5 mA : 最大200個
- スピーカー制御ボックスWU-R45 制御電源10 mA : 最大10個

非常外部制御端子動作は、下表のようになっています。

端子	+24 Vブレイク端子	+24 Vメイク端子
通常時	+24 V	オープン
非常時	オープン	+24 V

・接続線

線径φ0.65～φ1.2（単線）

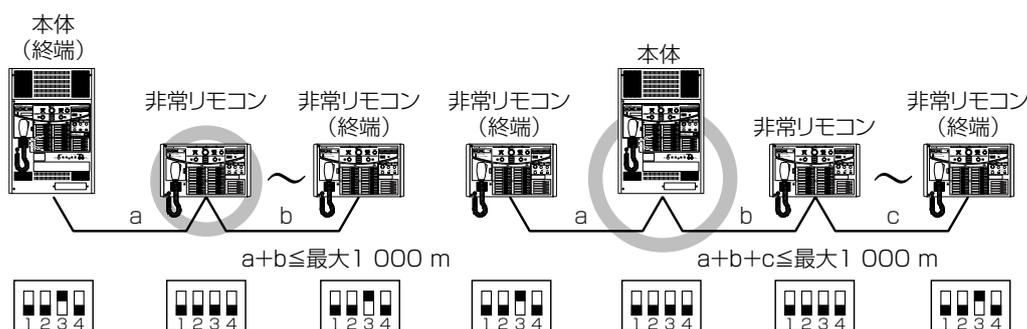


■非常リモコンの接続

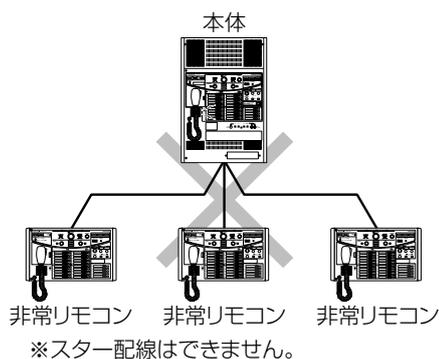
外部ノイズに対して信号線（データ線も含む）は、ペア線を使用してください。
（平行線ではノイズの影響によって、信号（データ）が乱れることがあります。）

- 接続できる台数は、最大4台までです。
- データ線（LB+、LB-）の接続と距離について
 - ・データ線の総延長距離は、1 000 mまでです。
 - ・電源線は線径により延長距離に制約がありますので、11ページを参照してペア数を決定してください。
- 接続方法（データ線）
 - ・データ線の接続終端となる本機および非常リモコンは、内部のCPU基板上のDIPスイッチSW201の3番を「ON」にして、終端してください。

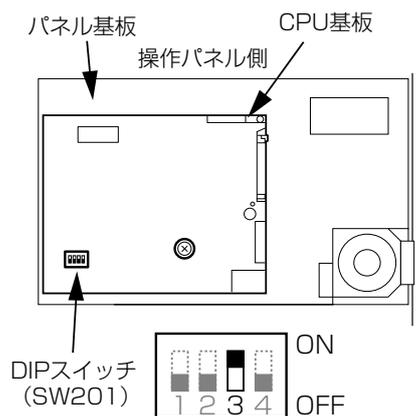
<良い接続例>



<悪い接続例>



●終端設定のしかた



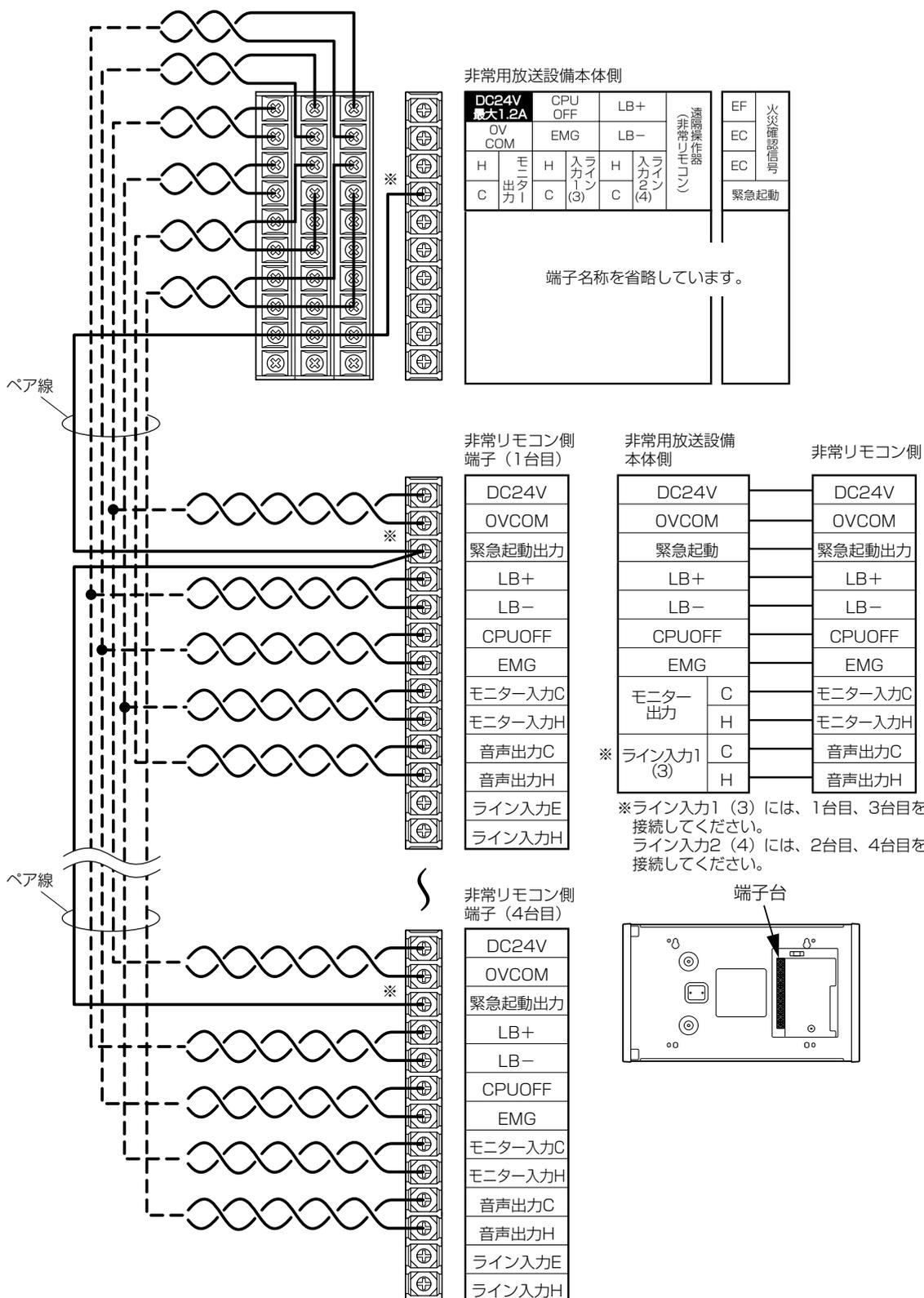
接続時、終端になる本機と非常リモコンは、3番をONにする。

接続のしかた

●接続例

下図の例では、本機の緊急起動端子と非常リモコンの緊急起動出力端子（下図の※）を接続しているため、停電時に非常リモコンから緊急放送を行うことができます。（別売品・特別受注生産品の業務用電源ユニットが必要です。）

停電時に非常リモコンから緊急放送を行わない場合は、下図の※端子間の接続は不要です。



■音声入力端子の接続

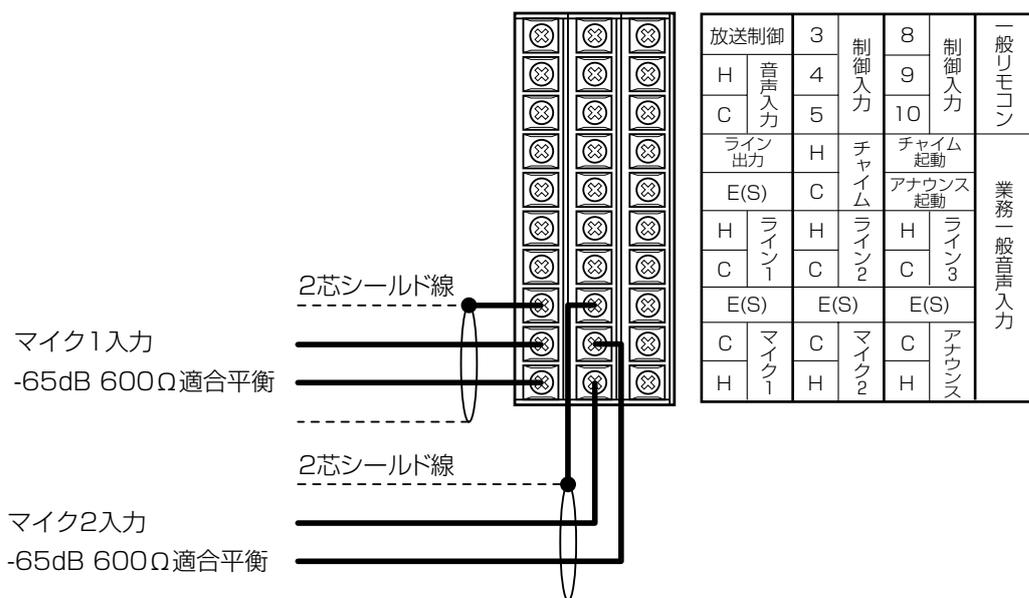
●マイク1、2入力

各音声入力端子台のショート金具を外して接続してください。

- ・マイク1は、端子台のほかに操作パネル側にもあります。（操作パネル側が優先します）
操作パネル側にプラグを差し込むと、操作パネル側が優先され内部端子台入力は、“断”になります。

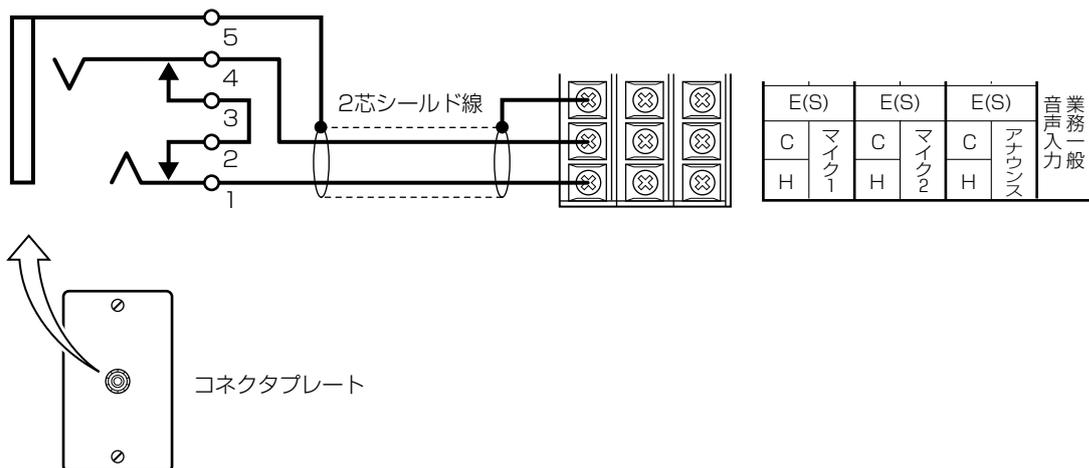
注意

- ・不平衡出力の機器（単芯シールド線）を接続する場合は、端子台の（C）端子とE(S)端子をショートして接続してください。
- ・発振の原因となりやすいため、スピーカー回線の出カケーブルとマイクロホンケーブルはいっしょに束線しないで離して配線してください。



接続のしかた

※マイクロホンケーブル延長のしかた
コネクタプレート（WZ-831AまたはWZ-832A）を使用して延長します。



接続のしかた

●ライン1、2、3入力

各音声入力端子台に外部音源を接続する場合は、各音声入力端子台のショート金具を外して接続してください。

- ・ライン1、2は、端子台のほかに操作パネル側にもあります。
操作パネル側にプラグを差し込むと、操作パネル側が優先され内部端子台入力は、“断”になります。

●CDプレーヤーやカセットデッキを接続する場合

- ・CDプレーヤーやカセットデッキなど動作中制御信号出力がない機器は、ライン1またはライン2入力へ接続します。

●CDミュージックプレーヤ (WB-651/655) を接続する場合

- ・CDミュージックプレーヤの動作中制御信号出力を本機の外部制御入力1~5に接続し、ライン出力は本機のライン1またはライン2入力に接続します。

注意

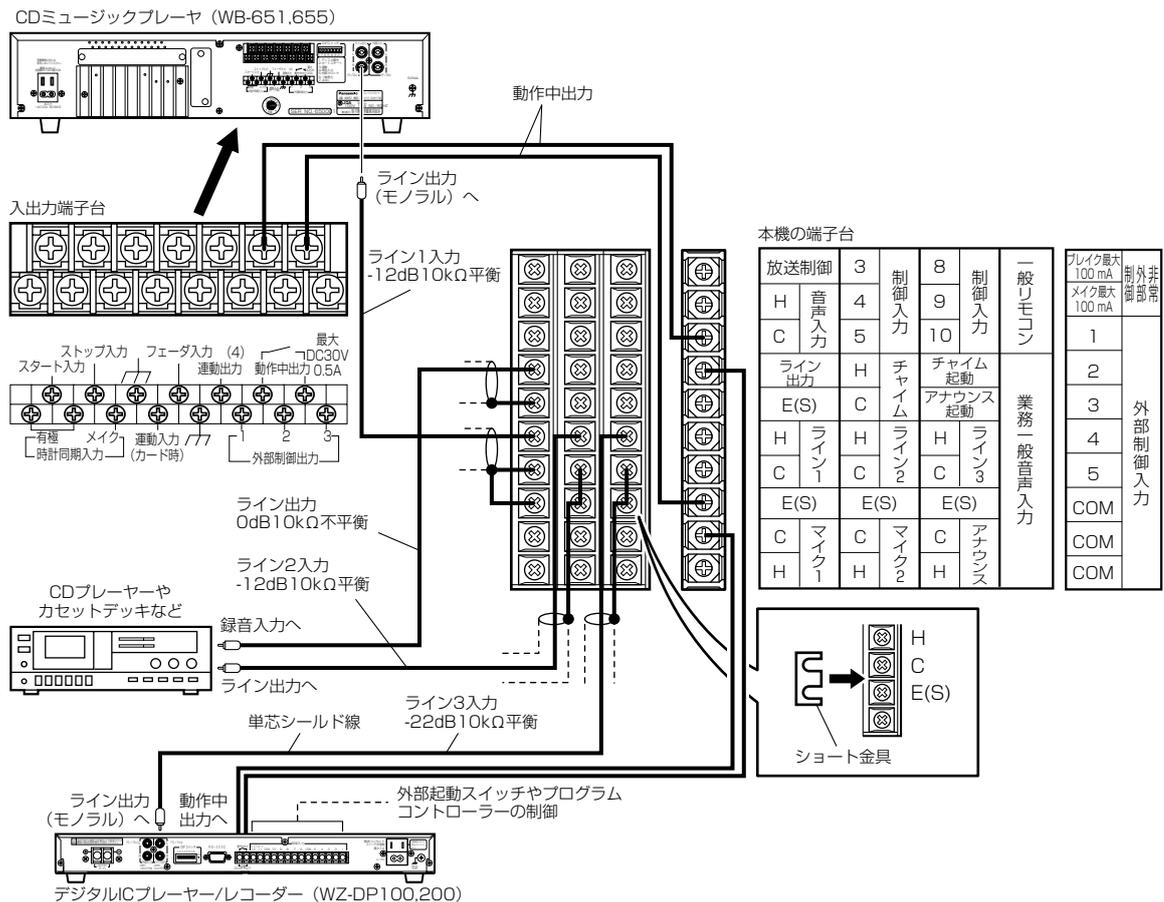
マイク1、2入力の音声やBGM制御設定により、ライン1とライン2入力、ラジオチューナーの音声はフェードイン/アウトができます。

●ライン3入力に接続する場合

- ・デジタルICプレーヤーなどの動作中制御信号出力がある機器を接続します。
ライン3入力は、外部制御入力1~5の制御がないと放送できません。

注意

不平衡出力の機器 (単芯シールド線) を接続する場合は、コモン (C) とE(S) をショートして接続してください。(ショート金具を入れ替えてください)



●チャイム・アナウンス入力

各音声入力端子台に外部音源を接続する場合は、各音声入力端子台のショート金具を外して接続してください。

- PCMミュージックチャイム (WZ-248/255) やミュージックチャイム (WZ-245) を接続する場合
ミュージックチャイムの制御出力をチャイム起動に、チャイム出力をチャイム入力に接続します。

注意

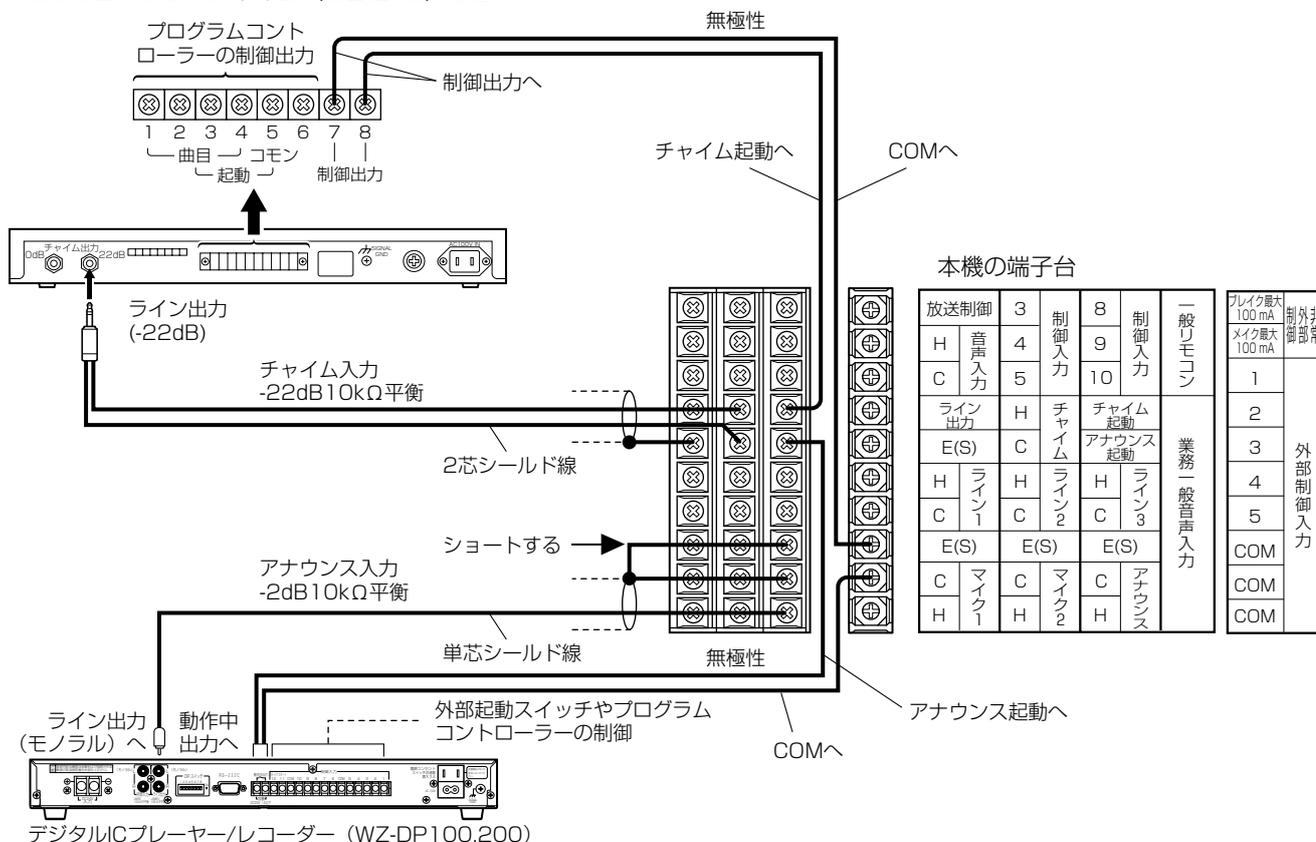
WZ-245などの不平衡のチャイム出力を接続する場合は、本機のチャイムCとE(S) をショートして接続してください。

- デジタルICプレーヤー/レコーダー (WZ-DP100/200) を接続する場合
デジタルICプレーヤー/レコーダーの動作中制御信号出力をアナウンス起動に、ライン出力をアナウンス入力に接続します。

注意

不平衡のライン出力を接続する場合は、本機のアナウンスCとE(S) をショートして接続してください。

PCMミュージックチャイム (WZ-248) など

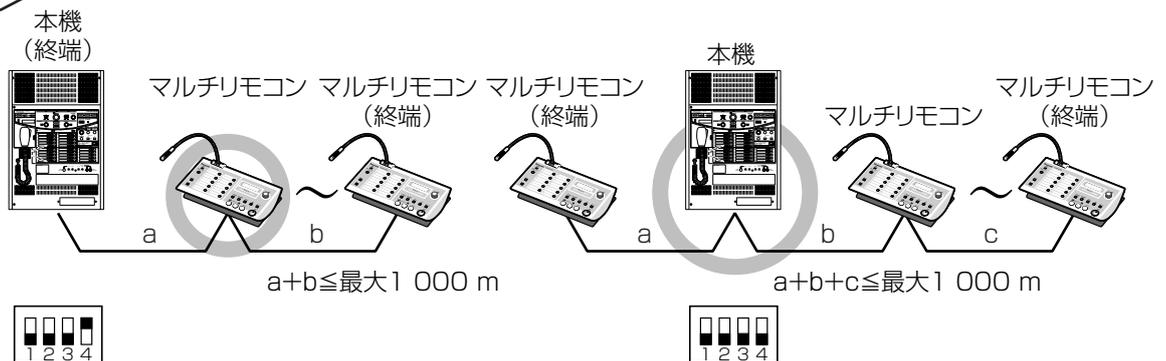


■マルチリモコンマイクの接続

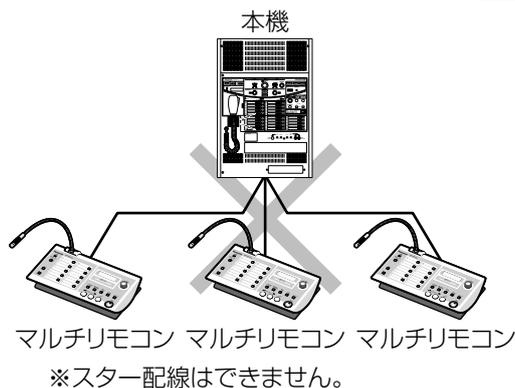
外来ノイズに対して信号線（データ線も含む）は、ペア線を使用してください。（平行線ではノイズの影響によって、信号（データ）が乱れることがあります。）

- 接続できる台数は、最大4台までです。
- データ線（LB+、LB-）の接続と距離について
 - ・データ線の総延長距離は、1 000 mまでです。
 - ・電源線は線径により延長距離に制約がありますので、11ページを参照してペア数を決定してください。
- 接続方法（データ線）
 - ・データ線の接続が終端のときは、内部のCPU基板のDIPスイッチSW201の4番を「ON」にして、終端してください。

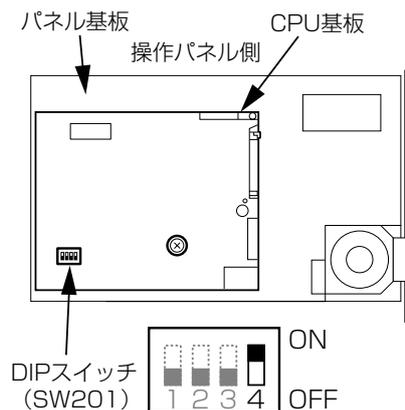
<良い接続例>



<悪い接続例>



●終端設定のしかた



マルチリモコンマイク接続時、本機が終端となる場合は、4番をONにする。

●接続例

- マルチリモコンマイクの端子台は、台座部にあります。
- マルチリモコンマイク (WR-MC100) の取扱説明書をお読みください。

マルチリモコンマイク
端子台 (1台目)

外部制御出力			音声			通信制御		LB		LA		OV	DC 24V	
1	2	3	COM	SG	HOT	COLD	RSB	RSA	+	-	+	-		

マルチリモコンマイク
端子台 (2台目)

外部制御出力			音声			通信制御		LB		LA		OV	DC 24V	
1	2	3	COM	SG	HOT	COLD	RSB	RSA	+	-	+	-		

マルチリモコンマイク
端子台 (n台目)

外部制御出力			音声			通信制御		LB		LA		OV	DC 24V	
1	2	3	COM	SG	HOT	COLD	RSB	RSA	+	-	+	-		

2芯シールド線

圧着端子(スリーブ)でまとめる

DC24V
OVCOM

※電源線を圧着端子でまとめるときは、電圧降下を抑えるため、非常用放送設備側の近くでまとめてください。

DC24V 最大1.2A	CPU OFF	LB+	送受動作器 (非常リモコン)
OV COM	EMG	LB-	
H 出力1	H ライン 入力1(3)	H 入力2(4)	マルチリモコン 音声入力
C 出力2	C	C	
DC24V 最大1A	LB+	H	マルチリモコン 一般リモコン
OV	LB-	C	
DC24V 最大150mA	上り サコイル	E (S)	放送中出力
OV	下り		
COM	1 制御入力	6 制御入力	
一音	2	7	

データ線の距離と線径

線径 (mm)	非常用放送設備—マルチリモコンマイク間の距離									
	200 m	300 m	400 m	500 m	600 m	700 m	800 m	900 m	1000 m	
φ0.65	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	不可
φ0.9	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	不可
φ1.2	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能	可能

電源線の距離と線径、ペア数

線径 (mm)	非常用放送設備—マルチリモコンマイク間の距離									
	200 m	300 m	400 m	500 m	600 m	700 m	800 m	900 m	1000 m	
φ0.9	1ペア	2ペア	2ペア	3ペア	3ペア	不可	不可	不可	不可	不可
φ1.2	1ペア	1ペア	2ペア	2ペア	2ペア	2ペア	3ペア	3ペア	3ペア	3ペア

接続のしかた

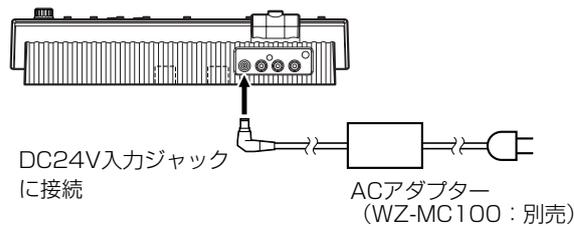
接続のしかた

●DC24 V電源の接続

- ・非常リモコンとマルチリモコンマイクの接続合計台数によって、本機から電源を供給できるマルチリモコンマイクの台数が異なります。(下表を参照)

	非常リモコン	マルチリモコン
接続可能台数	0	4
	1	3
	2	2
	3	1
	4	0

- ・マルチリモコンマイクの接続台数を増やす場合は、別売のACアダプター (WZ-MC100) をマルチリモコンマイクに接続してください。
接続できる台数は最大4台です。



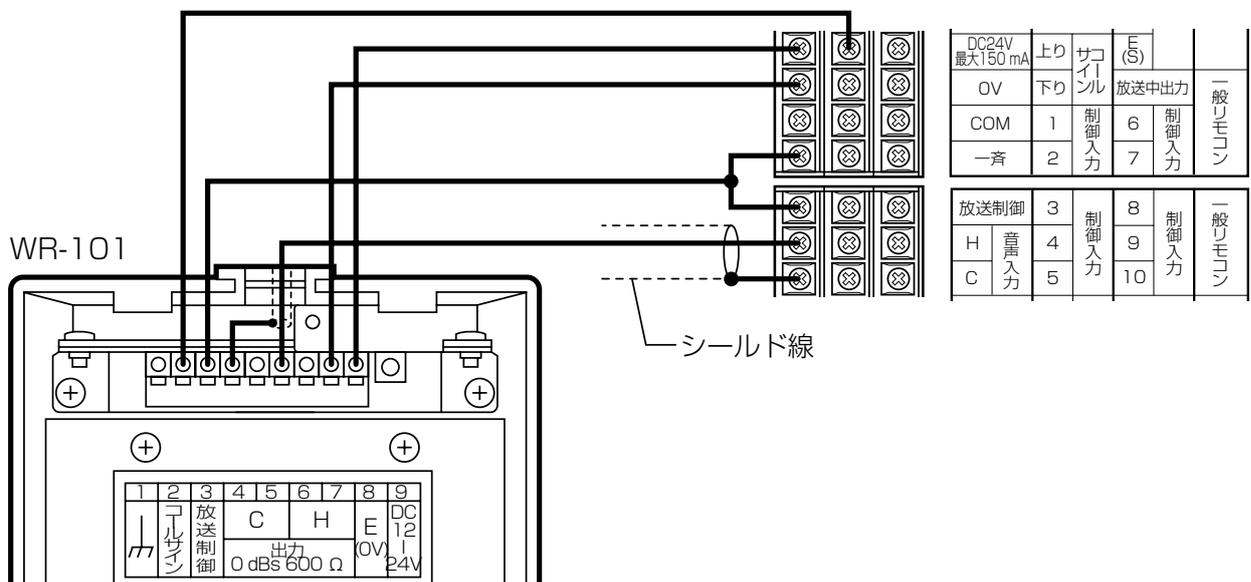
■一般リモコンマイクの接続

単局リモコン (WR-101)、5局リモコン (WR-205)、10局リモコン (WR-210)

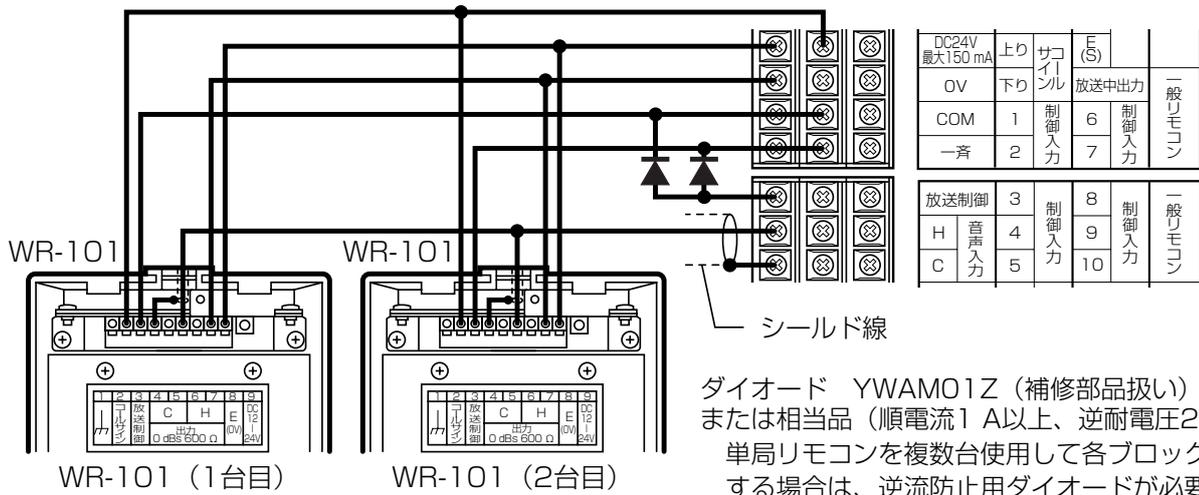
- ・本機から供給できるDC24 V電源は、最大150 mAです。
- ・接続可能台数は、最大2台です。

●単局リモコンマイクの接続

①一斉放送したいとき

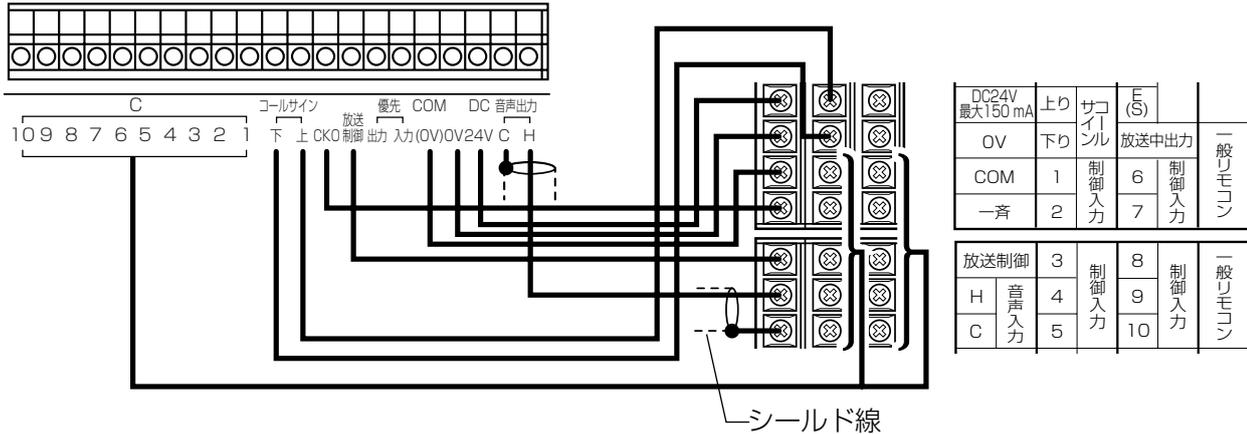


②ブロック放送したいとき



●5、10局リモコンマイクの接続

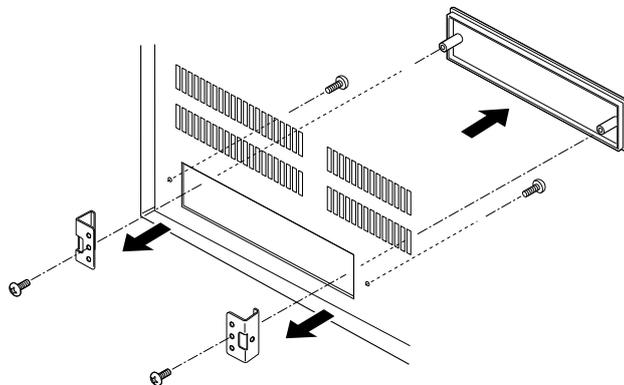
WR-205,210
リモコンマイク



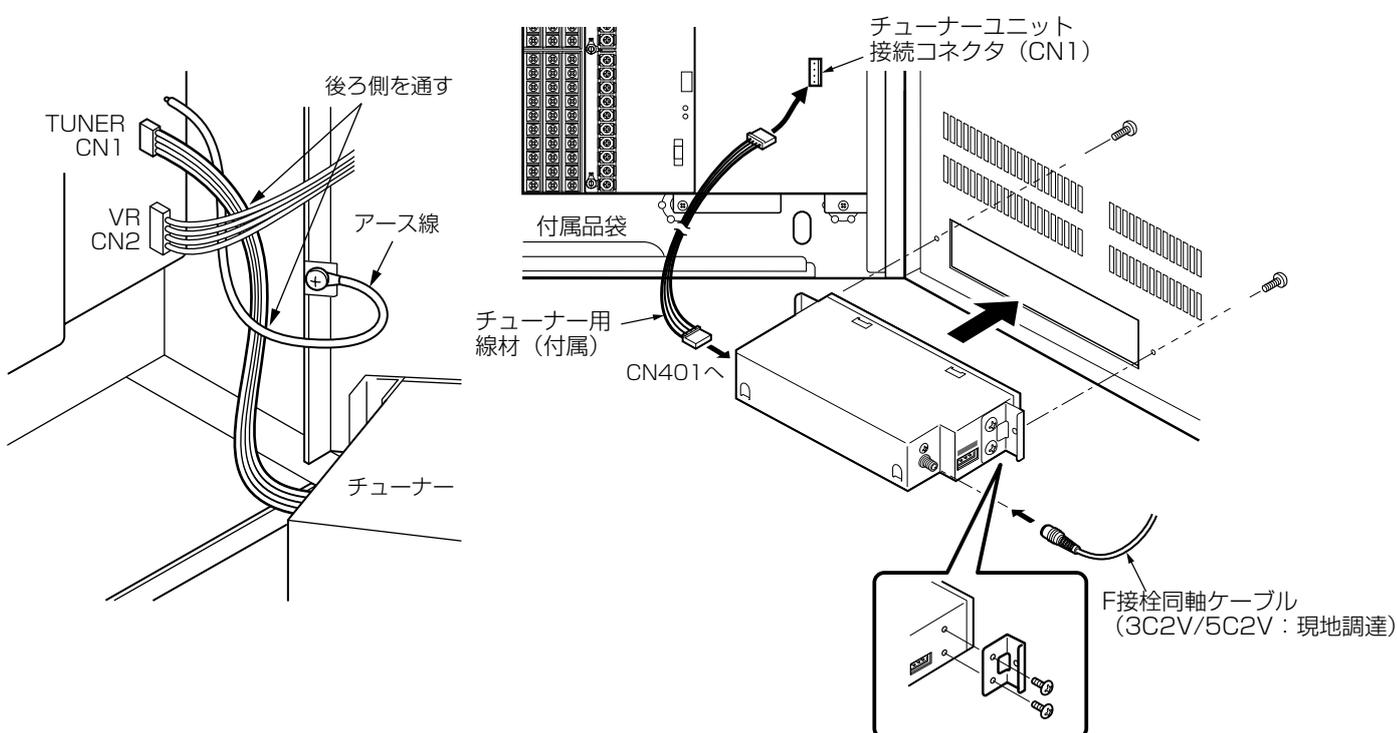
■ラジオチューナーの接続

ラジオチューナーユニット（WU-T60：別売品）を取り付けることができます。

- ①チューナーのブラックパネルを止めているねじを外して、ブラックパネルを取り外します。
- ②ブラックパネルを止めていた取付金具を取り外します。

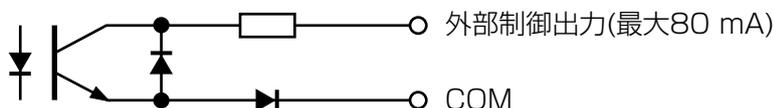


- ③ラジオチューナーユニットの取付金具を外し、外したねじでブラックパネルを止めていた取付金具を代わりに取り付けます。
- ④本機内部下面にテープ止めされた付属品袋の中から、チューナー用線材（両端コネクタ付き線材）を取り出します。外部出力制御用線材とコードクランプが入った付属品袋は、本機下面にテープ止めします。
- ⑤ラジオチューナーユニット（WU-T60）を操作パネル表側からブラックパネル取付金具を止めていたねじ×2本で固定します。
- ⑥チューナー用線材を本機の端子台基板のコネクターTUNER（4P：CN1）に接続し、ラジオチューナーユニットとアース線の後ろ側を通して、コネクター（6P：CN401）に接続します。
- ⑦ラジオチューナーユニットのジャック（JK101）に、同軸ケーブルをF接栓で接続します。



■外部制御出力の接続

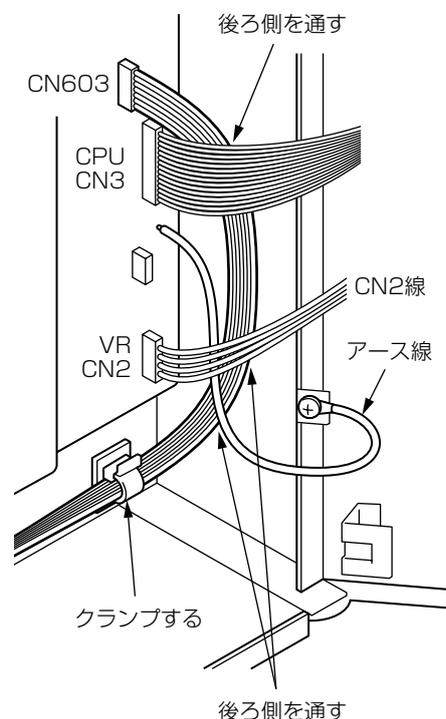
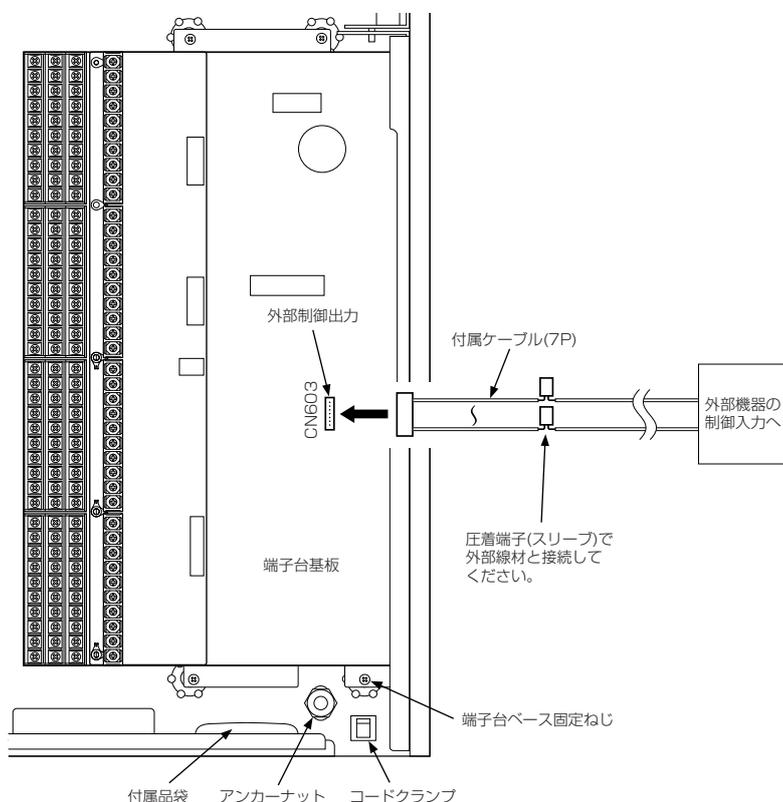
- 外部音源起動や外部機器を制御する場合は、付属のケーブルを使用して外部制御出力コネクタ（CN603）に接続してください。
- 音声警報の各放送や緊急放送、業務放送、点検中、マイク放送中、異常発生の状態出力、およびブロック放送スイッチでの起動は、書き込みで設定してください。
- 外部制御出力は、オープンコレクタ方式で、制御仕様はDC35 V、最大80 mAです。



●付属ケーブル仕様（線長400 mm）

コネクタ番号	線色	信号名
1	茶	外部制御出力1
2	赤	外部制御出力2
3	橙	外部制御出力3
4	黄	外部制御出力4
5	緑	外部制御出力5
6	黒	COM
7	黒	COM

- 本機内部下面にテープ止めされた付属品袋の中から、片側コネクタの線材とコードクランプを取り出します。チューナー用線材が入った付属品袋は、本機下面にテープ止めします。
- コードクランプを端子台ベース固定ねじ右の下側に貼り付けます。
- 付属線材のコネクタを、端子基板のコネクタ外部制御出力（CN603）に接続します。
- 外部機器からの線材を、圧着端子（スリーブ）で接続します。
- コネクタCPU（CN3）の線材、コネクタVR（CN2）の線材、およびアース線の後ろ側を通して、固定ねじ下側のコードクランプでクランプします。



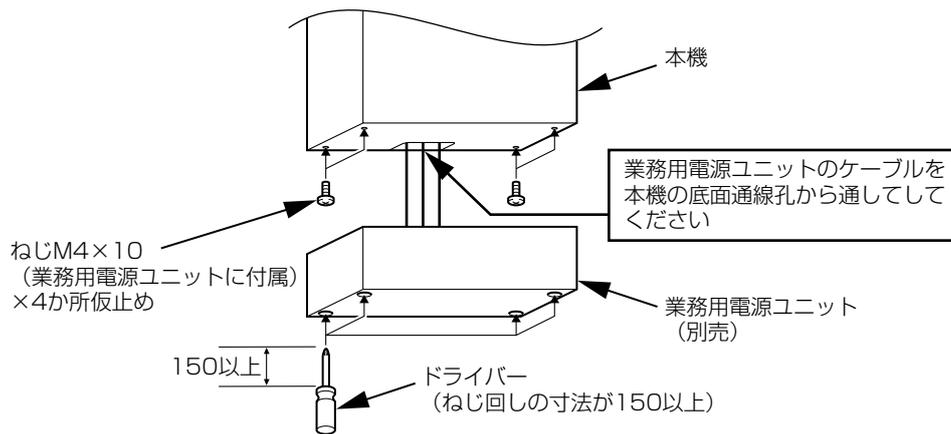
■ 停電起動と業務用電源ユニットの接続

・ 停電時に業務放送や緊急放送を行う場合は、別売・特別受注生産品の業務用電源ユニットを本機に接続してください。

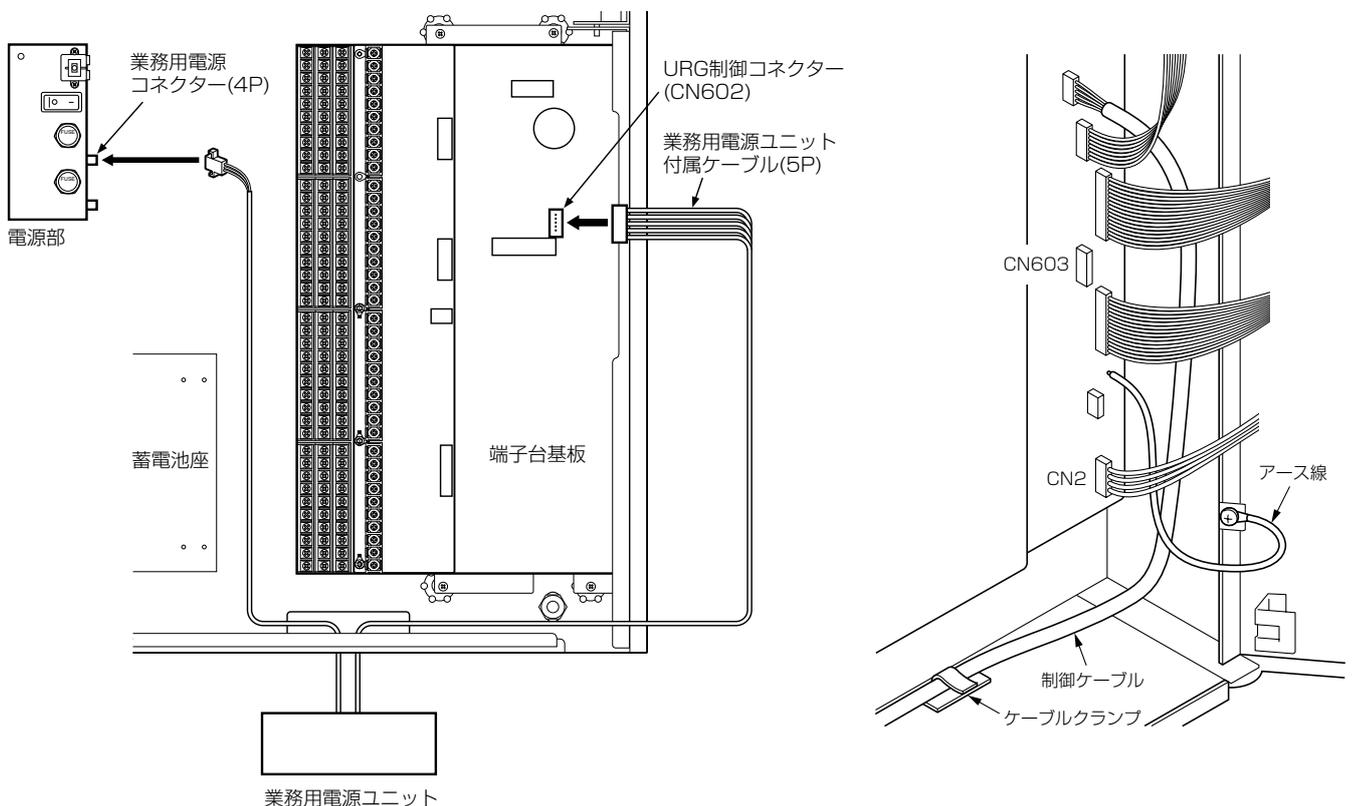
・ 非常放送用とは別に、蓄電池（NCB-600またはNCB-350）が必要です。

● 業務用電源ユニットの取り付け

- ① 本機下面の通線孔を開けて、業務用電源ユニットに付属のグロメットを通線孔の端面に取り付けます。
- ② 本機の底面にねじを4か所仮止めします。
- ③ 業務用電源ユニットのケーブルを、底面の通線孔から本機内部に引き入れます。
- ④ 業務用電源ユニットの鍵穴にねじの頭を引っ掛け、業務用電源ユニットの底面からドライバーでねじを回して、固定します。



● 業務用電源ユニットの接続

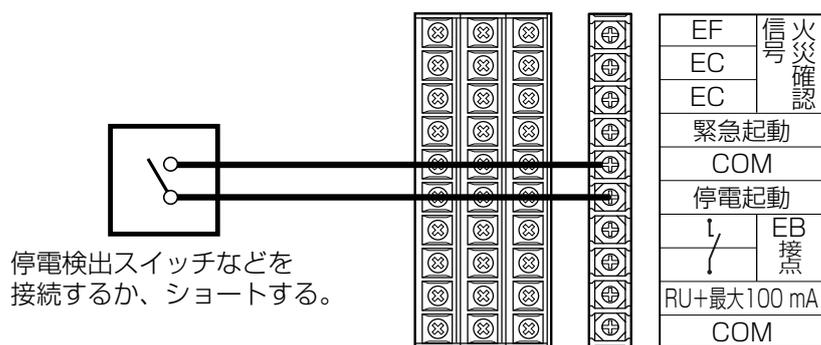


●線材の引き回し

- ①本機下面壁側へ業務用電源ユニットに付属のケーブルクランプを貼り付けます。
- ②通線口から引き入れた制御ケーブル（5P）を、端子基板と操作パネル側のCPU基板などに接続している線材の後側を通して、URG制御コネクタ（CN602）に差し込みます。
- ③制御ケーブルを本機側面、下面に沿って配線し、ケーブルクランプでたるみがないようにクランプします。制御線の余長分は、端子台ベース部の裏側に収めてください（17ページ）。
- ④電源ケーブルは蓄電池座の横を通して、電源部の業務用電源コネクタに差し込みます。

●停電時に業務放送を行う場合

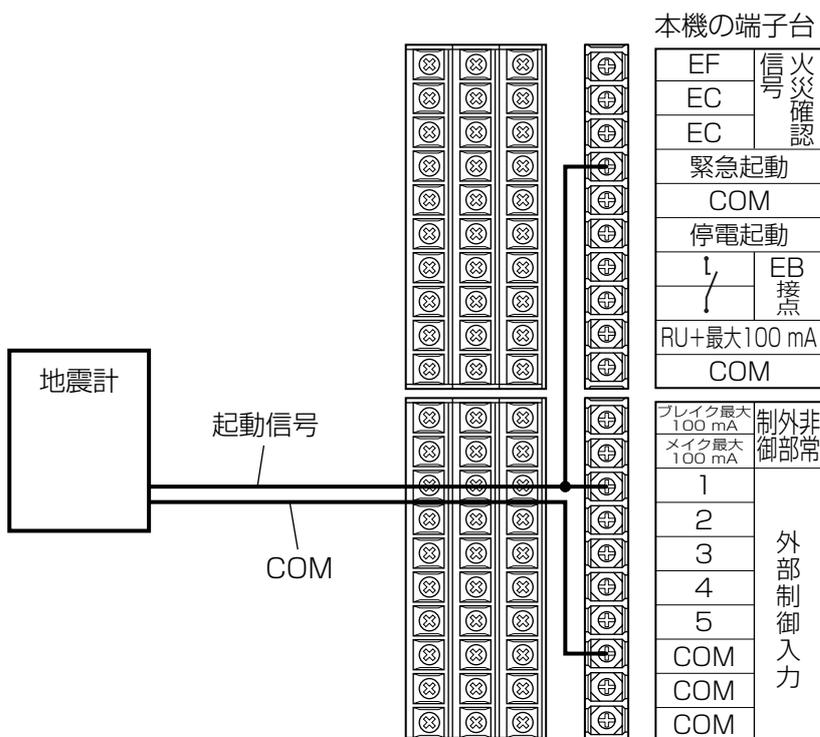
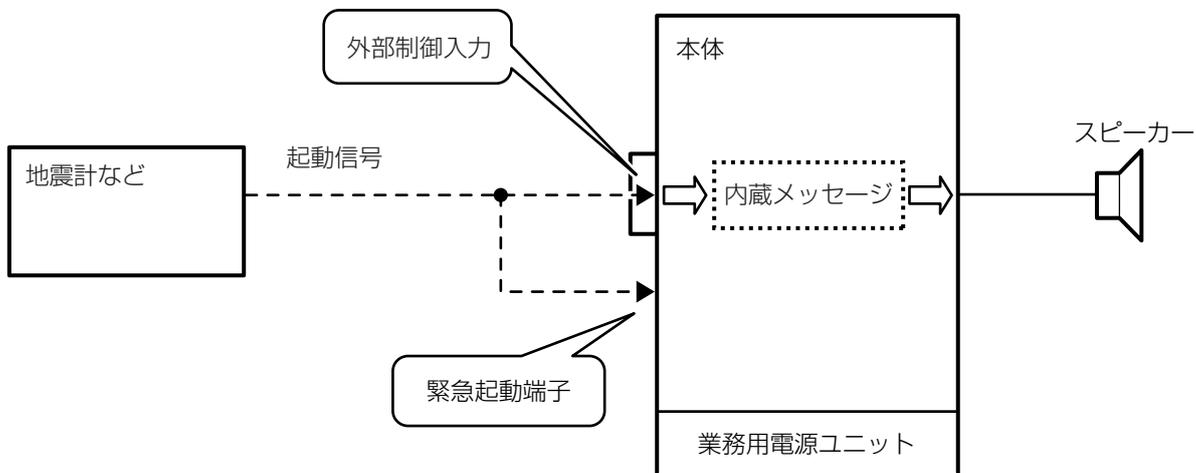
- ・停電起動端子とCOM端子間に停電検出スイッチを接続します。
- 停電時にすぐに電源を業務用電源ユニットに切り替える場合は、停電起動端子とCOM端子をショートしてください。



■停電時に緊急放送を行う場合の接続

(1) 内蔵音源から緊急放送を行う場合

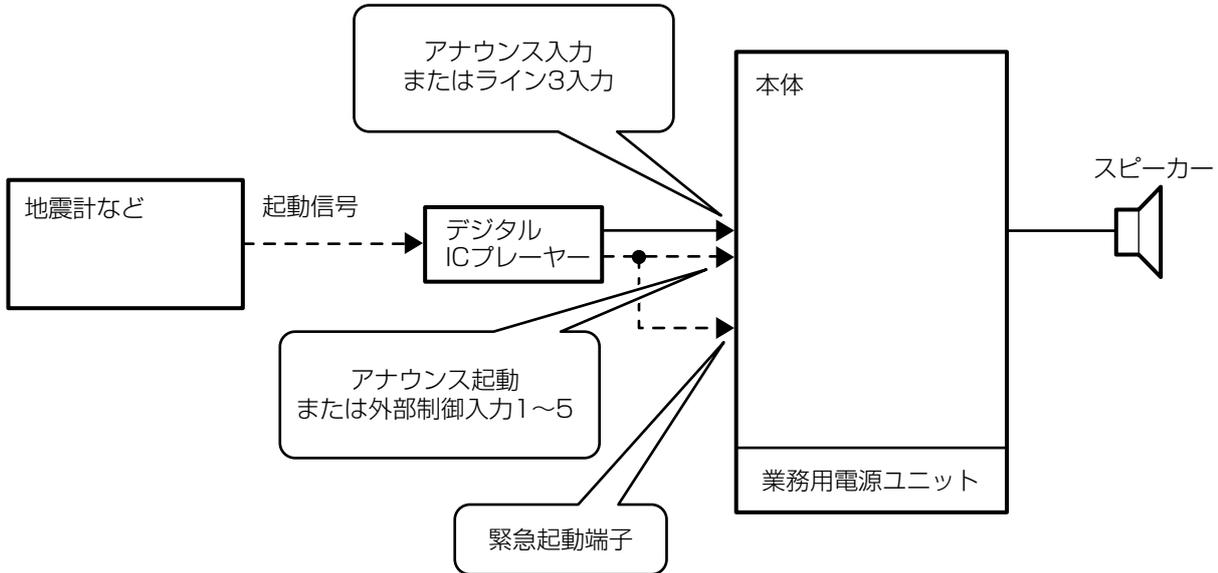
- ・外部制御入力に本機の内蔵メッセージを割り付けて、緊急放送することができます。
- ・地震計などからの起動信号を本体の「緊急起動端子」と「外部制御入力」に入力することにより、本機が内蔵している内蔵メッセージを緊急放送します。



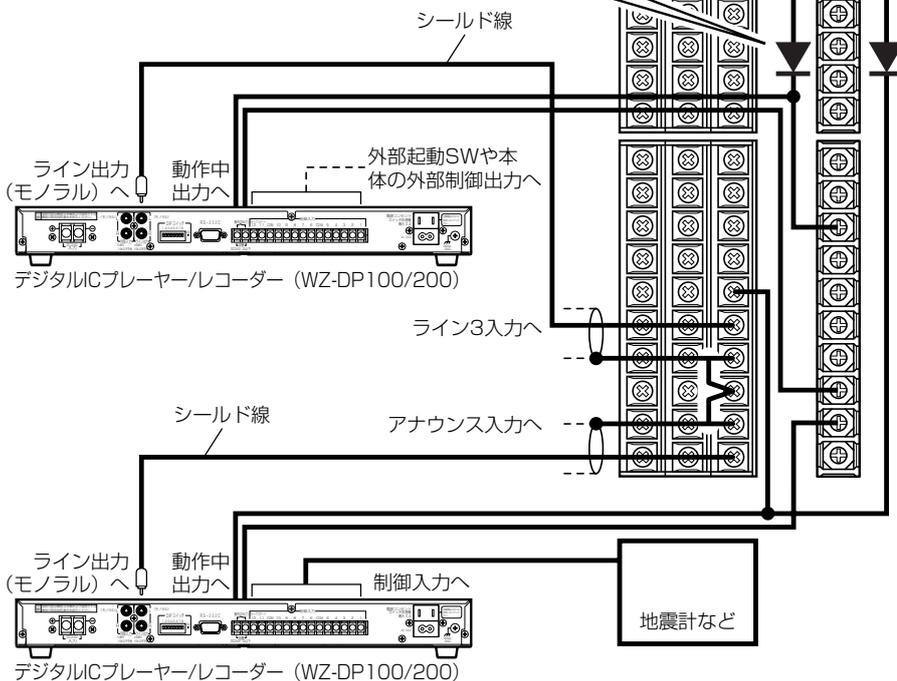
(2) 外部音源機器から緊急放送を行う場合

- デジタルICプレーヤーなどの外部音源機器を、アナウンス起動または、外部制御入力に接続した場合、アナウンス入力やライン3入力から緊急放送ができます。

- ① 本体の外部制御出力、外部の起動スイッチまたは地震計などから起動信号をデジタルICプレーヤー／レコーダー（WZ-DP100／200）の制御入力にメイクします。
- ② 起動したデジタルICプレーヤー／レコーダーは、本体の「アナウンス起動」と「緊急起動」をメイクして、緊急放送を行います。



注意： 緊急起動端子に複数の制御線を接続する場合は、ダイオードをシリーズに入れて接続し、回り込みをなくしてください。
 ※ダイオードYWAMO1Z（補修部品扱い）または相当品（順電流1 A以上、逆耐電圧200 V以上）



本機の端子台

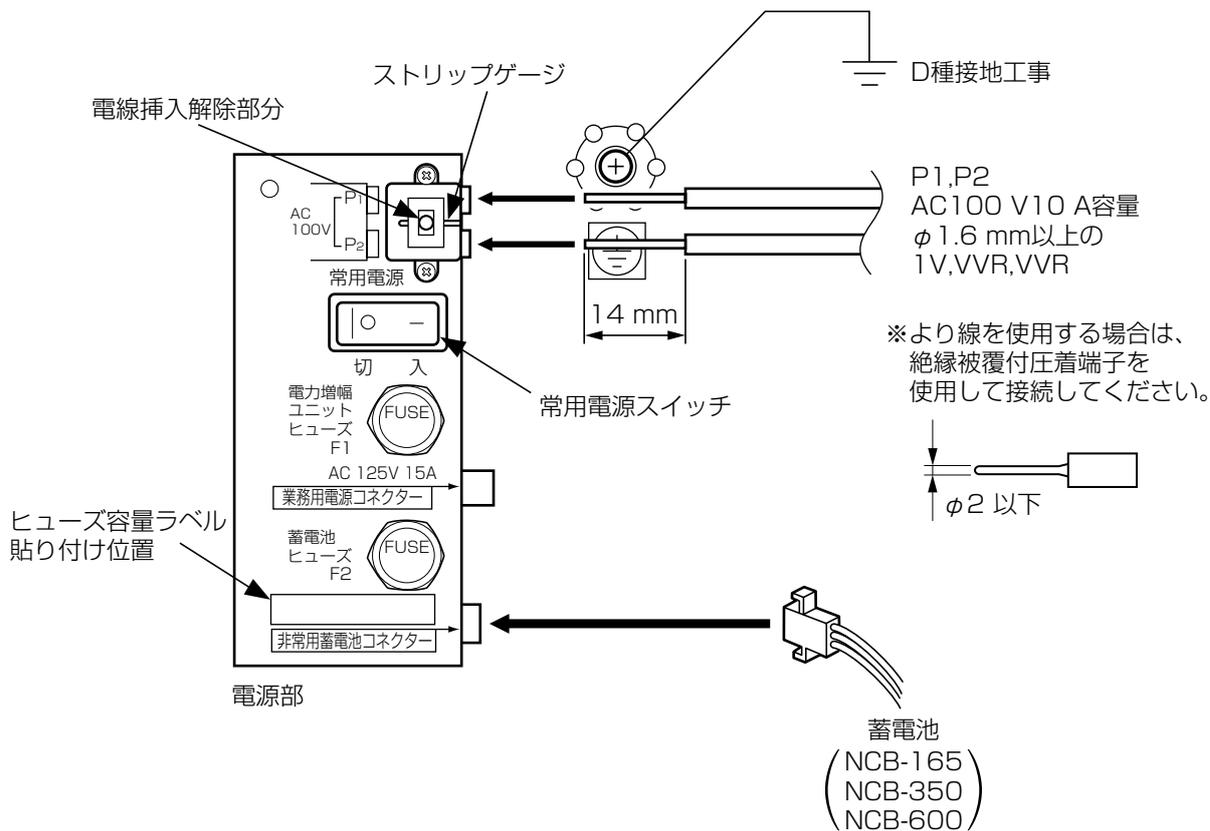
DC24V 最大1.2A	CPU OFF	LB+	遠隔操作器 (非常リモコン)	EF	信号 火災確認
OV COM	EMG	LB-	緊急起動	EC	
H 入力1 C 出力1	H ライン C 入力2(3)	H 入力3 C 入力4	マルチリモコン	EC	
DC24V 最大1 A	LB+	H 音声入力	一般リモコン	COM	緊急起動
OV	LB-	C		停電起動	EB 接点
DC24V 最大150 mA	上り 下り	E(S) E(S)	放送中出力	RU+最大100 mA	COM
OV	1 2	6 7	制御入力	COM	
COM	1 2	6 7	制御入力	COM	外部制御入力
COM	1 2	6 7	制御入力	COM	

放送制御	3	8	制御入力	一般リモコン	ブレイク最大 100 mA	外部制御入力
H 音声入力	4	9	制御入力	業務一般音声入力	メイク最大 100 mA	
C 音声入力	5	10	制御入力		1	外部制御入力
ライン出力 E(S)	H	チャイム 起動	チャイム アナウンス 起動	2		
H ライン1	H	ライン2	ライン3	3		
C ライン1	C	ライン2	ライン3	4		
E(S)	E(S)	E(S)	アナウンス	5		
C マイク1	C	マイク2	マイク3	COM	COM	
H	H	H	アナウンス	COM	COM	

■蓄電池・電源の接続

- ①接続の前に必ず、分電盤のブレーカーを「切」にしてください。
- ②電源接続端子P1、P2の挿入孔に、電源線を挿入します。
 - ・電源線は、端子台のストリップゲージに合わせて、14 mm（標準剥き線長）に剥きます。
 - ・電源接続端子の使用可能電線範囲は、単線φ1.6 mm～φ2.0 mmまでです。
 （電源線を外す場合は、マイナスドライバー（軸径φ6、刃先巾6）、または、プラスドライバー（軸径φ4）を使用して、上部の電線挿入解除部分を押して、線を抜きます）
- ③接地アースが接続されていることを確認します。（D種接地工事）
- ④蓄電池ヒューズの確認

蓄電池ヒューズは、電力増幅ユニットの出力に応じて取り付けるヒューズの容量が違います。組み込んだ電力増幅ユニットの電力に合った付属のヒューズが実装されているか確認してください。また、実装した容量のラベルが貼られていることを確認してください。



●電力増幅ユニットと蓄電池ヒューズの組み合わせ

電力 (W)	電力増幅ユニット	蓄電池ヒューズ (容量)
60 W	WU-PK106	10 A
120 W	WU-PK112	15 A
240 W	WU-PK124	25 A
360 W	WU-PK136	30 A

■接続・配線の点検

すべての接続が終わりましたら、分電盤のブレーカーおよび本機の常用電源スイッチを「入」にする前に、再度本機の配線・接続、各ユニット間のケーブル接続および外部配線を確認してください。

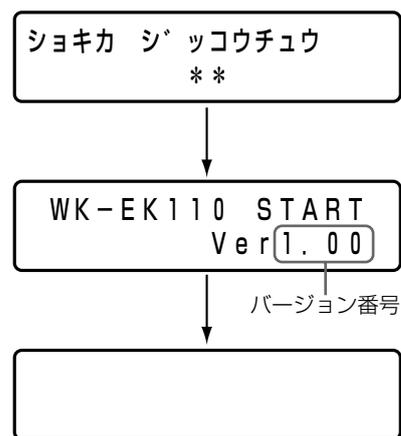
●電源の投入と点検

- ① 分電盤のブレーカーを「入」にします。
- ② 本機の常用電源スイッチを「入」にします。
 非常リモコンを接続している場合は、常用電源が入ると非常リモコンのモニタースピーカーから異常表示のブザー音が鳴ります。ブザー音は、非常リモコンの放送階選択スイッチのうちのいずれかを押しと止まります。その後、本機の書き込み設定から、非常リモコンの接続台数設定を行ってください。(出荷時：0台)
 また、先に非常リモコンの電源線を外して本機の電源を入れ、書き込み設定で接続台数の設定を行っておくこともできます。(62ページ参照)
- ③ 蓄電池のコネクターを電源部の非常用蓄電池コネクターに接続します。
- ④ 主電源表示灯が点灯している(常用電源AC100Vの確認)ことを確認してください。
- ⑤ 主回路／非常電源表示灯が点灯していることを確認してください。
- ⑥ 液晶画面に「ショキカジッコウチュウ」が表示され、本機のシステムチェックが開始されます。
 万が一エラーが発生した場合には、液晶画面に表示されます。120～122ページにしたがって処理をしてください。
 本機に問題がない場合には、通常画面へ移行します。

・「ショキカジッコウチュウ」の画面がしばらく表示され、システムチェックが行われます。

・オープニング画面が1秒間表示されます。
 右図はWK-EK110の場合の画面です。
 表示されるバージョン番号は、使用するバージョンにより異なります。

・通常画面に移行します。
 (通常画面は何も表示されません)



接続のしかた

⑦蓄電池点検スイッチを押して蓄電池の状態を確認します。

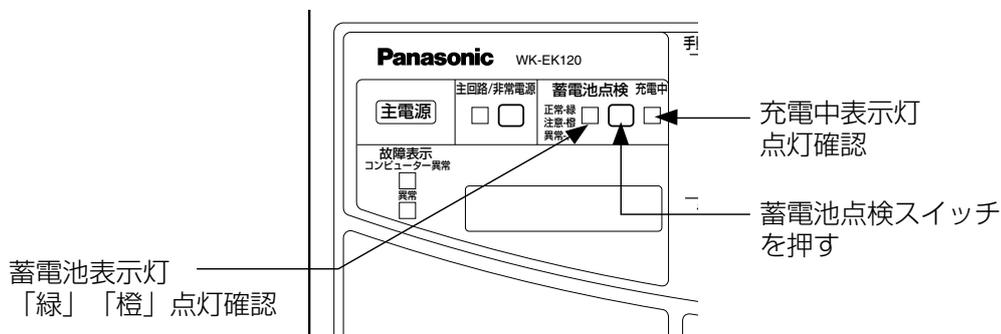
押した10秒後に結果を表示します。

蓄電池点検スイッチを押します。充電中表示灯は消灯し、蓄電池点検表示灯が緑色または、橙色に点灯することを確認します。(蓄電池電圧の確認)

ただし、設置直後は充電が十分でないため、赤色が点灯することがあります。

点検結果(点灯色)は、次の点検まで保持されます。

蓄電池の満充電の目安は約24時間です。



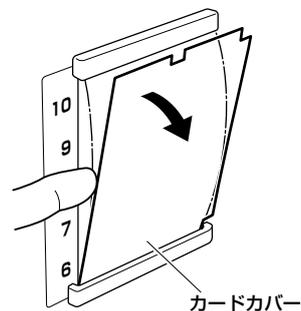
- メモ**
- ・蓄電池点検スイッチは10秒以上押さないでください。
 - ・蓄電池点検スイッチを押すと、充電中表示灯は消灯します。

⑧充電中表示灯が点灯していることを確認します。

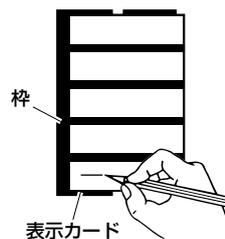
■放送先名称の表示について

放送階選択スイッチ表示部、ブロック選択スイッチ表示部には、割り当てた放送先の名称を記入する表示カードが付いています。表示カードへの記入は、以下の手順で行います。

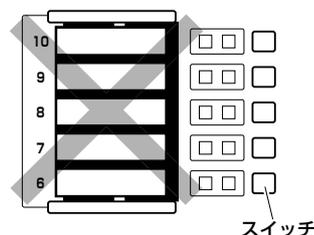
- ①表示カードの上に取り付けられているカードカバー中央部に爪をかけた、持ち上げながら手前に引いて、カードカバーを外します。
- ②表示カードを取り外します。



- ③割り当てた放送先の名称を、表示カードに記入します。枠のない側を右(スイッチ側)に向けて、記入してください。市販のラベルに記入してはり付けるときは、高さ10 mm以下、長さ40 mm以下のラベルを使用してください。



- ④記入が終わりましたら、表示カードとカードカバーを元通り本機に取り付けてください。表示カードの向きが逆にならないよう注意してください。



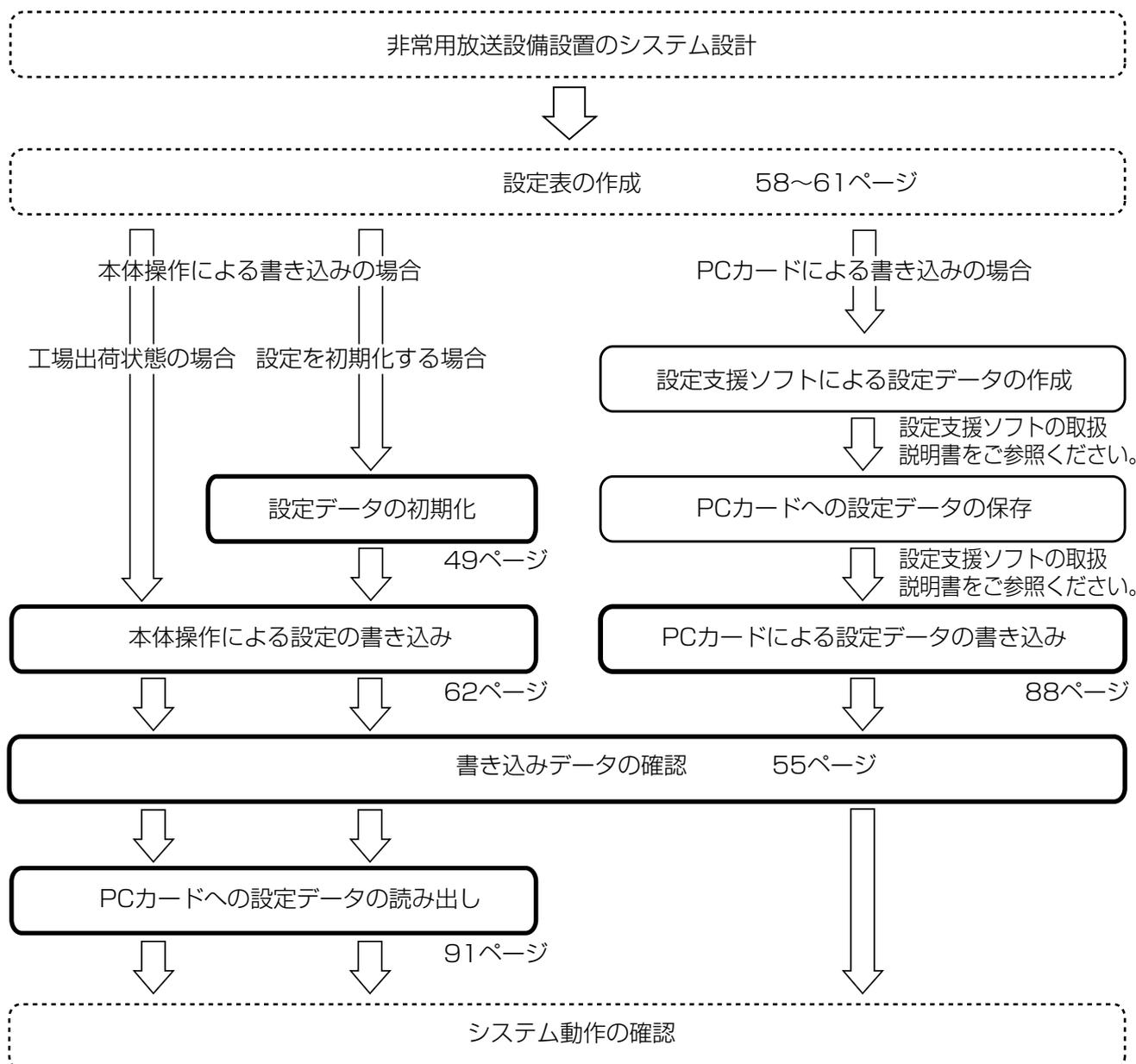
書き込みとは

本機は建物の規模や放送の目的によって、多様化する放送機能を「書き込み」によって設定できます。書き込みは、本体の液晶画面とマイクドア内のスイッチ操作で行います。また設定支援ソフトで作成したシステム設定データや音源データをPCカード経由で本機に書き込むことができます。本体の保持しているデータをPCカードへ取り出すことを「読み出し」と呼びます。

■書き込み・読み出しの流れ（システム設定データ）

システム設定データの書き込み操作は次の流れで行います。

-  : 本体で操作する内容
-  : 設定支援ソフトで操作する内容

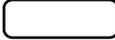


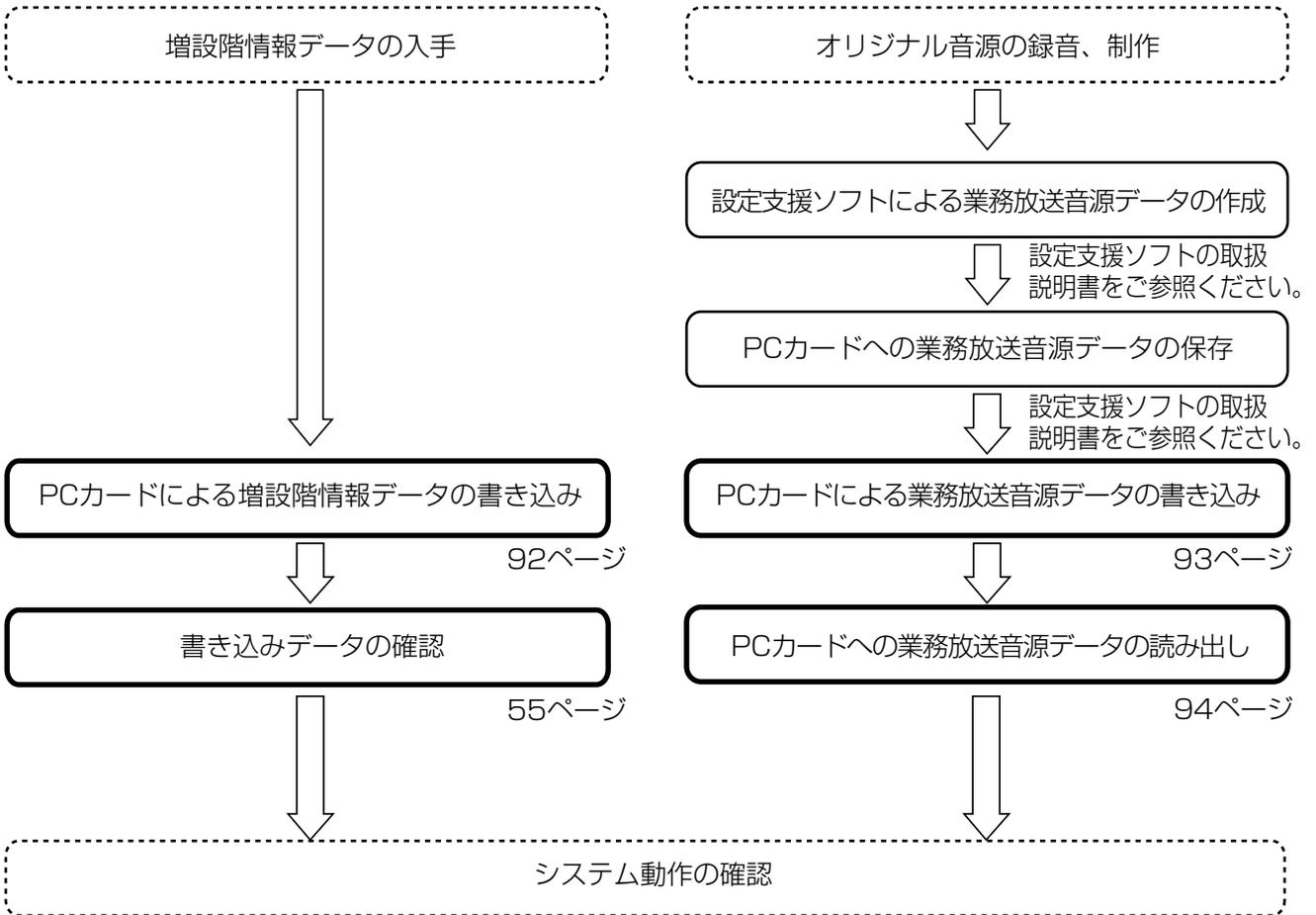
書き込みのしかた
と調整

書き込みとは

■書き込み・読み出しの流れ（音源データ）

音源データのPCカードからの書き込み操作、PCカードへの読み出し操作は次の流れで行います。
増設階情報データは、特別注文によりお客様にご提供させていただく音源データです。
業務放送音源データは、設定支援ソフトを使用して作成する音源データです。

-  : 本体で操作する内容
-  : 設定支援ソフトで操作する内容

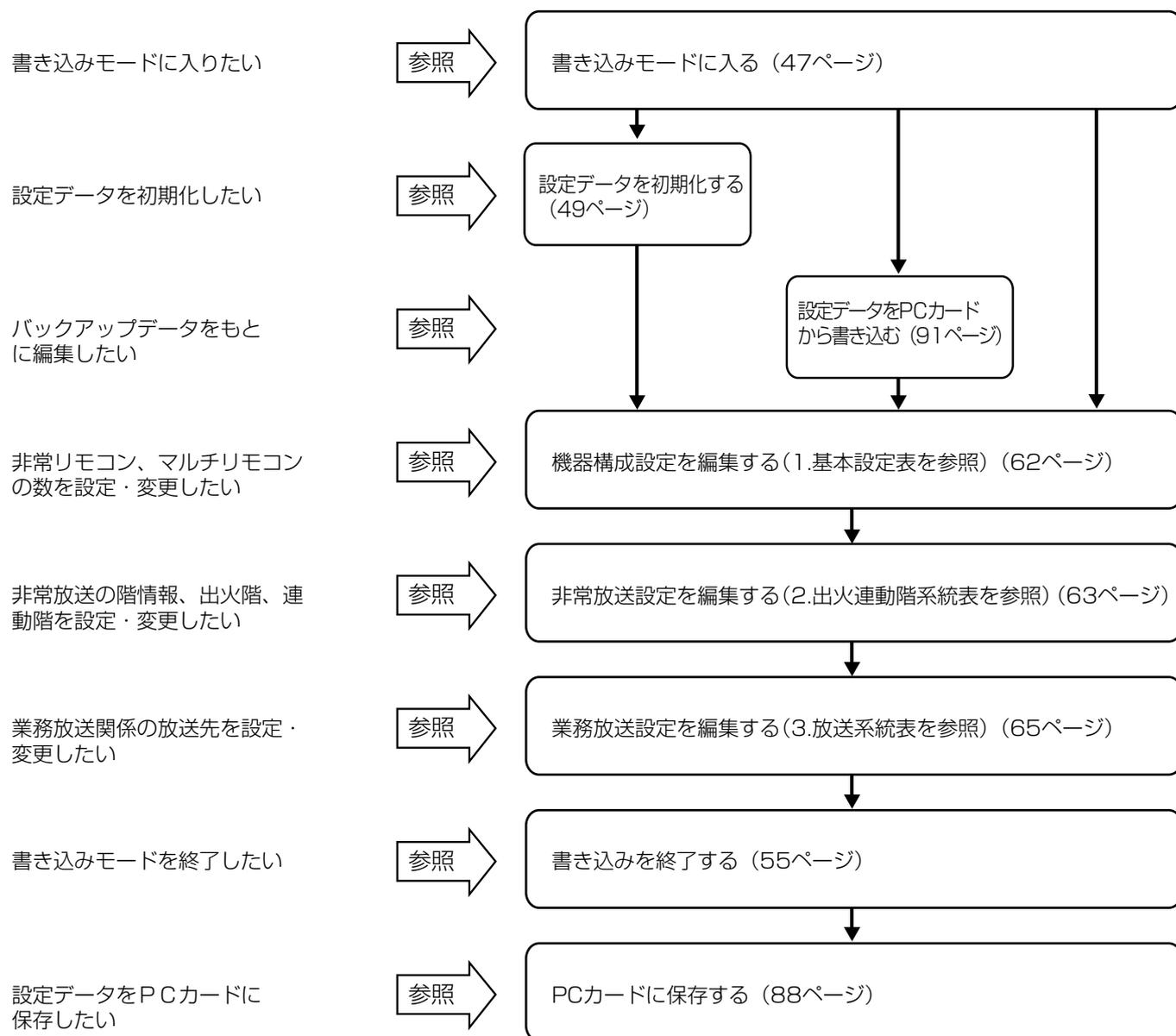


書き込みのしかたと調整

書き込みのしかた

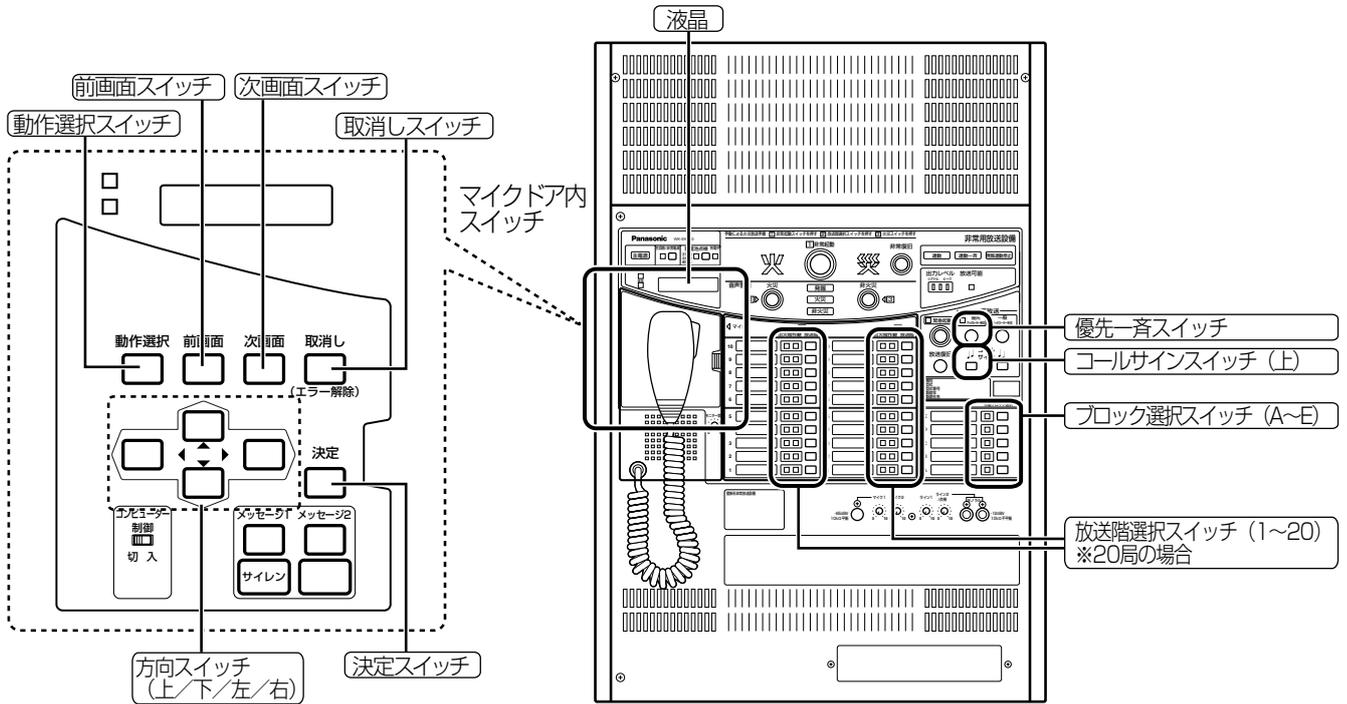
■書き込みの手順について

本体操作による書き込みは、設定表を参照しながら次の手順で行います。



■書き込みに使用するスイッチ

書き込みには、マイクドア内のスイッチと放送階選択スイッチ（1～20）、コールサインスイッチ（♪）、優先一斉スイッチ、ブロック選択スイッチを使用します。



●スイッチの機能

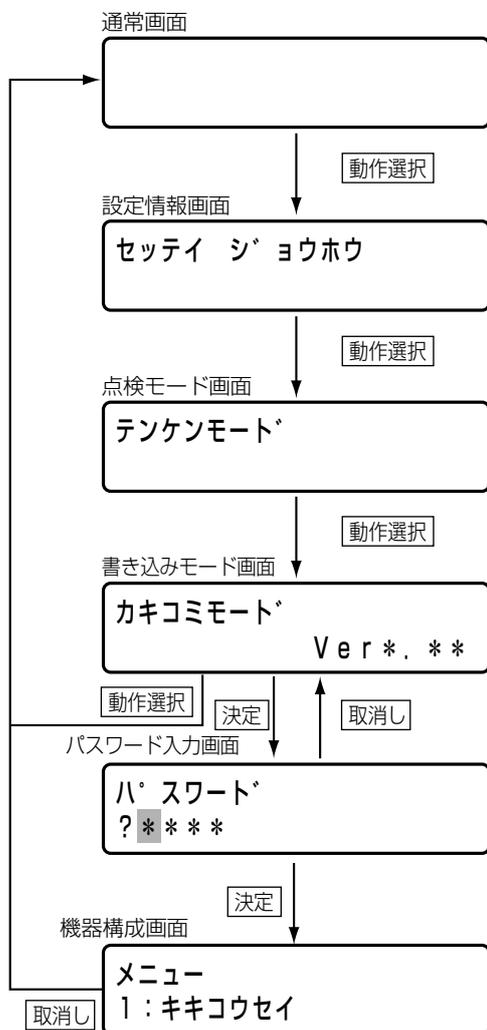
スイッチ	機能
動作選択スイッチ	動作モードを選択するスイッチです。押すたびに動作モードが切り替わります。
前画面スイッチ	前のメニュー画面に移行します。
次画面スイッチ	次のメニュー画面に移行します。
上方向（↑）スイッチ	設定値を増やすスイッチです。
下方向（↓）スイッチ	設定値を減らすスイッチです。
左方向（←）スイッチ	選択項目を左に移動します。
右方向（→）スイッチ	選択項目を右に移動します。
取消しスイッチ	一段階上の階層のメニュー画面に移行します。
決定スイッチ	一段階下の階層のメニュー画面に移行します。設定内容を登録します。
コールサイン（♪）	階情報音源の鳴動確認に使用します。
放送階選択スイッチ	出火階や連動階などの放送階を設定するときに使用します。
ブロック選択スイッチ	ブロック選択スイッチに関する設定に使用します。
優先一斉スイッチ	優先放送の設定に使用します。

■書き込み開始（パスワード入力）

書き込みを始めるには、書き込みモード画面に移行する必要があります。

書き込みモード画面で **決定** を押すと、パスワード入力画面になりますので4ケタ数字のパスワードを入力してください。

パスワードの初期値は「0000」になっています。パスワードは変更が可能です。（87ページ）



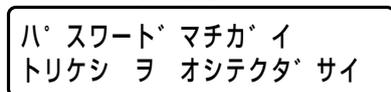
点検モード画面は、通常画面に何も表示されていないとき（放送されていないとき）のみ表示されます。

×モ画面右下の数字「*.* **」はバージョン番号です。

上方向↑、下方向↓で数字を選択し、右方向→を押すと設定対象が1ケタ右に移動します。（左方向←を押すと1ケタ左に移動します。）

正しいパスワード4ケタの数字を入力し、**決定**を押すと、メニュー画面に移行します。※出荷時設定は「0000」です。

パスワードエラー画面



パスワードが正しくない場合は、パスワードエラー画面が表示されます。**取消し**を押すとパスワード入力画面に戻ります。

■書き込み中の放送と注意事項

書き込み操作中でも放送は継続して行われますが、本体操作パネル上のスイッチ操作による放送先の選択などを行うことはできません。書き込みを終了させてから行ってください。

●書き込みデータ保存時

書き込んだデータを保存すると、自動的に再起動が行われて放送が停止しますので、ご注意ください。

●非常放送の起動時

書き込み操作中に非常放送が起動された場合は、書き込み操作を即時中断して非常放送へ移行します。書き込み途中(編集)の設定はすべて破棄されますので、非常放送終了後に再度書き込み操作を行ってください。

非常放送中に書き込みモードへ入ることはできません。

●緊急放送の起動時

書き込み操作中に緊急放送が起動された場合は、書き込み操作を即時中断して、緊急放送へ移行します。書き込み途中(編集)の設定はすべて破棄されますので、緊急放送終了後に再度書き込み操作を行ってください。

緊急放送中に書き込みモードへ入ることはできません。

■設定データの初期化

次のような場合には、書き込みを行う前に設定データの初期化を行ってください。

- 書き込み内容を工場出荷時状態(初期値)に戻したいとき
- 現在の書き込み内容が不明なため、最初から書き込みし直したいとき
- 移設などでまったく新規に書き込みを行いたいとき
- 意図した動作をしていないが、どこをどう修正すればよいのか、わからなくなったとき

設定データの初期化を行うと、その前に書き込みされていた内容は完全に消去されます。必要に応じてPCカードにバックアップしてから設定データの初期化を行ってください。設定データを初期化しても、パスワードは初期化されません。

設定データ初期化画面はメニュー選択画面（第1階層）にあります（51ページ）。初期化完了後は、工場出荷設定に戻ります。工場出荷設定内容は、97～99ページを参照してください。

設定データ初期化画面

メニュー
8:セッテイデータ ショキカ

決定

設定データ初期化確認画面

ショキカ カイシマス!
?ハイ

上方向↑、下方向↓で「ハイ」を選択して決定を押すと、初期化を開始します。「イイエ」を選択すると、メニュー画面に戻ります。

決定

設定データ初期化中画面

ショキカシ* ッコウチュウ
**

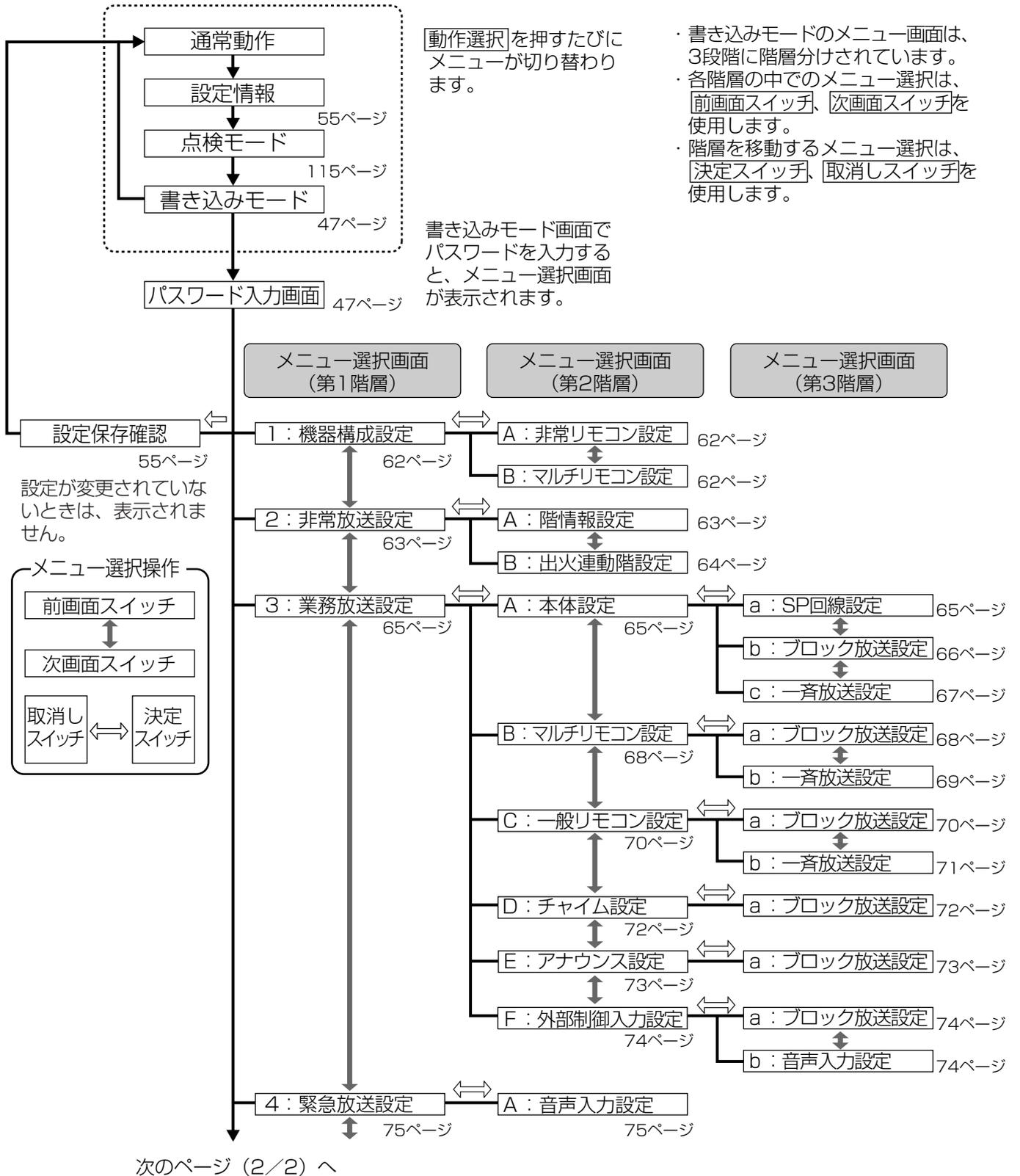
初期化中は、「**」が左から右に移動します。初期化が完了すると、自動的に再起動を行い、通常画面に戻ります。

(初期化を完了すると自動的に再起動)

通常画面

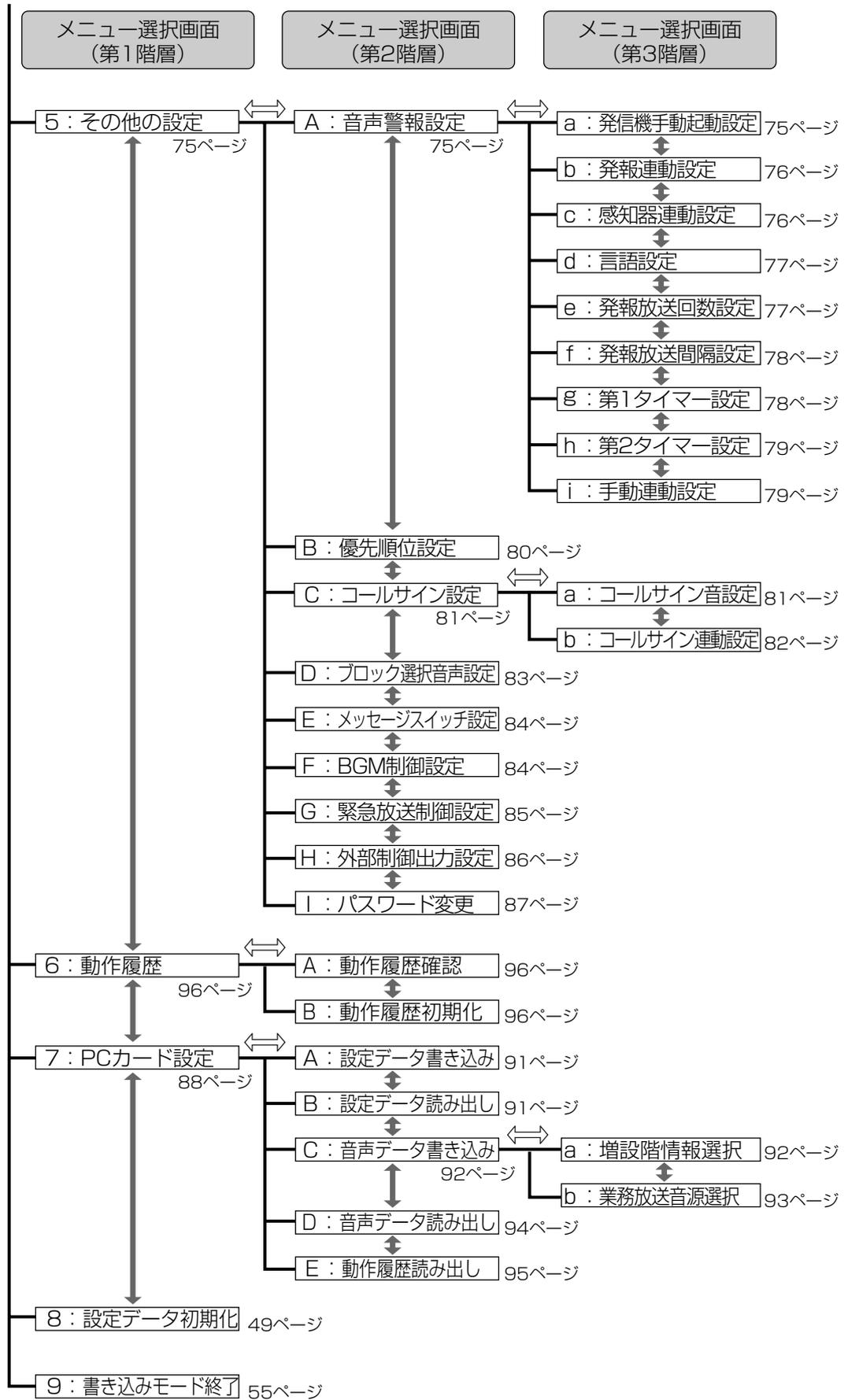
書き込み画面の構成

■書き込み画面構成



書き込みのしかたと調整

前のページ (1/2) より



書き込みのしかたと調整

書き込み画面の構成

■設定項目一覧

設定項目一覧を示します。

「本体操作による書き込み」の場合は、これらの設定項目を本機のメニュー操作で順に設定していきます。
「PCカードによる書き込み」の場合は、これらの設定項目を設定支援ソフトで設定します。PCカードから本機への書き込みは、本機のメニュー操作で行います。

画面番号および画面構成は、50～51ページを参照してください。

局数に依存する設定値は、20局の場合を記載しています。10局、15局の場合は次のとおり読み替えてください。

10局の場合 : 1～10 15局の場合 : 1～15 20局の場合 : 1～20

●機器構成設定

画面番号	画面名	設定内容	設定値	参照ページ
—	本体局数	本体操作では設定できません。	10/15/20	—
1-A	非常リモコン設定	非常リモコンの接続台数を設定します。最大4台まで接続できます。	0～4	62
1-B	マルチリモコン設定	マルチリモコンマイクの接続台数を設定します。最大4台まで接続できます。	0～4	62
—	パワーアンプW数	本体操作では設定できません。	60/120/240/360	—

●非常放送設定

画面番号	画面名	設定内容	設定値	参照ページ
2-A	階情報設定	階別信号に対応する非常放送時の音声警報の階情報を設定します。	1～37 50～255 (※1)	63
2-B	出火連動階設定	階別信号に対応する放送階を設定します。1つの階別信号に対応する放送階が複数ある場合は、その階のすべてを出火階として設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	64
		階別信号に対応する連動階を設定します。1つの階別信号に対応する連動階が複数ある場合は、その階のすべてを連動階として設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	64

(※1) 特別注文の増設階情報を使用する場合は、50～255の番号が設定できます。詳しくは特別注文時にご確認ください。

●業務放送設定

画面番号	画面名	設定内容	設定値	参照ページ
3-A-a	本体 スピーカー回線設定	放送階選択スイッチに対応するスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	65
3-A-b	本体 ブロック放送設定	ブロック選択スイッチに対応するスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	66
		ブロック選択スイッチに対応する放送を優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	66
3-A-c	本体 一斉放送設定	一斉放送のスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	67
3-B-a	マルチリモコン ブロック放送設定	各エリア選択スイッチに対応するスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	68
		各エリア選択スイッチを優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	68
3-B-b	マルチリモコン 一斉放送設定	一斉放送スイッチのスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	69
		一斉放送スイッチを優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	69
3-C-a	一般リモコン ブロック放送設定	各ブロック選択スイッチに対応するスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	70
		各ブロック選択スイッチを優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	70
3-C-b	一般リモコン 一斉放送設定	一斉放送スイッチのスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	71
		一斉放送スイッチを優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	71
3-D-a	チャイム ブロック放送設定	チャイムに対応するスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	72
		チャイムを優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	72
3-E-a	アナウンス ブロック放送設定	アナウンスに対応するスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	73
		アナウンスを優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	73
3-F-a	外部制御入力 ブロック放送設定	各外部制御入力対応するスピーカー回線を設定します。	1～20 (20局の場合) ※複数選択可能	74
		各外部制御入力を優先放送 (アッテネーター無効) にするかどうかの設定を行います。	ON/OFF	74
3-F-b	外部制御入力 音声入力設定	各外部制御入力に対応する音声入力を設定します。	なし/ライン1～3/ オリジナル1～10	74

●緊急放送設定

画面番号	画面名	設定内容	設定値	参照ページ
4-A	緊急放送 音声入力設定	緊急放送時に使用する音声入力を設定します。	なし/ライン3のみ/ アナウンスのみ/ ライン3+アナウンス	75

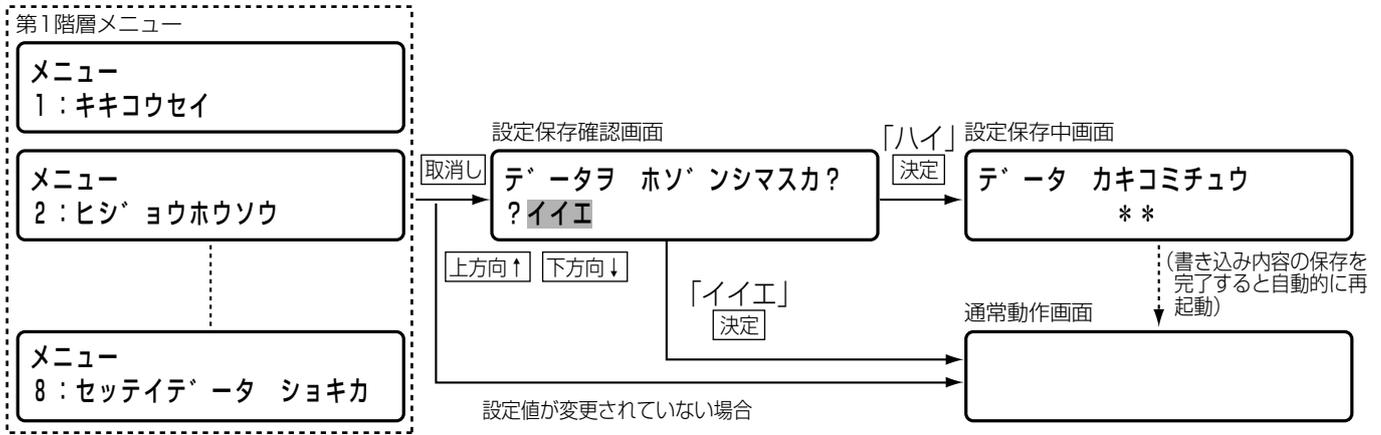
書き込み画面の構成

●その他の設定

画面番号	画面名	設定内容	設定値	参照ページ
5-A-a	音声警報 発信機手動起動設定	発信機や非常電話による起動、もしくは手動起動時の音声警報について設定します。	発報放送／火災放送	75
5-A-b	音声警報 発報連動設定	感知器起動時に自動的に発報放送をするかどうかの設定を行います。	連動／停止	76
5-A-c	音声警報 感知器連動設定	火災報知設備から信号を受信したときに、出火階と連動階に放送するか全館一斉に放送するかを選択します。	連動／連動一斉	76
5-A-d	音声警報 言語設定	音声警報の言語を設定します。	日本語／日本語＋英語／日本語＋英語＋第2外国語	77
5-A-e	音声警報 発報放送回数設定	発報放送の繰り返し回数を設定します。	2～5回／無限回	77
5-A-f	音声警報 発報放送間隔設定	発報放送を連続で繰り返すときの間隔を設定します。	00～60秒	78
5-A-g	音声警報 第1タイマー設定	感知器起動や手動起動時に、発報放送開始または火災音鳴動開始から火災放送へ移行するまでの時間を設定します。	2：00～59：59 (秒単位)	78
5-A-h	音声警報 第2タイマー設定	火災放送開始や第1タイマーのタイムアップから、一斉火災放送を開始する時間を設定します。	なし／0／2：00～59：59 (秒単位)	79
5-A-i	音声警報 手動連動設定	手動起動時に連動階に放送するかどうかを設定します。	連動／個別	79
5-B	優先順位 優先順位設定	放送の起動ごとに優先順位を設定します。	1～3	80
5-C-a	コールサイン コールサイン音設定	コールサインスイッチ（上／下）で鳴動する音を設定します。	上り4音／下り4音／オリジナルコールサイン1／オリジナルコールサイン2	81
5-C-b	コールサイン コールサイン連動設定	放送の起動に連動してコールサインを鳴動する放送を設定します。	チャイム／アナウンス／外部制御入力1～5	82
5-D	ブロック選択音声設定	ブロック選択スイッチで鳴動するオリジナルメッセージを設定します。	なし／オリジナル1～10	83
5-E	メッセージスイッチ設定	メッセージスイッチで鳴動するオリジナルメッセージを設定します。	メッセージ1：サイレン、オリジナル1～10 メッセージ2：ナシ、オリジナル1～10	84
5-F	BGM制御設定	BGMをミュートする機能の有効、無効を設定します。	ON／OFF	84
5-G	緊急放送制御設定	緊急放送時の緊急外部制御出力の動作について設定します。	ON（カット）／OFF（継続）	85
5-H	外部制御出力設定	外部制御出力をONにする条件を設定します。	なし／音声警報／発報放送／火災放送／一斉火災放送／非火災放送／マイク放送／異常発生／業務放送／緊急放送／点検／ブロック選択スイッチA～E	86
5-I	パスワード設定	書き込み画面へ入るためのパスワードを設定します。	0000～9999 (数字4桁)	87

■書き込み終了

書き込みを終了させるには、第1階層のメニュー選択画面（50～51ページ）で、**取消し** を押します。今日の階層にいるのかがわからない場合は、**取消し** を数回押すと、第1階層のメニューに戻ることができます。



■書き込みデータの確認

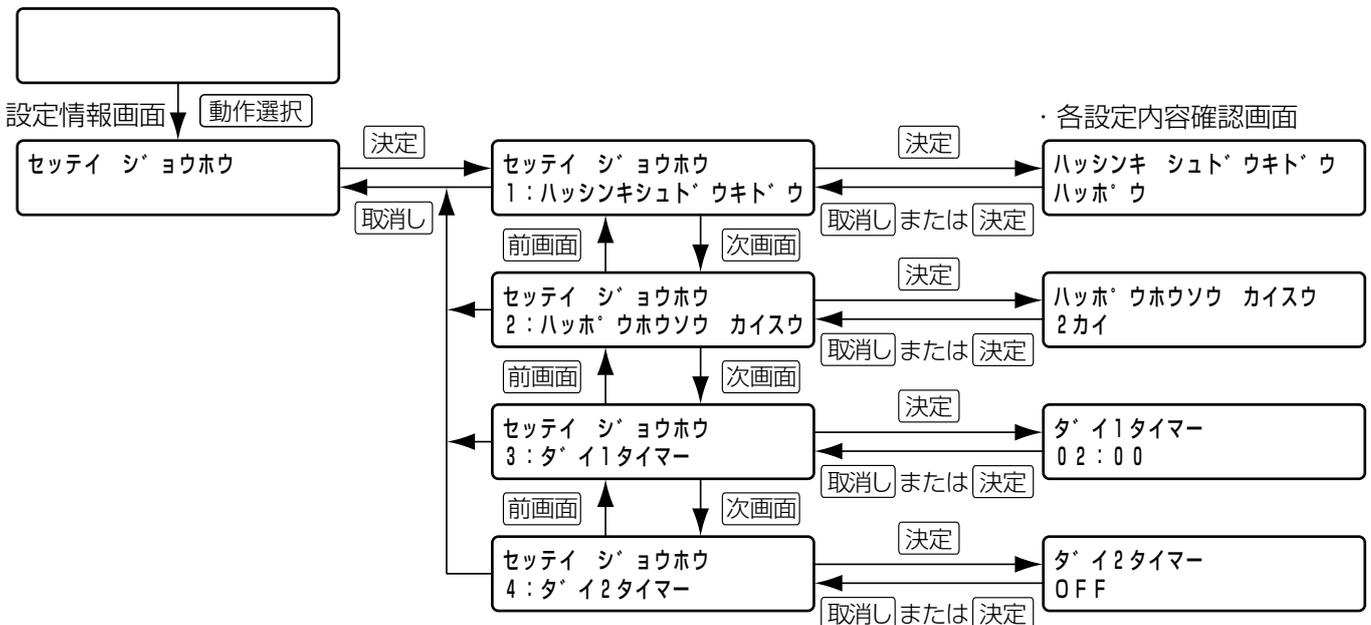
書き込みデータを確認するには、設定情報画面を表示させて確認する方法と、書き込みモードで確認する方法があります。いずれの方法でも、放送を停止させる必要はありません。

●設定情報画面による確認

設定情報画面では、次の設定内容を簡単に確認することができます。

- ・発信機手動起動設定（75ページ）
- ・第1タイマー設定（78ページ）
- ・発報放送回数設定（77ページ）
- ・第2タイマー設定（79ページ）

通常画面



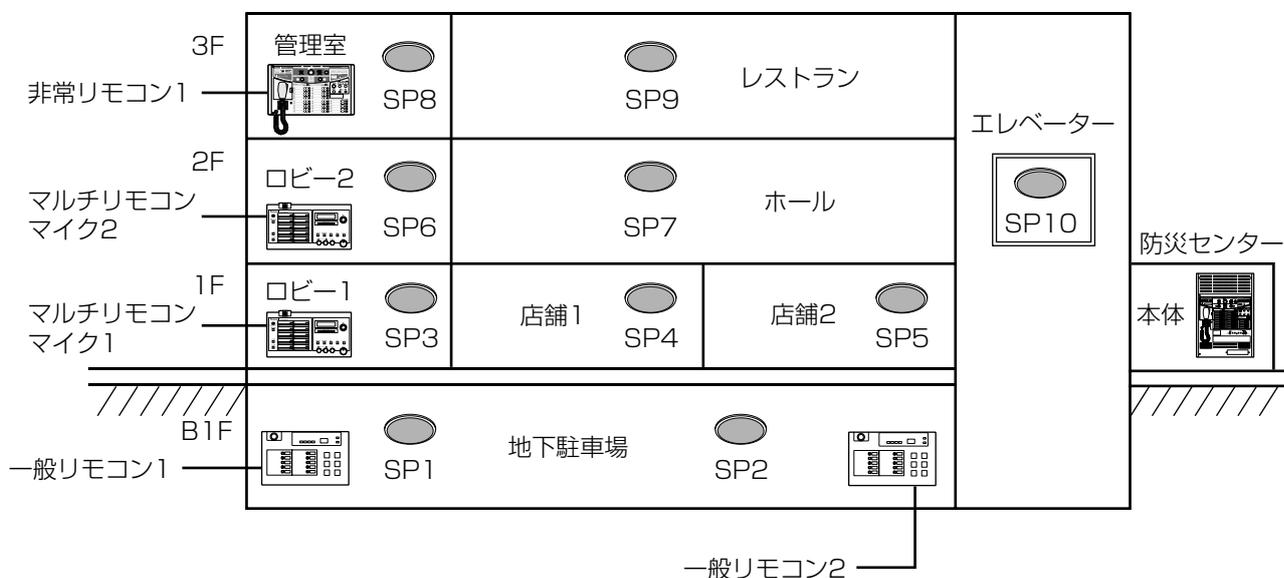
●書き込みモードによる確認

書き込みモードで設定内容を確認することができます。このとき、誤って設定内容を変更してしまわないよう注意してください。

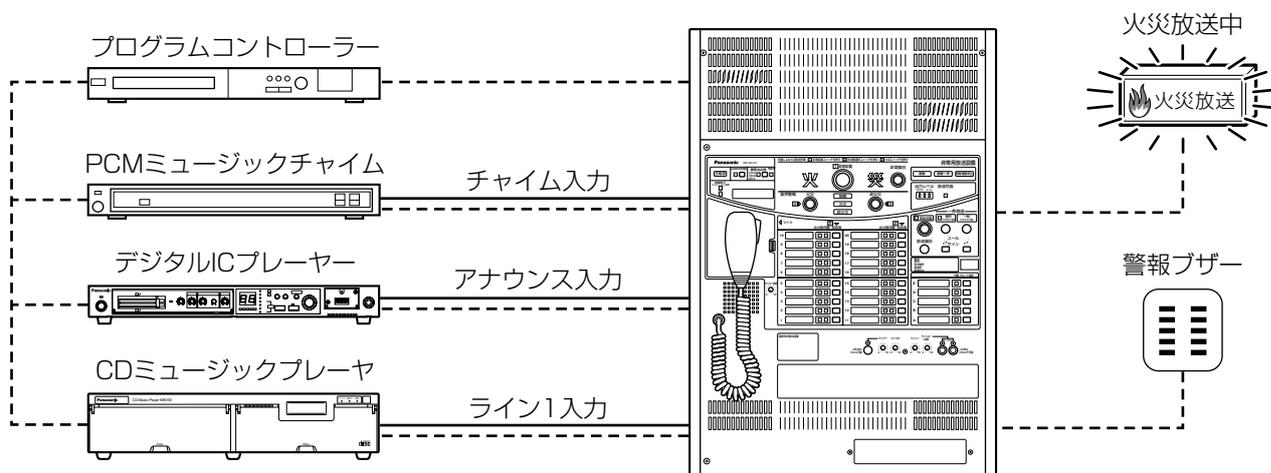
書き込みのしかた (設定表の作成)

■説明のためのシステム例

設定表の作成方法を説明するために使用するシステム例を示します。



防災センター内の音源機器の接続



書き込みのしかた
と調整

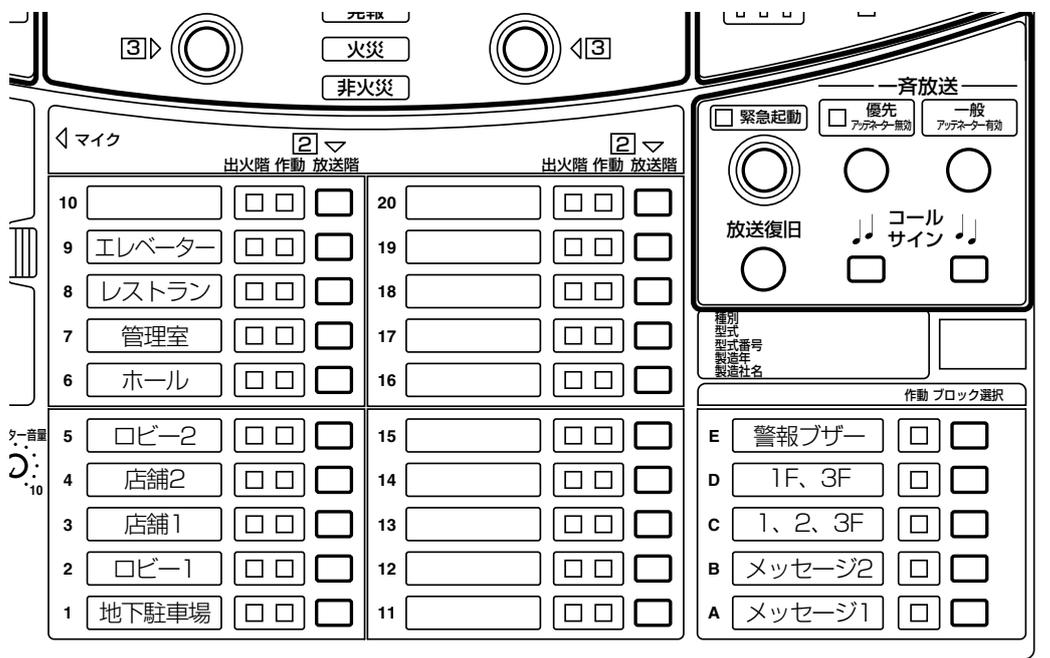
システム構成

機種	品番	台数	備考
本体 (20局)	WK-EK120	1台	-
非常リモコン (20局)	WR-EC120	1台	-
マルチリモコンマイク	WR-MC100	2台	-
一般リモコン (10局リモコンマイク)	WR-210	2台	-
PCMミュージックチャイム	WZ-248	1台	チャイム入力に接続
デジタルICプレーヤー	WZ-DP100	1台	アナウンス入力に接続
CDミュージックプレーヤ	WB-651	1台	ライン1入力に接続
プログラムコントローラー	WZ-610	1台	-

運用形態

- ・ 本体を防災センターに設置し、総合管理を行います。
- ・ ライン1にCDミュージックプレーヤを接続し、通常はBGMを放送します。(外部制御入力1により起動)
- ・ プログラムコントローラーでミュージックチャイムを起動し、始業、終業のチャイムを放送します。
- ・ プログラムコントローラーでデジタルICプレーヤーを起動し、CM放送を放送します。
- ・ 非常リモコンを管理室に設置します。
- ・ マルチリモコンマイクをロビー1、ロビー2に設置し、呼び出し放送や案内放送を行います。
- ・ 一般リモコンを地下駐車場に2台設置し、主に車の誘導を行います。
- ・ 火災放送中に「火災放送中」表示灯を点灯させます。
- ・ ブロック選択スイッチで、メッセージ放送、警報ブザーの放送や放送先選択を行います。

本体スイッチの割り当て



書き込みのしかたと調整

書き込みのしかた（設定表の作成）

■設定表について

本機に書き込みを行う前に、システムの設定内容を設定表に記入します。
設定表には次の3種類があります。原紙は100ページにありますので、コピーしてご使用ください。
ここでは、「説明のためのシステム例」の設定について記入しています。

基本設定表の作成

基本設定表（1/2）

	設定項目	択	設 定	画面番号	参照ページ
機器構成	本体局数	○	※入力不要です。 □10局 □15局 ■20局	—	—
	非常リモコン台数	○	□なし ■1台 □2台 □3台 □4台	1-A	62
	マルチリモコン台数	○	□なし □1台 ■2台 □3台 □4台	1-B	62
	パワーアンプW数	○	※入力不要です。設定支援ソフトで入力してください。 □60W ■120W □240W □360W	—	—
緊急放送 音声警報	緊急放送音声入力	○	□なし □ライン3 ■アナウンス □ライン3+アナウンス	4-A	75
	発信機・手動起動	○	■発報放送 □火災放送	5-A-a	75
	発報連動	○	■連動 □停止	5-A-b	76
	感知器連動	○	■連動 □連動一斉	5-A-c	76
	言語	○	□日本語 ■日本語+英語 □日本語+英語+第2外国語	5-A-d	77
	発報放送繰り返し回数	○	□2回 □3回 □4回 □5回 ■無限回	5-A-e	77
	発報放送繰り返しタイマー間隔	○	30 秒 (00~60)	5-A-f	78
	火災放送移行タイマー (第1タイマー)	○	5 分 (02~59) 00 秒 (00~59)	5-A-g	78
	一斉火災放送指定	○	■あり □なし	5-A-h	79
	一斉火災放送移行タイマー (第2タイマー)	○	3 分 (00, 02~59) 00 秒 (00~59)		
	手動連動	○	■連動 □個別	5-A-i	79
優先順位	優先順位1	—	※優先順位1のものにチェックしてください ■本体 □非常RM1 □非常RM2 □非常RM3 □非常RM4 □マルチRM1 □マルチRM2 □マルチRM3 □マルチRM4 □一般RM ■チャイム ■アナウンス □外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-B	80
	優先順位2	—	※優先順位2のものにチェックしてください □本体 ■非常RM1 □非常RM2 □非常RM3 □非常RM4 □マルチRM1 □マルチRM2 □マルチRM3 □マルチRM4 ■一般RM □チャイム □アナウンス □外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-B	80
	優先順位3	—	※優先順位3のものにチェックしてください □本体 □非常RM1 □非常RM2 □非常RM3 □非常RM4 ■マルチRM1 ■マルチRM2 □マルチRM3 □マルチRM4 □一般RM □チャイム □アナウンス ■外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-B	80
コールサイン	コールサイン音上り	○	■上り4音 □下り4音 □オリジナル1 □オリジナル2	5-C-a	81
	コールサイン音下り	○	□上り4音 ■下り4音 □オリジナル1 □オリジナル2	5-C-a	81
	コールサイン連動	—	□チャイム ■アナウンス ※連動させるものにチェックしてください □外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-C-b	82
ブロック選択音声	ブロック選択スイッチA	○	□なし ■オリジナル → No. 1 (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチB	○	□なし ■オリジナル → No. 2 (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチC	○	■なし □オリジナル → No. (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチD	○	■なし □オリジナル → No. (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチE	○	■なし □オリジナル → No. (1~10)	5-D	83
外部制御音声	外部制御入力1	○	□なし ■ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力2	○	□なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 ■オリジナル → No. 3 (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力3	○	■なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力4	○	■なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力5	○	■なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. (1~10)	3-F-b	74
メッセージスイッチ	メッセージスイッチ1	○	■サイレン □オリジナル → No. (1~10)	5-E	84
	メッセージスイッチ2	○	■なし □オリジナル → No. (1~10)	5-E	84
BGM制御	BGM制御ライン1, 2ミュート	○	■ON □OFF	5-F	84
緊急放送制御	緊急外部制御出力	○	□ON ■OFF	5-G	85
外部制御	外部制御出力1	—	□なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD ■ブロックE	5-H	86
	外部制御出力2	—	■なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
	外部制御出力3	—	■なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
	外部制御出力4	—	■なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
	外部制御出力5	—	■なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
パスワード	パスワード	○	※出荷時設定は「0000」です。 パスワード (数字4桁)	5-I	87

書き込みのしかたと調整

基本設定表 (2/2)

※各部名称およびユーザー情報は、本体操作では入力できません。設定支援ソフトで入力してください。

	設定項目	入力文字数	設定	
各部名称	放送階選択スイッチ	全角8文字	1 地下駐車場 3 店舗1 5 ロビー2 7 管理室 9 エレベーター 11 _____ 13 _____ 15 _____ 17 _____ 19 _____	2 ロビー1 4 店舗2 6 ホール 8 レストラン 10 _____ 12 _____ 14 _____ 16 _____ 18 _____ 20 _____
	ブロック選択スイッチ	全角8文字	A メッセージ1 C 1. 2. 3F E 警報ブザー	B メッセージ2 D 1. 3F
	外部制御入力	全角8文字	1 BGM 3 _____ 5 _____	2 メッセージ3 4 _____
	チャイム	全角8文字	_____チャイム	
	アナウンス	全角8文字	_____ICプレーヤー	
	マルチリモコンマイク	全角8文字	1 地下駐車場 3 店舗1 5 ロビー2 7 管理室 9 エレベーター 11 _____ 13 _____ 15 _____ 17 _____ 19 _____	2 ロビー1 4 店舗2 6 ホール 8 レストラン 10 _____ 12 _____ 14 _____ 16 _____ 18 _____ 20 _____
	一般リモコン	全角8文字	1 地下駐車場 3 店舗1 5 ロビー2 7 管理室 9 エレベーター	2 ロビー1 4 店舗2 6 ホール 8 レストラン 10 _____
	スピーカー回線	全角8文字	1 地下駐車場 (東) 3 ロビー1 5 店舗2 7 ホール 9 レストラン 11 _____ 13 _____ 15 _____ 17 _____ 19 _____	2 地下駐車場 (西) 4 店舗1 6 ロビー2 8 管理室 10 エレベーター 12 _____ 14 _____ 16 _____ 18 _____ 20 _____
	外部制御出力	全角8文字	1 警報ブザー 3 _____ 5 _____	2 _____ 4 _____
	メッセージスイッチ	全角8文字	1 サイレン	2 _____

書き込みのしかた
と調整

書き込みのしかた (本体操作)

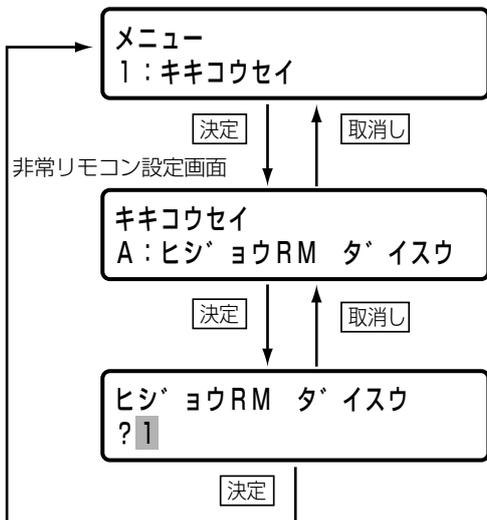
■機器構成設定

機器構成は、作成した58ページの「基本設定表 (1/2)」をもとに設定します。

●非常リモコン設定 1-A

機器構成	設定項目	択一	設定
機器構成	非常リモコン台数	○	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 1台 <input type="checkbox"/> 2台 <input type="checkbox"/> 3台 <input type="checkbox"/> 4台

機器構成設定画面



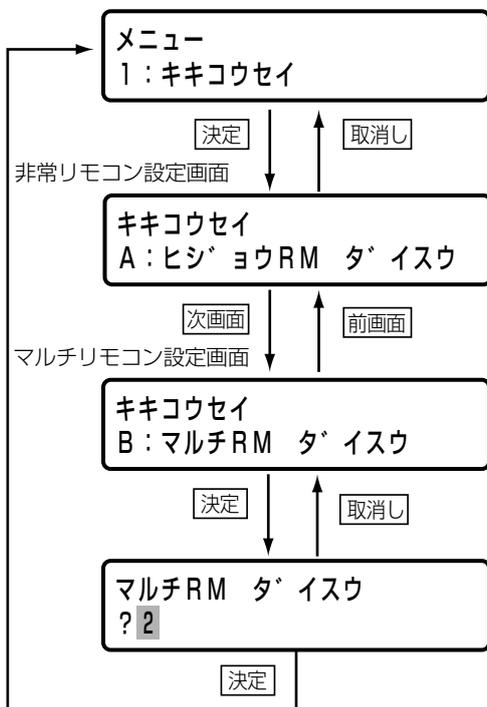
上方向↑、下方向↓でリモコン接続台数を選択します。

【設定範囲】0~4

●マルチリモコン設定 1-B

機器構成	設定項目	択一	設定
機器構成	マルチリモコン台数	○	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1台 <input checked="" type="checkbox"/> 2台 <input type="checkbox"/> 3台 <input type="checkbox"/> 4台

機器構成設定画面



メモ 次画面、前画面で非常リモコン設定画面に移行します。

上方向↑、下方向↓でマルチリモコン接続台数を選択します。

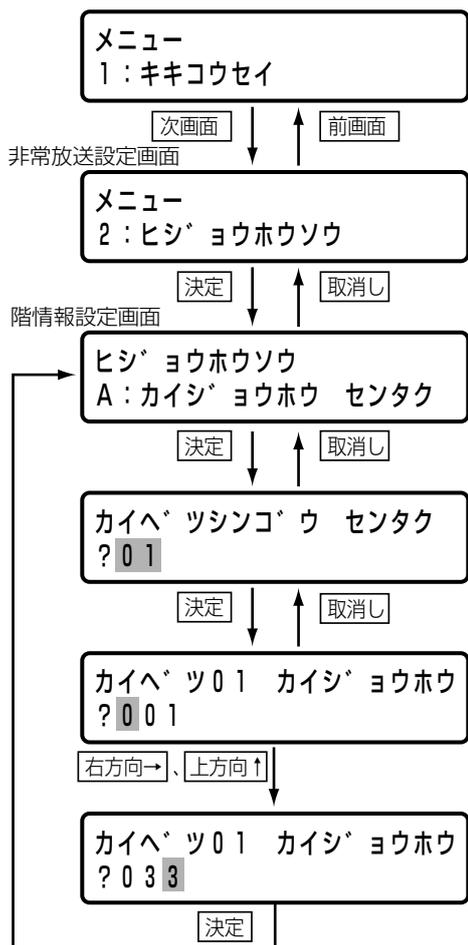
【設定範囲】0~4

■非常放送設定

非常放送設定は、作成した60ページの「出火連動階系統表」をもとに設定します。

連動階			階	放送階選択スイッチ																				
				系統名	階情報	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
出火階	放送階選択スイッチ (非常業務兼用)	B1	地下駐車場	1	33	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1	ロビー1	2	1	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1	店舗1	3	1	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1	店舗2	4	1	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	ロビー2	5	2					●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	ホール	6	2					●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3	管理室	7	3							●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3	レストラン	8	3							●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			エレベーター	9	25									●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				10											●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				11												●	○	○	○	○	○	○	○	○
				12													●	○	○	○	○	○	○	○
				13														●	○	○	○	○	○	○
				14															●	○	○	○	○	○
				15																●	○	○	○	○
				16																	●	○	○	○
				17																		●	○	○
				18																			●	○
				19																				●
				20																				

●階情報設定 2-A



上方向↑、下方向↓で設定対象の階別信号を選択します。
放送階選択スイッチを押すことによっても可能です。

左方向←、右方向→で入力する桁に移動し、上方向↑、下方向↓で数字を入力して、階別信号に対応する階情報を選択します。
・「33 地下駐車場」を選択する場合
右方向→でカーソルを10の桁に移動し、上方向↑で3を選択します。
右方向→でカーソルを1の桁に移動し、上方向↑で3を選択します。
コールサイン上を押すと表示している階情報の音声が鳴動します。
※工場出荷時の階情報番号は0~37です。
増設階情報番号は50~255です。
(38~49の番号には階情報がありません。)

書き込みのしかたと調整

書き込みのしかた（本体操作）

●出火連動階設定 2-B

非常放送設定画面

メニュー
2 : ヒジ ヨウホウソウ

決定

取消し

階情報設定画面

ヒジ ヨウホウソウ
A : カイジ ヨウホウ センタク

次画面

前画面

出火連動階設定画面

ヒジ ヨウホウソウ
B : シュッカカイ センタク

決定

取消し

ホウソウカイSW センタク
? 0 1

決定

取消し

SW 0 1 シュッカカイ センタク
? 0 1 ■■

決定

取消し

SW 0 1 レント ウカイ
? 0 2 0 3 0 4 ■■

決定

上方向↑、下方向↓で設定対象の放送階選択スイッチを選択します。
放送階選択スイッチを押すことによっても可能です。

上方向↑、下方向↓で放送階選択スイッチに対応する出火階を選択します。
右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。
放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

上方向↑、下方向↓で放送階選択スイッチに対応する連動階を選択します。
右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。
放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

書き込みのしかた（本体操作）

●本体—ブロック放送設定 **3-A-b**

各ブロック選択スイッチに対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。

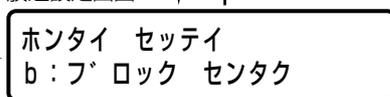
業務放送設定画面



本体設定画面



ブロック放送設定画面



上方向↑、下方向↓で設定対象のブロック選択スイッチを選択します。
ブロック選択スイッチを押すことによっても可能です。

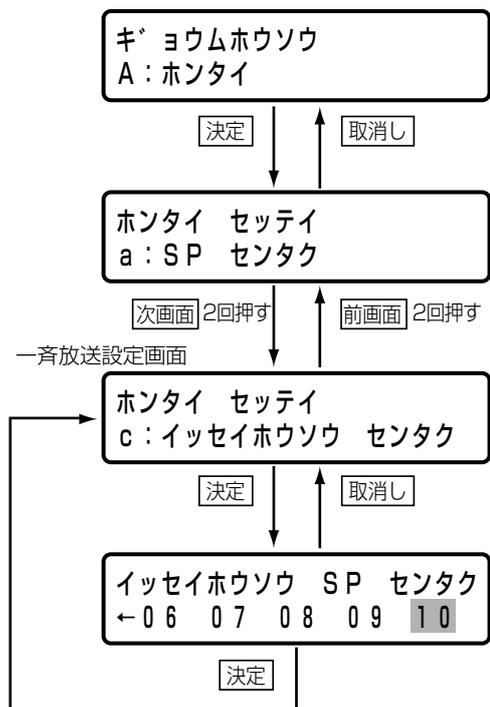
上方向↑、下方向↓でブロック選択スイッチに対応するスピーカー回線を選択します。
右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。
放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

上方向↑、下方向↓で優先放送ON/OFFを選択します。**優先一斉**でもON/OFFを選択できます。

書き込みのしかた
と調整

●本体—斉放送設定 3-A-c

—斉放送スイッチに対応するスピーカー回線を設定します。



上方向↑、下方向↓で—斉放送スイッチに対応するスピーカー回線を選択します。右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

書き込みのしかた（本体操作）

●マルチリモコンブロック放送設定 3-B-a

各マルチリモコンの各エリア選択スイッチに対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。

業務放送設定画面

メニュー
3:キョウムホウソウ

決定

取消し

キョウムホウソウ
A:ホンタイ

次画面

前画面

マルチリモコン設定画面

キョウムホウソウ
B:マルチRM

決定

取消し

決定を押したときに下記の画面が表示された場合、マルチリモコンの台数が設定されていません。台数を設定してください。

サキニ マルチRMノダ イスウヲ
セツテイシテクタ サイ

マルチRM セツテイ
?No 1

決定

取消し

上方向↑、下方向↓で設定対象のマルチリモコンNoを選択します。

ブロック放送設定画面

マルチRM No 1 セツテイ
a:ブ ロック センタク

決定

取消し

ブ ロック センタク
? 0 1

決定

取消し

上方向↑、下方向↓で設定対象のブロック選択スイッチを選択します。

ブ ロック 0 1 SP カイセン
? 0 1 0 2 ■■

決定

取消し

上方向↑、下方向↓でブロック選択スイッチに対応するスピーカー回線を選択します。右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

ブ ロック 0 1 ユウセンホウソウ
? OFF

決定

上方向↑、下方向↓で優先放送ON/OFFを選択します。優先一斉でもON/OFFを選択できます。

書き込みのしかたと調整

●マルチリモコン一斉放送設定 3-B-b

各マルチリモコンの一斉放送スイッチに対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。

マルチリモコン設定画面

ギョウムホウソウ
B: マルチRM

決定

取消し

マルチRM セッテイ
? No 1

決定

取消し

マルチRM No 01 セッテイ
a: ブロック センタク

次画面

前画面

一斉放送設定画面

マルチRM No 1 セッテイ
b: イッセイホウソウ センタク

決定

取消し

イッセイホウソウ SP カイセン
← 06 07 08 09 10 →

決定

取消し

イッセイ ユウセンホウソウ
? OFF

決定

上方向↑、下方向↓で設定対象のマルチリモコンNoを選択します。

上方向↑、下方向↓で一斉放送スイッチに対応するスピーカー回線を選択します。右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

上方向↑、下方向↓で優先放送ON/OFFを選択します。優先一斉でもON/OFFを選択できます。

書き込みのしかた
と調整

書き込みのしかた（本体操作）

●一般リモコンブロック放送設定 **3-C-a**

一般リモコンの各ブロック選択スイッチに対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。

業務放送設定画面

メニュー
3:キョウムホウソウ

決定

取消し

キョウムホウソウ
A:ホンタイ

次画面 2回押す

前画面 2回押す

一般リモコン設定画面

キョウムホウソウ
C:イッパノRM

決定

取消し

ブロック放送設定画面

イッパノRM セッテイ
a:ブロック センタク

決定

取消し

ブロック センタク
? 0 1

決定

取消し

ブロック 0 1 SP カイセン
? 0 1 0 2 ■■

決定

取消し

ブロック 0 1 ユウセンホウソウ
? OFF

決定

上方向↑、下方向↓で設定対象のブロック選択スイッチを選択します。

上方向↑、下方向↓でブロック選択スイッチに対応するスピーカー回線を選択します。右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

上方向↑、下方向↓で優先放送ON/OFFを選択します。優先一斉でもON/OFFを選択できます。

書き込みのしかた
と調整

●一般リモコン一斉放送設定 3-C-b

一般リモコンの一斉放送スイッチに対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。

業務放送設定画面

キョウムハウソウ
C: イッパ ンRM

決定

取消し

一般リモコン設定画面

イッパ ンRM セッテイ
a: フ ロック センタク

次画面

前画面

一斉放送設定画面

イッパ ンRM セッテイ
b: イッセイハウソウ センタク

決定

取消し

イッセイハウソウ SP カイセン
← 06 07 08 09 10 →

決定

取消し

イッセイ ユウセンハウソウ
? OFF

決定

上方向↑、下方向↓で一斉放送スイッチに対応するスピーカー回線を選択します。右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

上方向↑、下方向↓で優先放送ON/OFFを選択します。優先一斉でもON/OFFを選択できます。

書き込みのしかた（本体操作）

●チャイムブロック放送設定 3-D-a

チャイム入力に対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。

業務放送設定画面

メニュー
3:キョウムホウソウ

決定

取消し

キョウムホウソウ
A:ホンタイ

次画面 3回押す

前画面 3回押す

チャイム設定画面

キョウムホウソウ
D:チャイム

決定

取消し

ブロック放送設定画面

チャイム セッテイ
a:SP センタク

決定

取消し

チャイム SP センタク
← 05 06 07 08 09 →

決定

取消し

チャイム ユウセンホウソウ
? OFF

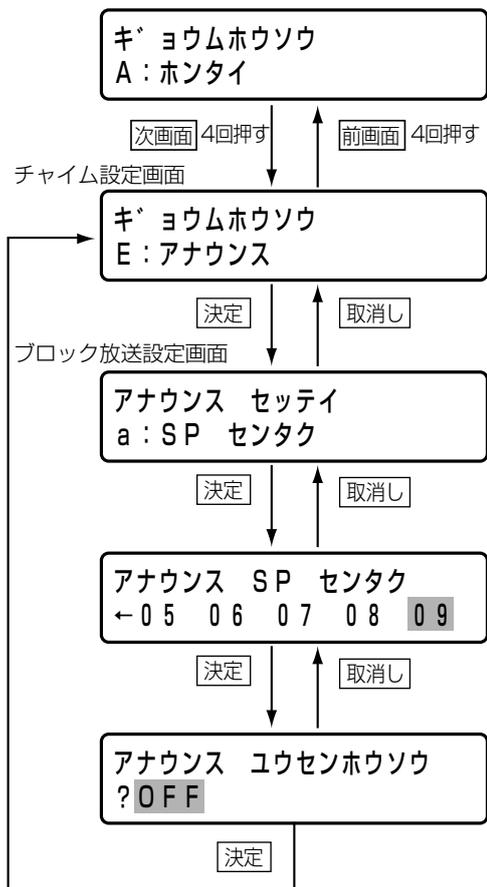
決定

上方向↑、下方向↓でチャイム入力に対応するスピーカー回線を選択します。
右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。
放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

上方向↑、下方向↓で優先放送ON/OFFを選択します。優先一斉でもON/OFFを選択できます。

●アナウンスブロック放送設定 [3-E-a]

自動アナウンス入力に対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。



上方向↑、下方向↓で自動アナウンス入力に対応するスピーカー回線を選択します。右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

上方向↑、下方向↓で優先放送ON/OFFを選択します。優先一斉でもON/OFFを選択できます。

書き込みのしかた（本体操作）

●外部制御入力ブロック放送設定 3-F-a

各外部制御入力に対応するスピーカー回線と優先放送（アッテネーター無効）のON/OFFを設定します。

業務放送設定画面

メニュー
3: キョウムホウソウ

決定 ↓ ↑ 取消し

キョウムホウソウ
A: ホンタイ

次画面 5回押す ↓ ↑ 前画面 5回押す

外部制御入力設定画面

キョウムホウソウ
F: ガイブ セイキョ

決定 ↓ ↑ 取消し

ガイブ セイキョ セッテイ
? No 1

決定 ↓ ↑ 取消し

ブロック放送設定画面

ガイブ セイキョ No 1
a: SP センタク

決定 ↓ ↑ 取消し

No 1 SP センタク
← 03 04 05 06 07

決定 ↓ ↑ 取消し

No 1 ユウセンホウソウ
? OFF

決定

↑、↓ で設定対象のブロック選択スイッチを選択します。

↑、↓ で外部制御入力に対応するスピーカー回線を選択します。
→、← でカーソルを移動して複数の設定をします。
放送階選択スイッチを押すことによっても選択・削除が可能です。

↑、↓ で優先放送ON/OFFを選択します。優先一斉でもON/OFFを選択できます。

●外部制御入力音声入力設定 3-F-b

各外部制御入力に対応する音声入力を設定します。

ブロック放送設定画面

ガイブ セイキョ No 1
a: SP センタク

次画面 ↓ ↑ 前画面

音声入力設定画面

ガイブ セイキョ No 1
b: オンセイニュウリョク

決定 ↓ ↑ 取消し

No 1 オンセイニュウリョク
? ライン 1

決定

↑、↓ で外部制御入力に対応する音声入力を選択します。

【設定範囲】 ナシ
ライン 1~3
オリジナル 1~10

※出荷時、オリジナル1~7に内蔵しているメッセージ音声の内容は、99ページを参照してください。

■緊急放送設定

●緊急放送音声入力設定 4-A

緊急放送設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
緊急放送	緊急放送音声入力	○	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ライン3 <input checked="" type="checkbox"/> アナウンス <input type="checkbox"/> ライン3+アナウンス

緊急放送設定画面

メニュー
4：キンキュウホウソウ

決定

取消し

音声入力設定画面

キンキュウホウソウ
A：オンセイニューリョク

決定

取消し

オンセイニューリョク センタク
?アナウンス

決定

上方向↑、下方向↓で有効にする音声入力を選択します。

【設定項目】 ナシ
ライン3
アナウンス
ライン3+アナウンス

■その他の設定

●発信機手動起動設定 5-A-a

発信機手動起動設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	発信機・手動起動	○	<input checked="" type="checkbox"/> 発報放送 <input type="checkbox"/> 火災放送

その他の設定画面

メニュー
5：ソノタノセッテイ

決定

取消し

音声警報設定画面

ソノタノセッテイ
A：オンセイケイホウ

決定

取消し

発信機手動起動設定画面

オンセイケイホウ
a：ハッシンキシュト`ウキト`ウ

決定

取消し

ハッシンキシュト`ウキト`ウ
?ハッポ`ウ

決定

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。

【設定項目】 ハッポウ
カサイ

書き込みのしかた（本体操作）

●発報連動設定 5-A-b

発報連動設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	発報連動	○	■連動 □停止

その他の設定画面

メニュー
5：ソノタノセッテイ

決定

取消し

音声警報設定画面

ソノタノセッテイ
A：オンセイケイホウ

決定

取消し

オンセイケイホウ
a：ハッシンキシユト ウキト ウ

次画面

前画面

発報連動設定画面

オンセイケイホウ
b：ハッポ ウレント ウ

決定

取消し

ハッポ ウレント ウ
?レント ウ

決定

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定項目】 レンドウ
 テイシ

●感知器連動設定 5-A-c

感知器連動設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	感知器連動	○	■連動 □連動一斉

オンセイケイホウ
a：ハッシンキシユト ウキト ウ

次画面 2回押す

前画面 2回押す

オンセイケイホウ
c：カンチキ レント ウ

決定

取消し

カンチキ レント ウ
?レント ウ

決定

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定項目】 レンドウ
 レンドウイッセイ

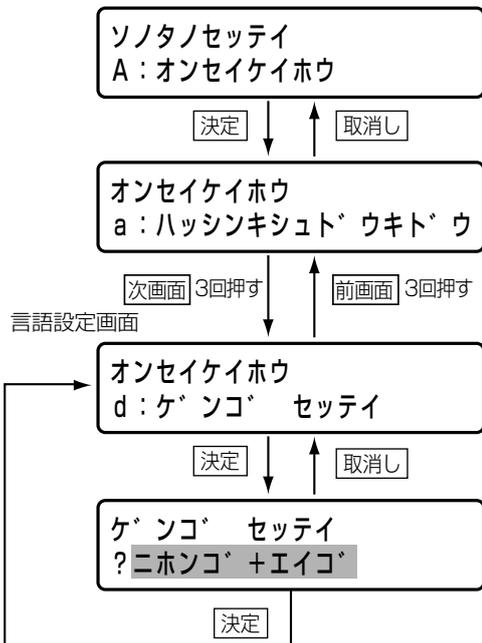
書き込みのしかた
と調整

●言語設定 5-A-d

言語設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	言語	○	<input type="checkbox"/> 日本語 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語+英語 <input type="checkbox"/> 日本語+英語+第2外国語

音声警報設定画面



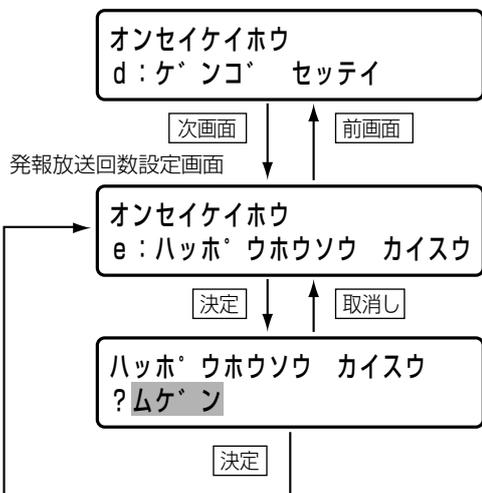
上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。

【設定項目】ニホンゴ
ニホンゴ+エイゴ
ニホンゴ+エイゴ+ダイ2

●発報放送回数設定 5-A-e

発報放送回数設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	発報放送繰り返し回数	○	<input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 5回 <input checked="" type="checkbox"/> 無限回



上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。

【設定項目】2
3
4
5
ムゲン

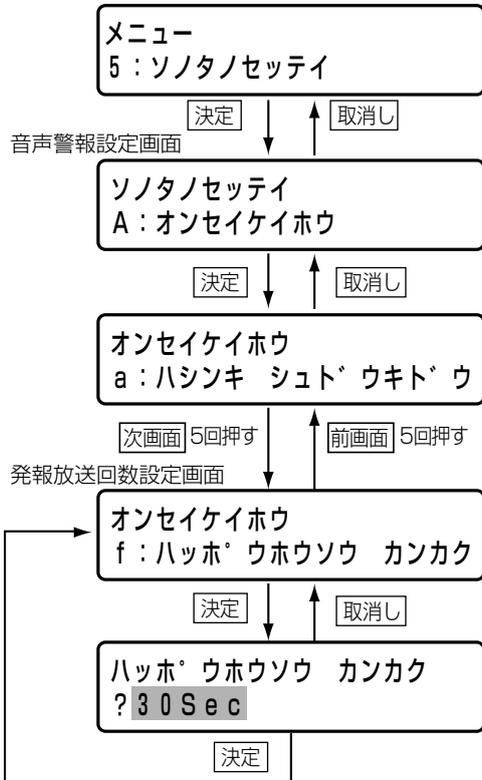
書き込みのしかた（本体操作）

●発報放送間隔設定 [5-A-f]

発報放送間隔設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	発報放送繰り返し タイマー間隔	○	<u>30</u> 秒 (00~60)

その他の設定画面

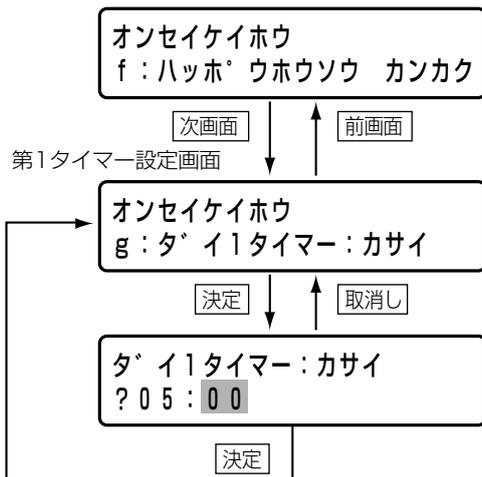


上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定範囲】00~60Sec

●第1タイマー設定 [5-A-g]

第1タイマー設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	火災放送移行タイマー (第1タイマー)	○	<u>5</u> 分 (02~59) <u>00</u> 秒 (00~59)



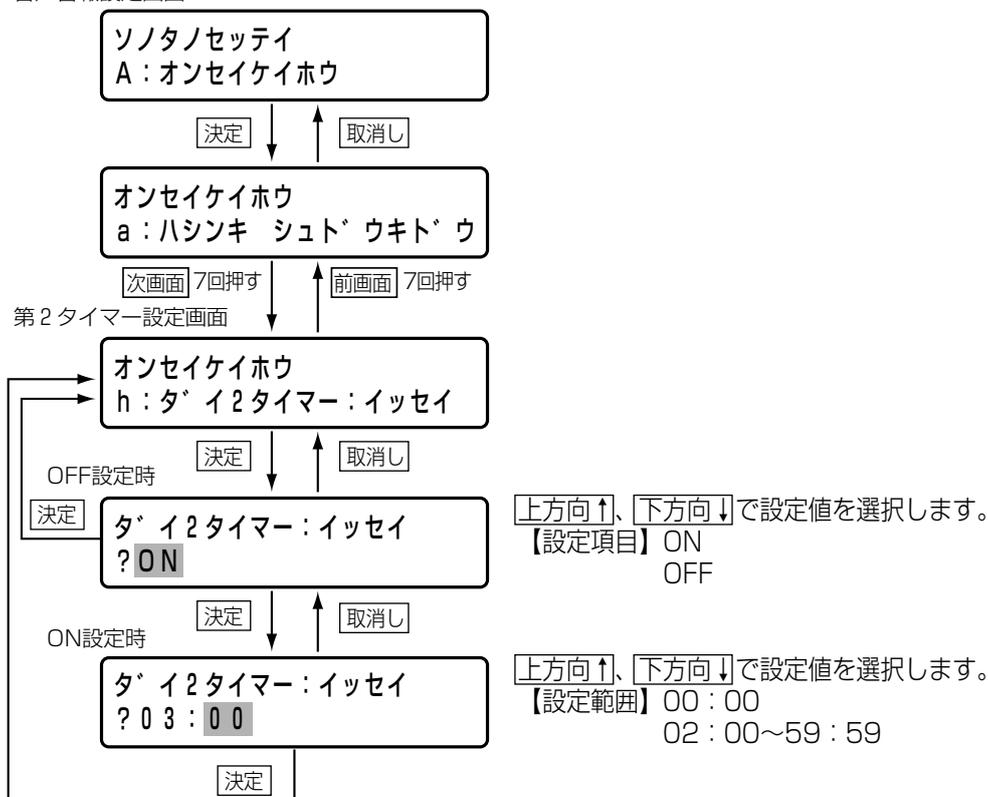
上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定範囲】02：00~59：59

●第2タイマー設定 5-A-h

第2タイマー設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	一斉火災放送指定	○	■あり □なし
	一斉火災放送移行タイマー(第2タイマー)	○	3分 (00, 02~59) 00秒 (00~59)

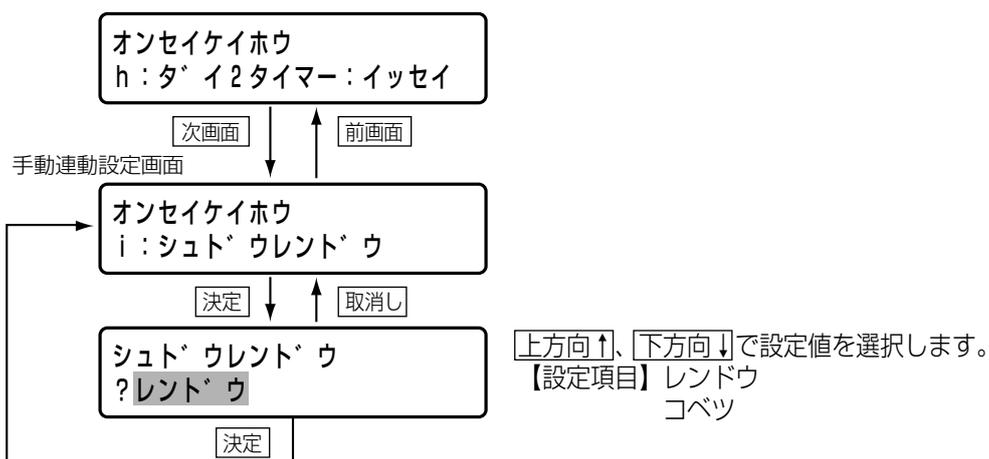
音声警報設定画面



●手動連動設定 5-A-i

手動連動設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
音声警報	手動連動	○	■連動 □個別



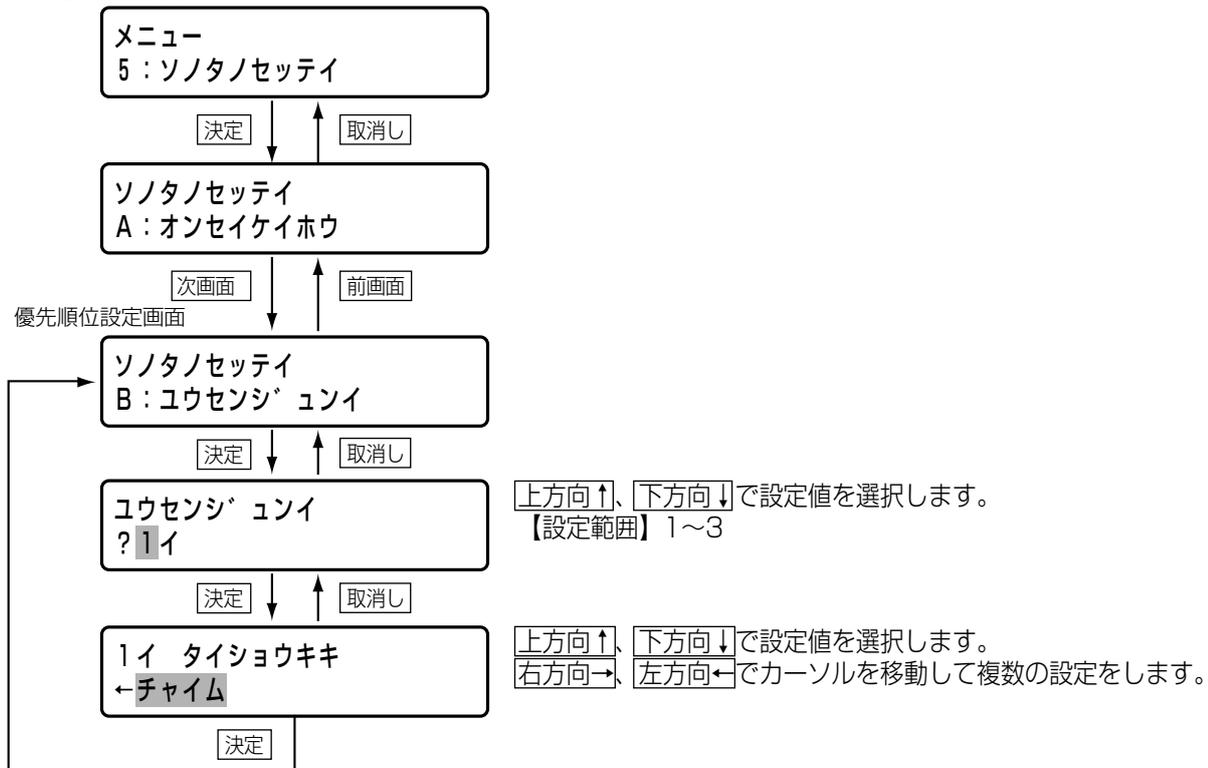
書き込みのしかた（本体操作）

●優先順位設定 5-B

優先順位設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
優先順位	優先順位1	—	※優先順位1のものにチェックしてください <input checked="" type="checkbox"/> 本体 <input type="checkbox"/> 非常RM1 <input type="checkbox"/> 非常RM2 <input type="checkbox"/> 非常RM3 <input type="checkbox"/> 非常RM4 <input type="checkbox"/> マルチRM1 <input type="checkbox"/> マルチRM2 <input type="checkbox"/> マルチRM3 <input type="checkbox"/> マルチRM4 <input type="checkbox"/> 一般RM <input checked="" type="checkbox"/> チャイム <input checked="" type="checkbox"/> アナウンス <input type="checkbox"/> 外部制御1 <input type="checkbox"/> 外部制御2 <input type="checkbox"/> 外部制御3 <input type="checkbox"/> 外部制御4 <input type="checkbox"/> 外部制御5
	優先順位2	—	※優先順位2のものにチェックしてください <input type="checkbox"/> 本体 <input checked="" type="checkbox"/> 非常RM1 <input type="checkbox"/> 非常RM2 <input type="checkbox"/> 非常RM3 <input type="checkbox"/> 非常RM4 <input type="checkbox"/> マルチRM1 <input type="checkbox"/> マルチRM2 <input type="checkbox"/> マルチRM3 <input type="checkbox"/> マルチRM4 <input checked="" type="checkbox"/> 一般RM <input type="checkbox"/> チャイム <input type="checkbox"/> アナウンス <input type="checkbox"/> 外部制御1 <input type="checkbox"/> 外部制御2 <input type="checkbox"/> 外部制御3 <input type="checkbox"/> 外部制御4 <input type="checkbox"/> 外部制御5
	優先順位3	—	※優先順位3のものにチェックしてください <input type="checkbox"/> 本体 <input type="checkbox"/> 非常RM1 <input type="checkbox"/> 非常RM2 <input type="checkbox"/> 非常RM3 <input type="checkbox"/> 非常RM4 <input checked="" type="checkbox"/> マルチRM1 <input checked="" type="checkbox"/> マルチRM2 <input type="checkbox"/> マルチRM3 <input type="checkbox"/> マルチRM4 <input type="checkbox"/> 一般RM <input type="checkbox"/> チャイム <input type="checkbox"/> アナウンス <input checked="" type="checkbox"/> 外部制御1 <input type="checkbox"/> 外部制御2 <input type="checkbox"/> 外部制御3 <input type="checkbox"/> 外部制御4 <input type="checkbox"/> 外部制御5

その他の設定画面



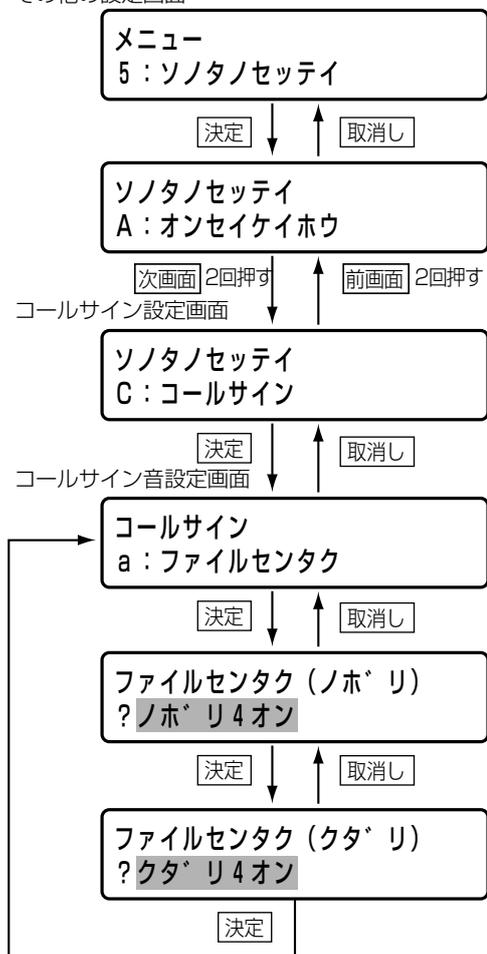
書き込みのしかた
と調整

●コールサイン音設定 5-C-a

コールサイン音設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
コールサイン	コールサイン音上り	○	■上り4音 □下り4音 □オリジナル1 □オリジナル2
	コールサイン音下り	○	□上り4音 ■下り4音 □オリジナル1 □オリジナル2

その他の設定画面



上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。

【設定項目】ノボリ4オン
クダリ4オン
オリジナル1
オリジナル2

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。

【設定項目】ノボリ4オン
クダリ4オン
オリジナル1
オリジナル2

注意：「オリジナル1」または「オリジナル2」を設定したときは、音源データを設定支援ソフトで作成し、本機に書き込む必要があります。書き込みのしかたは、93ページを参照してください。

書き込みのしかた
と調整

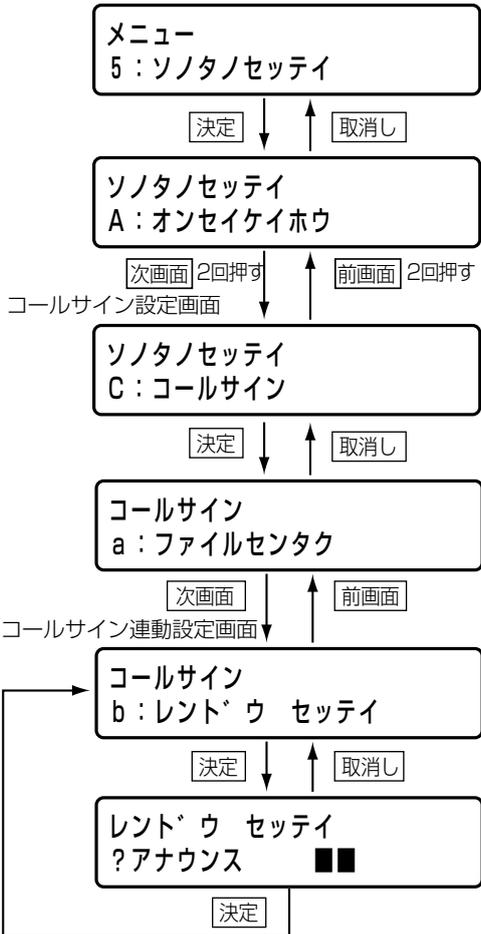
書き込みのしかた（本体操作）

●コールサイン連動設定 5-C-b

コールサイン連動設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
コールサイン	コールサイン連動	—	※連動させるものにチェックしてください <input type="checkbox"/> チャイム <input checked="" type="checkbox"/> アナウンス <input type="checkbox"/> 外部制御1 <input type="checkbox"/> 外部制御2 <input type="checkbox"/> 外部制御3 <input type="checkbox"/> 外部制御4 <input type="checkbox"/> 外部制御5

その他の設定画面



上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
 右方向→、左方向←でカーソルを移動して複数の設定をします。
 【設定項目】 チャイム
 アナウンス
 ガイブセイギョ1~5

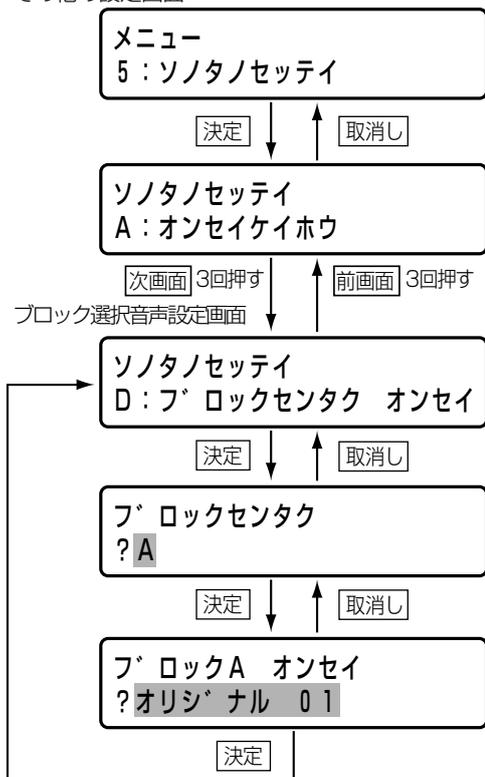
書き込みのしかた
と調整

●ブロック選択音声設定 [5-D]

ブロック選択音声設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
ブロック選択 音声	ブロック選択スイッチA	○	□なし ■オリジナル →No.1
	ブロック選択スイッチB	○	□なし ■オリジナル →No.2
	ブロック選択スイッチC	○	■なし □オリジナル →No.
	ブロック選択スイッチD	○	■なし □オリジナル →No.
	ブロック選択スイッチE	○	■なし □オリジナル →No.

その他の設定画面



上方向↑、下方向↓で設定を選択します。
ブロック選択スイッチで選択することも可能です。
【設定範囲】 A～E

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定範囲】 ナシ
オリジナル1～10

※出荷時、オリジナル1～7に内蔵しているメッセージ
音声の内容は、99ページを参照してください。

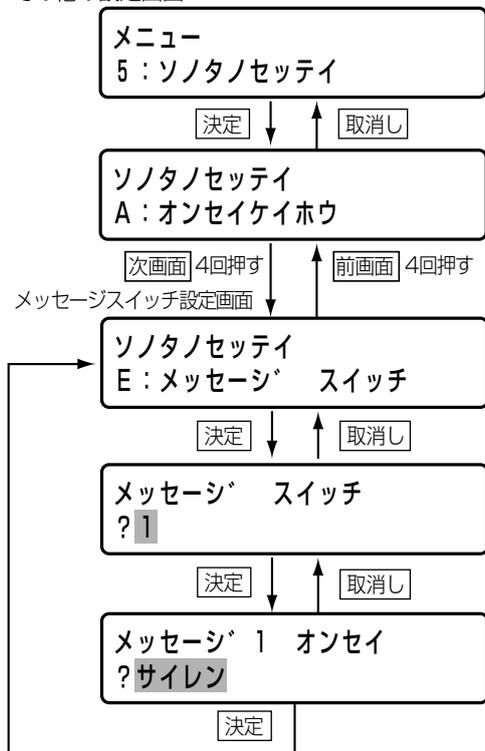
書き込みのしかた（本体操作）

●メッセージスイッチ設定 [5-E]

メッセージスイッチ設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
メッセージ スイッチ	メッセージスイッチ1	○	■サイレン □オリジナル →No.
	メッセージスイッチ2	○	■なし □オリジナル →No.

その他の設定画面



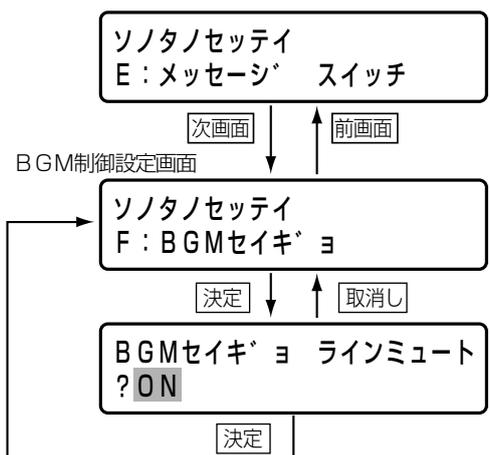
上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
ブロック選択スイッチで選択することも可能です。
【設定範囲】 1~2

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定範囲】メッセージ1：サイレン、オリジナル1~10
メッセージ2：なし、オリジナル1~10
※出荷時、オリジナル1~7にメッセージ音声を内蔵しています。
音声の内容は、99ページを参照してください。

●BGM制御設定 [5-F]

BGM制御設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
BGM制御	BGM制御ライン1, 2ミュート	○	■ON □OFF



上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定項目】 ON
OFF

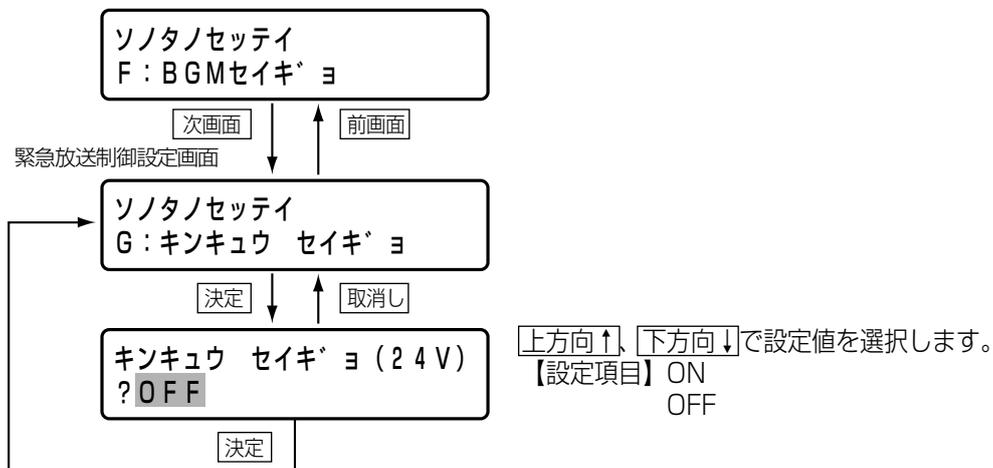
●緊急放送制御設定 5-G

緊急放送制御設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

ON : カットします。

OFF : 継続します。

	設定項目	択一	設定
緊急放送制御	緊急外部制御出力	○	<input type="checkbox"/> ON <input checked="" type="checkbox"/> OFF



書き込みのしかた（本体操作）

●外部制御出力設定 5-H

外部制御出力設定は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
外部制御	外部制御出力1		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 音声警報 <input type="checkbox"/> 発報放送 <input type="checkbox"/> 火災放送 <input type="checkbox"/> 一斉火災放送 <input type="checkbox"/> 非火災放送 <input type="checkbox"/> マイク放送 <input type="checkbox"/> 異常発生* <input type="checkbox"/> 業務放送 <input type="checkbox"/> 緊急放送 <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> ブロックA <input type="checkbox"/> ブロックB <input type="checkbox"/> ブロックC <input type="checkbox"/> ブロックD <input checked="" type="checkbox"/> ブロックE
	外部制御出力2		<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 音声警報 <input type="checkbox"/> 発報放送 <input type="checkbox"/> 火災放送 <input type="checkbox"/> 一斉火災放送 <input type="checkbox"/> 非火災放送 <input type="checkbox"/> マイク放送 <input type="checkbox"/> 異常発生* <input type="checkbox"/> 業務放送 <input type="checkbox"/> 緊急放送 <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> ブロックA <input type="checkbox"/> ブロックB <input type="checkbox"/> ブロックC <input type="checkbox"/> ブロックD <input type="checkbox"/> ブロックE
	外部制御出力3		<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 音声警報 <input type="checkbox"/> 発報放送 <input type="checkbox"/> 火災放送 <input type="checkbox"/> 一斉火災放送 <input type="checkbox"/> 非火災放送 <input type="checkbox"/> マイク放送 <input type="checkbox"/> 異常発生* <input type="checkbox"/> 業務放送 <input type="checkbox"/> 緊急放送 <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> ブロックA <input type="checkbox"/> ブロックB <input type="checkbox"/> ブロックC <input type="checkbox"/> ブロックD <input type="checkbox"/> ブロックE
	外部制御出力4		<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 音声警報 <input type="checkbox"/> 発報放送 <input type="checkbox"/> 火災放送 <input type="checkbox"/> 一斉火災放送 <input type="checkbox"/> 非火災放送 <input type="checkbox"/> マイク放送 <input type="checkbox"/> 異常発生* <input type="checkbox"/> 業務放送 <input type="checkbox"/> 緊急放送 <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> ブロックA <input type="checkbox"/> ブロックB <input type="checkbox"/> ブロックC <input type="checkbox"/> ブロックD <input type="checkbox"/> ブロックE
	外部制御出力5		<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 音声警報 <input type="checkbox"/> 発報放送 <input type="checkbox"/> 火災放送 <input type="checkbox"/> 一斉火災放送 <input type="checkbox"/> 非火災放送 <input type="checkbox"/> マイク放送 <input type="checkbox"/> 異常発生* <input type="checkbox"/> 業務放送 <input type="checkbox"/> 緊急放送 <input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> ブロックA <input type="checkbox"/> ブロックB <input type="checkbox"/> ブロックC <input type="checkbox"/> ブロックD <input type="checkbox"/> ブロックE

※「異常発生」の出力は、下記の異常のうちどれか1つでも検出されると出力されます。

- ・蓄電池異常、通信異常、スピーカー回線短絡、本体マイク異常、電力増幅ユニット異常、非常外部制御異常

注意

「異常発生」の出力を、特定の異常が発生した場合だけに出力させることはできません。

発生した異常の内容については、「**■自動点検について**」（116ページ）を参照し、本機の液晶画面で確認してください。

なお、「異常発生」の出力は、すべての異常を解消すると止まります。

その他の設定画面

メニュー
5：ソノタノセッテイ

決定 ↓ ↑ 取消し

ソノタノセッテイ
A：オンセイケイホウ

次画面 7回押す ↑ 前画面 7回押す

外部制御出力設定画面

ソノタノセッテイ
H：カ イブ セイキ ヨ

決定 ↓ ↑ 取消し

シュツリョク No セッテイ
? 1

決定 ↓ ↑ 取消し

No 1 カ イブ シュツリョク
? ブ ロック E

決定

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定範囲】 1～5

上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
【設定項目】 ナシ/オンセイケイホウ/ハッポウホウソウ/
カサイホウソウ/イッセイカサイホウソウ/
ヒカサイホウソウ/マイクホウソウ/
イジョウハッセイ/ギョウムホウソウ/
キンキュウホウソウ/テンケンチュウ/ブロックA～E

●パスワード変更 5-1

パスワード変更は、作成した58ページの「1.基本設定表（1/2）」をもとに設定します。

	設定項目	択一	設定
パスワード	パスワード		※出荷時設定は「0000」です。 パスワード（数字4ケタ）

その他の設定画面

メニュー
5：ソノタノセッテイ

決定 ↓ ↑ 取消し

ソノタノセッテイ
A：オンセイケイホウ

次画面 8回押す
または
前画面 ↑ 前画面
または
次画面 ↓

パスワード変更画面

ソノタノセッテイ
1：パ スワード ヘンコウ

決定 ↓ ↑ 取消し

パ スワード ヘンコウ
? 1 2 3 4

決定

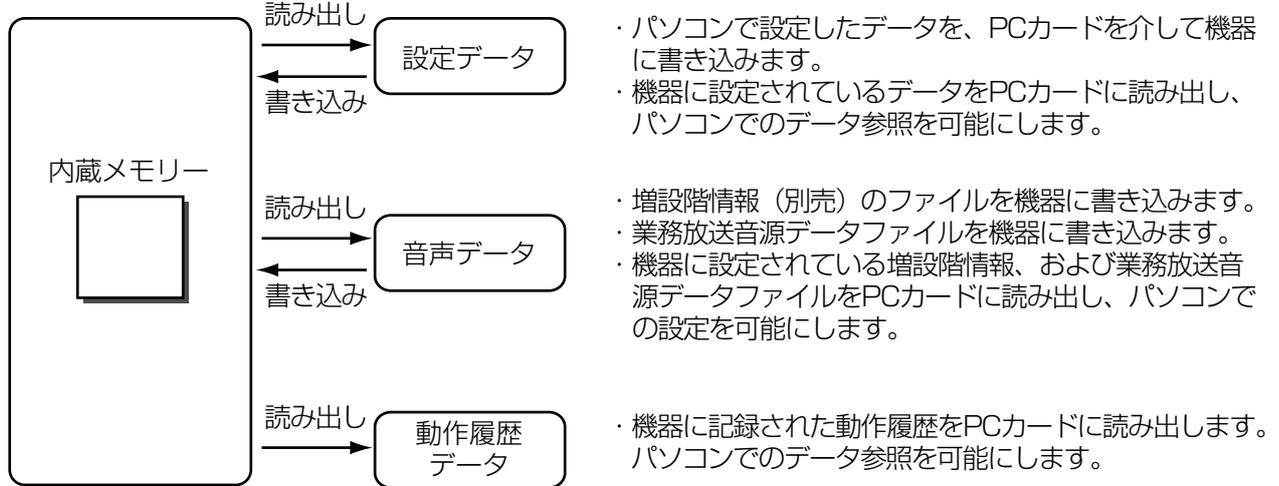
上方向↑、下方向↓で設定値を選択します。
右方向→、左方向←でカーソルを移動します。
【設定範囲】 0000～9999

書き込みのしかた (PCカード)

■PCカード設定

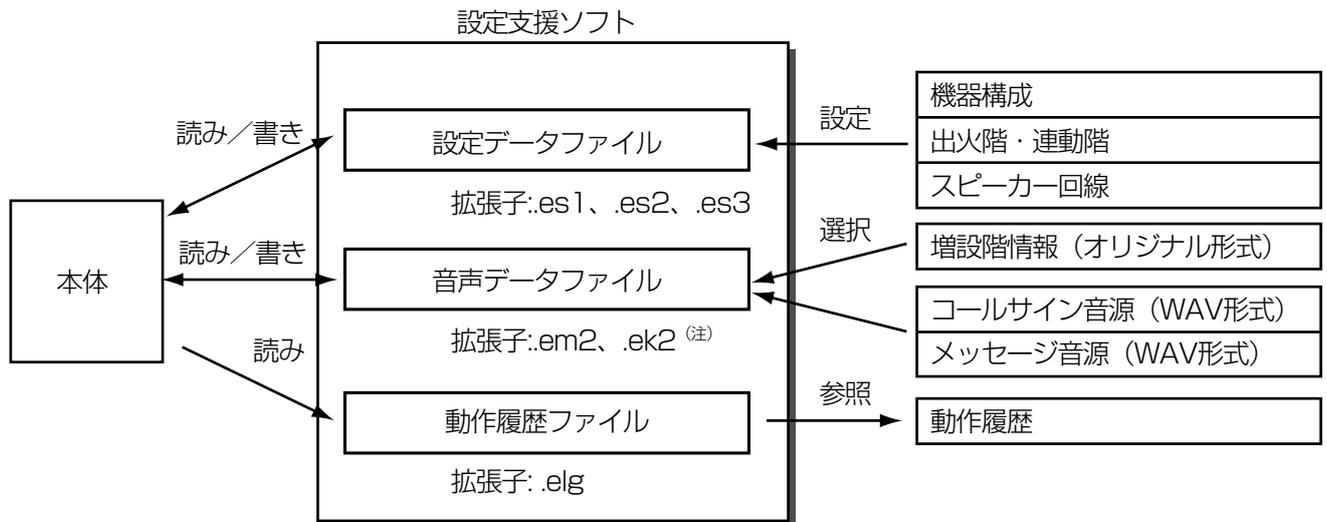
PCカード設定では、次の項目の設定および操作を行います。

WK-EK100シリーズ



●パソコンを利用したデータの設定について

パソコンを利用して、各種設定を簡単に行うための「設定支援ソフト」を提供*しています。設定支援ソフトを利用すると主に下記の設定をパソコンによって行うことができます。パソコンで設定したデータは、ファイルとしてPCカードを介して本機に書き込むことができます。また、本機に既に設定してあるデータについてもPCカードへ読み出し、パソコンを利用して設定内容の確認、動作履歴を確認することができます。



(注) 2006年5月生産（製造番号：FE0001）以降の製品から、業務放送音源データの拡張子をek1からek2に変更しています。

そのため、ek1の拡張子で作成された2006年4月までの製品の業務放送音源データは、使用できません。

（製造番号がDA～FDで始まる製品）バージョンVer 1.1以降の「設定支援ソフト」で作り直してください。

※ 設定支援ソフトは、無償で提供しています。販売会社へご相談ください。

書き込みのしかたと調整

●ファイルの拡張子について

PCカード設定では、下記の6つのファイル形式を扱います。

- 1) 設定データ
 - WK-EK110用： x x x . es1
 - WK-EK115用： x x x . es2
 - WK-EK120用： x x x . es3
- 2) 音声データ
 - 増設階情報音声データ： x x x . em2
 - 業務放送音源データ： x x x . ek2
- 3) 動作履歴
 - 動作ログデータ： x x x . elg

注意

PCカードのドライブ直下に置くファイル数（ディレクトリ含む）は、35以下にしてください。36以上の場合、ファイルが認識できないことがあります。その場合は新規にディレクトリを作成し、使用しないファイルをその中に移動してください。

●PCカードの対応について

本機は、「PC Card Standard」に準拠したType IIのPCカードをサポートしています。PCカードアダプター（市販品）にコンパクトフラッシュ*1を取り付けたメモリーカードまたはPCカードアダプターにSD*2メモリーカードを取り付けたメモリーカードに対応します。

※1：CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米国San Disk社の商標です。

※2：SDIはSDアソシエーションの商標です。

書き込みのしかた (PCカード)

●PCカードの使いかた

①PCカードの挿入

図のようにPCカードスロットに挿入します。上下を間違えずに挿入してください。

本機が通電状態のときでもPCカードは挿入できます。

PCカードを挿入すると、一瞬アクセスランプが点灯してカードが認識され、使用できる状態になります。点灯しない場合は、カードが使用できない状態の可能性があります。

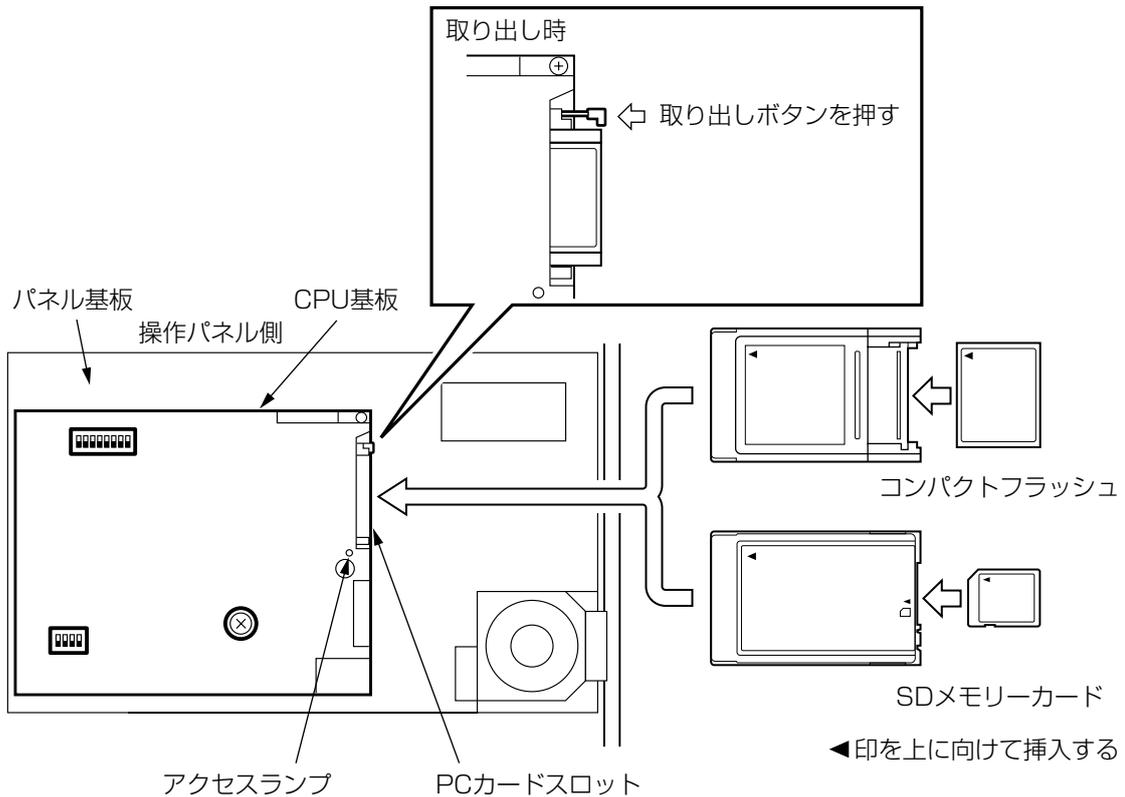
②データの書き込み／読み込み

データの書き込み／読み込み中は、アクセスランプが点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にPCカードやメモリーカードを取り出さないでください。データが破壊される恐れがあります。

③PCカードの取り出し

アクセスランプが消灯し、PCカードにアクセス中でないことを確認します。

カード横の取り出しボタンを押し、PCカードを取り出します。



書き込みのしかた
と調整

●設定データ書き込み

PCカード設定画面

メニュー
7: PCカード

注意: PCカード
カクニン デ キマセン

この画面が表示された場合は、次の可能性があります。PCカードを確認してください。

- ・ PCカードが挿入されていない。
- ・ PCカードが本機対応品でない。

設定データ書込画面

PCカード
A: セッテイデータ カキコミ

決定 ↑ 取消し ↓

決定 ↑ 取消し ↓

ファイル センタク
? TYPE1

上方向↑、下方向↓で本機に書き込み設定するファイルを選択します。

注意: ファイル名は15文字までの表示となります。16文字以降は表示されません。また、表示できない文字が含まれる場合は、「***」表示となります。ファイル名がすべて英小文字で8文字以内の場合は、表示はすべて英大文字になります。

決定 ↑ 取消し ↓

「イイエ」

カキコミ カイシシマス!
? イイエ

上方向↑、下方向↓でハイ/イイエを選択し、書き込みを行うかどうかを決定します。

注意: ここで「ハイ」を選択すると、システムはデータ書き込み後、自動的に再起動されますのでご注意ください。

決定

「ハイ」決定 ↓

データ カキコミチュウ
**

書き込み中は、「**」表示により、機器のメモリーに書き込み中であることを数秒間表示します。

システム再起動

●設定データ読み出し

設定データ書込画面

PCカード
A: セッテイデータ カキコミ

次画面 ↓ 前画面 ↑

設定データ読出画面

PCカード
B: セッテイデータ ヨミタシ

決定 ↓ 取消し ↑

ファイルメイ ニュウリョク
? FILE

PCカードへ読み出すデータに、ファイル名をつけます。左方向←、右方向→で設定したい文字の場所へ移動します。上方向↑、下方向↓で英数字を選択します。(ブランク、0~9、A~Zの順に変わります。)(ファイル名は15文字までです。)

決定 ↓ 取消し ↑

「イイエ」

ヨミタシ カイシシマス!
? イイエ

上方向↑、下方向↓でハイ/イイエを選択し、読み出しを行うかどうかを決定します。

決定

「ハイ」決定 ↓

データ ヨミタシチュウ
**

読み出し中は、「**」表示により、PCカードにデータを読み出し中であることを約1秒間表示します。

処理終了後、設定データ読出画面に戻ります。

処理終了

書き込みのしかた (PCカード)

●音声データ書き込み

本機への音声データの書き込みは、増設階情報、業務放送音源データの2種類から選択します。

(1) 増設階情報

PCカード設定画面

メニュー
7: PCカード

決定

取消し

PCカード
A: セットデータ カキコミ

次画面 2回押す

前画面 2回押す

音声データ書込画面

PCカード
C: オンセットデータ カキコミ

決定

取消し

増設階情報書込画面

オンセットデータ カキコミ
a: ゾウセツ カイシ ヨウホウ

決定

取消し

ファイル センタク
? extension

決定

取消し

「イイエ」

決定

カキコミ カイシマス!
? イイエ

「ハイ」

決定

データ カキコミチュウ
**

処理終了

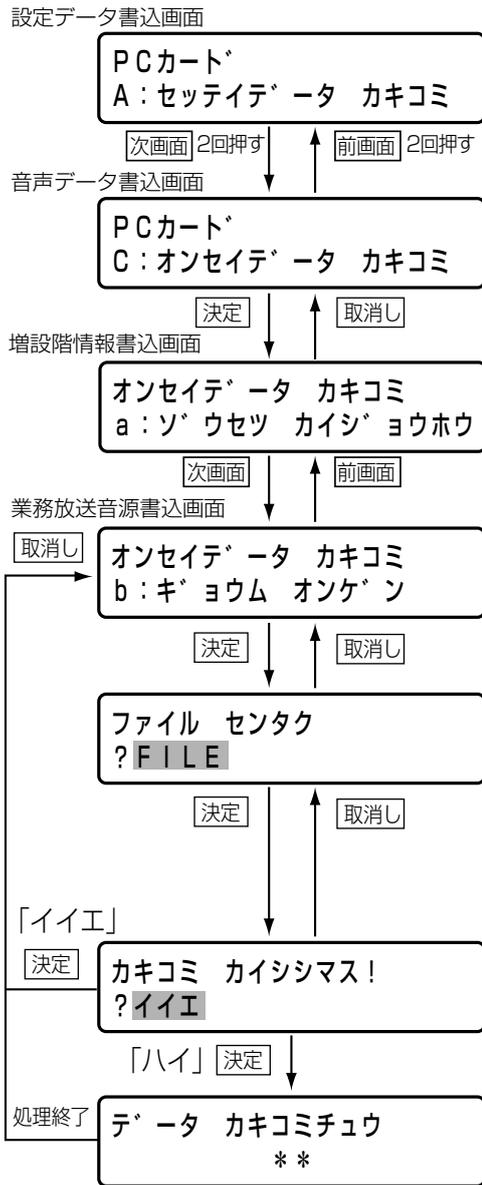
決定を押して、増設階情報の音声データ書き込みを選択します。
次画面を押すと業務放送音源書込画面になります。

上方向↑、下方向↓で本機に書き込み設定する階情報音声データのファイル名を選択します。
注文いただいた階情報音声データのファイルは「extension」と表示されます。

上方向↑、下方向↓でハイ/イイエを選択し、書き込みを行うかどうかを決定します。

書き込み中は、「**」表示により、本体のメモリーに書き込み中であることを表示します。
処理終了後、増設階情報書込画面に戻ります。

(2) 業務放送音源データ



決定を押して、業務放送音源の音声データ書き込みを選択します。
前画面を押すと増設階情報書込画面に移行できます。

上方向↑、下方向↓で本機に書き込み設定するファイルを選択します。

注意：ファイル名が表示されない場合は、業務放送音源データの拡張子が違いますので、使用できません。
[2006年5月生産（製造番号：FE0001）の製品から拡張子をek2に変更しています。]
このときは、バージョンVer 1.1以降の「設定支援ソフト」で業務放送音源データを作り直してください。

書き込み中は、「**」表示により、本機のメモリーに書き込み中であることを表示します。
処理終了後、業務放送音源書込画面に戻ります。

メモ

業務放送音源データの書き込みを行うと、本体に書き込まれていた音源データは、自動的にPCカードにバックアップされます。

バックアップされたデータのファイル名は、書き込みを行ったファイル名の頭に“@”が付与された名称になります。

書き込みを行うファイル名：FILE



バックアップされたファイル名：@FILE

バックアップされたデータファイルは、音源を元に戻すときにご使用ください。

書き込みのしかた (PCカード)

●音声データ読み出し

PCカード設定画面

メニュー
7: PCカード

決定 ↓ ↑ 取消し

PCカード
A: セッテイデータ カキコミ

次画面 3回押す ↑ 前画面 3回押す

音声データ読出画面

PCカード
D: オンセイデータ ヨミタシ

決定 ↓ ↑ 取消し

オンセイデータ ヨミタシ
a: キョウム オンゲン

決定 ↓ ↑ 取消し

ファイル名 ニュウリョク
? F I L E

決定 ↓ ↑ 取消し

「イイエ」

決定 ↓ ↑ 取消し
ヨミタシ カイシマス!
? イイエ

「ハイ」 決定 ↓

処理終了

データ ヨミタシチュウ
* *

PCカードへ読み出すデータに、ファイル名をつけます。左方向←、右方向→で設定したい文字の場所へ移動します。上方向↑、下方向↓で英数字を選択します。(ブランク、0~9、A~Zの順に変わります。)

決定を押してファイル名を確定します。

(ファイル名は半角英数字で15文字までです。)

上方向↑、下方向↓でハイ/イイエを選択し、読み出しを行うかどうかを決定します。

読み出し中は、「**」表示により、PCカードにデータを読み出し中であることを表示します。

処理終了後、音声データ読出画面に戻ります。

●音声データの扱いについて

音声データは、コールサインやメッセージ音源を一つのファイルにして管理します。メッセージの追加や修正がある場合には、最初に本機から音声データをPCカードへ読み出し、設定支援ソフトにより音源の追加および修正を実施後、本機へ音声データの書き込みにしたがって書き込みします。本機にすでにある音声データに対して、追加データのみを、書き込みして追加することはできません。

●動作履歴読み出し

設定データ書込画面

PCカード
A:セッテイデータ カキコミ

次画面 4回押す 前画面 4回押す

動作履歴読出画面

PCカード
E:トウサリレキ ヨミタシ

決定 取消し

ニチジ セッテイ
? 0 4 / 0 6 / 0 8 1 2 : 3 2

決定 取消し

ファイルメイ ニュウリョク
? F I L E

決定 取消し

「イイエ」

決定

ヨミタシ カイシマス!
? イ イ エ

「ハイ」 決定

処理終了

データ ヨミタシチュウ
* *

PCカードへ読み出すときに、現在の年月日と時間を設定します。
左方向←、右方向→で設定したい文字の場所へ移動し、上方向↑、下方向↓で数字を選択します。
決定を押して日時を確定します。

注意: 日時の設定は、動作履歴の時刻情報を現在の日時に合わせるために必要です。

PCカードへ読み出すデータに、ファイル名をつけます。左方向←、右方向→で設定したい文字の場所へ移動します。上方向↑、下方向↓で英数字を選択します。(ブランク、0~9、A~Zの順に変わります。)
決定を押してファイル名を確定します。
(ファイル名は半角英数字で15文字までです。)

上方向↑、下方向↓でハイ/イイエを選択し、読み出しを行うかどうかを決定します。

読み出し中は、「**」表示により、PCカードにデータを読み出し中であることを約1秒間表示します。
処理終了後、動作履歴読出画面に戻ります。

●日時設定の考え方

本機は動作履歴用に時計を内蔵していますが、補正はされないため、時間にずれが生じます。そのため、動作履歴を読み出す際には、時刻補正のために現在の日時の設定が必要となります。

動作履歴について

■動作履歴の確認

本機は、放送起動や障害発生の動作履歴を保存しています。動作履歴はメニュー操作で確認することができます。

動作履歴は保存できる上限数が決まっています。上限数は約8 000件で、これを超えた分は古い履歴から自動的に消去されます。

動作履歴は、PCカード経由で設定支援ソフトにより確認することも可能です。PCカードへの読み出しのしかたは、95ページを参照してください。設定支援ソフトでの確認のしかたは、設定支援ソフトの取扱説明書を参照してください。

動作履歴画面

メニュー
6 : トウサリレキ

決定 ↓ ↑ 取消し

日時 セット
? 0 4 / 0 6 / 0 8 1 2 : 3 2

決定 ↓ ↑ 取消し

動作履歴確認画面

トウサリレキ * * * * * : * *
a : リレキカクニン

決定 ↓ ↑ 取消し

0 4 / 0 6 / 0 8 1 2 : 0 2
システム キトウ

現在の年月日と時間を設定します。[左方向←]、[右方向→]で設定したい文字の場所へ移動し[上方向↑]、[下方向↓]で数字を選択します。[決定]を押して日時を確定します。

注意：日時の設定は、内部の時間と現在の日時を合わせるために必要です。

次画面で動作履歴初期化画面を選択します。画面右上の数字「* * * * * : * *」は、電源投入時または設定変更時からの経過時間を示しています。(単位 時 : 分)

[上方向↑]、[下方向↓]で履歴内容がスクロールします。

■動作履歴の初期化

本機に蓄積している動作履歴を初期化(消去)することができます。初期化すると、それ以前の動作履歴内容を確認することはできません。

動作履歴確認画面

トウサリレキ * * * * * : * *
a : リレキカクニン

次画面 ↓ ↑ 前画面

動作履歴初期化画面

トウサリレキ * * * * * : * *
b : ショキカ

決定 ↓ ↑ 取消し

リレキ ショキカ カイシシマス!
? ハイ

[「イイエ」決定] ↓ ↑ [「ハイ」決定]

トウサリレキ ショキカチュウ
* *

[上方向↑]、[下方向↓]で「ハイ」を選択して[決定]を押すと、初期化を開始します。「イイエ」を選択して[決定]を押すと、動作履歴初期化画面に戻ります。

動作履歴の初期化を完了すると、動作履歴画面に戻ります。

工場出荷設定

■初期値一覧表

工場出荷時、および設定データ初期化後のシステム設定データは、次のとおりです。

各設定項目についての説明、設定値の選択範囲は、52～54ページの設定項目一覧を参照してください。

※放送階や階情報などの10局／15局／20局の機種に依存する値については、基本的に20局の場合で記載しています。

分類	画面番号	画面名	初期値	備考
機器構成設定	—	本体局数	10局の場合 : 10 15局の場合 : 15 20局の場合 : 20	入力不要です。
	1-A	非常リモコン設定	0台	非常リモコンの台数
	1-B	マルチリモコン設定	0台	マルチリモコンの台数
	—	パワーアンプW数	—	入力不要です。
非常放送設定	2-A	階情報設定	放送階と同一番号の階情報を設定 放送階01 : 1階 放送階02 : 2階 ⋮ 放送階20 : 20階	音声警報の階情報
	2-B	出火連動階設定	出火階と同一番号の放送階を1対1の関係で設定 EL01 : 放送階01 EL02 : 放送階02 ⋮ EL20 : 放送階20	出火階
			出火階の1つ上の放送階	連動階
業務放送設定	3-A-a	本体 スピーカー回線設定	放送階選択スイッチ SW01 : スピーカー01 SW02 : スピーカー02 ⋮ SW20 : スピーカー20	対応するスピーカー回線
			ブロック選択スイッチ A : スピーカー01 B : スピーカー02 C : スピーカー03 D : スピーカー04 E : スピーカー05	対応するスピーカー回線
			優先放送設定はすべてOFF	優先放送設定
	3-A-c	本体 一斉放送設定	一斉 : スピーカー01～20のすべてを割り当て	一斉放送に対応するスピーカー回線
	3-B-a	マルチリモコン ブロック放送設定	マルチリモコン1～4はすべて同一 SW01 : スピーカー01 SW02 : スピーカー02 ⋮ SW20 : スピーカー20	対応するスピーカー回線
			優先放送設定はすべてOFF	優先放送設定
	3-B-b	マルチリモコン 一斉放送設定	一斉 : スピーカー01～20のすべてを割り当て	一斉放送に対応するスピーカー回線
			優先放送設定はすべてOFF	優先放送設定

書き込みのしかたと調整

工場出荷設定

分類	画面番号	画面名	初期値	備考
業務放送設定	3-C-a	一般リモコン ブロック放送設定	ブロック選択スイッチ SW01 : スピーカー01 SW02 : スピーカー02 : : SW10 : スピーカー10	対応するスピーカー回線
			優先放送設定はすべてOFF	優先放送設定
	3-C-b	一般リモコン 一斉放送設定	一斉：スピーカー01～20のすべてを割り当て	一斉放送に対応するスピーカー回線
			優先放送設定はすべてOFF	優先放送設定
	3-D-a	チャイム ブロック放送設定	チャイム：スピーカー01～20のすべてを割り当て	対応するスピーカー回線
			優先放送設定はOFF	優先放送設定
	3-E-a	アナウンス ブロック放送設定	アナウンス：スピーカー01～20のすべてを割り当て	対応するスピーカー回線
			優先放送設定はOFF	優先放送設定
	3-F-a	外部制御入力 ブロック放送設定	外部制御入力 01 : スピーカー01 02 : スピーカー02 : : 05 : スピーカー05	対応するスピーカー回線
			優先放送設定はすべてOFF	優先放送設定
3-F-b	外部制御入力 音声入力設定	すべての外部制御入力に音声入力は設定されない	音声入力	
緊急放送設定	4-A	緊急放送 音声入力設定	「なし」に設定	緊急放送時の音声入力
その他の設定	5-A-a	音声警報 発信機手動起動設定	発報放送	—
	5-A-b	音声警報 発報連動設定	連動	—
	5-A-c	音声警報 感知器連動設定	連動	—
	5-A-d	音声警報 言語設定	日本語	—
	5-A-e	音声警報 発報放送回数設定	2回	—
	5-A-f	音声警報 発報放送間隔設定	00秒	—
	5-A-g	音声警報 第1タイマー設定	5分00秒	—
	5-A-h	音声警報 第2タイマー設定	あり	一斉火災放送指定
			5分00秒	—
5-A-i	音声警報 手動連動設定	連動	—	

書き込みのしかたと調整

分類	画面番号	画面名	初期値	備考
その他の設定	5-B	優先順位 優先順位設定	すべて2に設定	—
	5-C-a	コールサイン コールサイン音設定	コールサイン上り : 上り4音 コールサイン下り : 下り4音	—
	5-C-b	コールサイン コールサイン連動設定	チャイム : なし アナウンス : なし 外部制御入力1~5 : なし	—
	5-D	ブロック選択音声設定	A~E すべてなし	—
	5-E	メッセージスイッチ設定	1 : サイレン 2 : オリジナル1	—
	5-F	BGM制御設定	ON	—
	5-G	緊急放送制御設定	OFF	—
	5-H	外部制御出力設定	1~5 すべてなし	—
	5-I	パスワード設定	0000	—

■内蔵メッセージ音声の内容

メッセージ音声の内蔵は、2006年5月生産（製造番号：FE0001）以降の製品が対象

名称	内容	メッセージ本文
オリジナル1	省エネ励行	「皆様をお願いいたします。使用しない場所の電気は消灯し、省エネ運動にご協力ください。」
オリジナル2	緊急事態	「ただいま、緊急事態が発生しました。先生の指示に従って、落ち着いて避難してください。」
オリジナル3	地震発生	「ただいま、地震が発生いたしました。 倒れやすいものや落下の危険があるものを避け、先生の指示に従ってください。」
オリジナル4	社内訓練火災	「訓練火災発生。訓練火災発生。ただいま、会社内で訓練火災が発生しました。社内本部要員、社内防災隊員は直ちに任務についてください。」
オリジナル5	校内訓練火災	「訓練火災発生。訓練火災発生。ただいま、校内で訓練火災が発生しました。先生の指示に従って落ち着いて避難してください。」
オリジナル6	閉館10分前	「ご来館の皆様にお知らせ致します。本日の登録や貸し出しの手続きは終了いたしました。 図書館はあと10分で閉館致しますので、お忘れ物のごさいませんよう、お帰りの準備をお願いいたします。」
オリジナル7	閉館+蛍の光	「まもなく閉館いたします。」(蛍の光4小節)

※オリジナル8~10は内蔵していません。

設定表

1.基本設定表 (1/2)

件名：

記入日： 20 / /

記入者：

	設定項目	択	設 定	画面番号	参照ページ
機器構成	本体局数	○	※入力不要です。 □10局 □15局 □20局	—	—
	非常リモコン台数	○	□なし □1台 □2台 □3台 □4台	1-A	62
	マルチリモコン台数	○	□なし □1台 □2台 □3台 □4台	1-B	62
	パワーアンプW数	○	※入力不要です。設定支援ソフトで入力してください。 □60W □120W □240W □360W	—	—
	緊急放送	○	□なし □ライン3 □アナウンス □ライン3+アナウンス	4-A	75
音声警報	発信機・手動起動	○	□発報放送 □火災放送	5-A-a	75
	発報連動	○	□連動 □停止	5-A-b	76
	感知器連動	○	□連動 □連動一斉	5-A-c	76
	言語	○	□日本語 □日本語+英語 □日本語+英語+第2外国語	5-A-d	77
	発報放送繰り返し回数	○	□2回 □3回 □4回 □5回 □無限回	5-A-e	77
	発報放送繰り返しタイマー間隔	○	_____ 秒 (00~60)	5-A-f	78
	火災放送移行タイマー (第1タイマー)	○	_____ 分 (02~59) _____ 秒 (00~59)	5-A-g	78
	一斉火災放送指定	○	□あり □なし	5-A-h	79
	一斉火災放送移行タイマー (第2タイマー)	○	_____ 分 (00, 02~59) _____ 秒 (00~59)		
	手動連動	○	□連動 □個別	5-A-i	79
優先順位	優先順位1	—	※優先順位1のものにチェックしてください □本体 □非常RM1 □非常RM2 □非常RM3 □非常RM4 □マルチRM1 □マルチRM2 □マルチRM3 □マルチRM4 □一般RM □チャイム □アナウンス □外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-B	80
	優先順位2	—	※優先順位2のものにチェックしてください □本体 □非常RM1 □非常RM2 □非常RM3 □非常RM4 □マルチRM1 □マルチRM2 □マルチRM3 □マルチRM4 □一般RM □チャイム □アナウンス □外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-B	80
	優先順位3	—	※優先順位3のものにチェックしてください □本体 □非常RM1 □非常RM2 □非常RM3 □非常RM4 □マルチRM1 □マルチRM2 □マルチRM3 □マルチRM4 □一般RM □チャイム □アナウンス □外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-B	80
コールサイン	コールサイン音上り	○	□上り4音 □下り4音 □オリジナル1 □オリジナル2	5-C-a	81
	コールサイン音下り	○	□上り4音 □下り4音 □オリジナル1 □オリジナル2	5-C-a	81
	コールサイン連動	—	□チャイム □アナウンス ※連動させるものにチェックしてください □外部制御1 □外部制御2 □外部制御3 □外部制御4 □外部制御5	5-C-b	82
ブロック選択音声	ブロック選択スイッチA	○	□なし □オリジナル → No. _____ (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチB	○	□なし □オリジナル → No. _____ (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチC	○	□なし □オリジナル → No. _____ (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチD	○	□なし □オリジナル → No. _____ (1~10)	5-D	83
	ブロック選択スイッチE	○	□なし □オリジナル → No. _____ (1~10)	5-D	83
外部制御音声	外部制御入力1	○	□なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. _____ (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力2	○	□なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. _____ (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力3	○	□なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. _____ (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力4	○	□なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. _____ (1~10)	3-F-b	74
	外部制御入力5	○	□なし □ライン1 □ライン2 □ライン3 □オリジナル → No. _____ (1~10)	3-F-b	74
メッセージスイッチ	メッセージスイッチ1	○	□サイレン □オリジナル → No. _____ (1~10)	5-E	84
	メッセージスイッチ2	○	□なし □オリジナル → No. _____ (1~10)	5-E	84
BGM制御	BGM制御ライン1, 2ミュート	○	□ON □OFF	5-F	84
緊急放送制御	緊急外部制御出力	○	□ON □OFF	5-G	85
外部制御	外部制御出力1	—	□なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
	外部制御出力2	—	□なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
	外部制御出力3	—	□なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
	外部制御出力4	—	□なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
	外部制御出力5	—	□なし □音声警報 □発報放送 □火災放送 □一斉火災放送 □非火災放送 □マイク放送 □異常発生 □業務放送 □緊急放送 □点検 □ブロックA □ブロックB □ブロックC □ブロックD □ブロックE	5-H	86
パスワード	パスワード	○	※出荷時設定は「0000」です。 パスワード (数字4桁) _____	5-I	87

書き込みのしかたと調整

1.基本設定表 (2/2)

件名：

記入日： 20 / /

記入者：

※マルチリモコンマイク、一般リモコンを複数台使用する場合は、本シートを台数分コピーしてご使用ください。

※各部名称およびユーザー情報は、本体操作では入力できません。設定支援ソフトで入力してください。

	設定項目	入力文字数	設定			
各部名称	放送階選択スイッチ	全角8文字	1 _____	2 _____		
			3 _____	4 _____		
			5 _____	6 _____		
			7 _____	8 _____		
			9 _____	10 _____		
			11 _____	12 _____		
			13 _____	14 _____		
			15 _____	16 _____		
			17 _____	18 _____		
			19 _____	20 _____		
			ブロック選択スイッチ	全角8文字	1 _____	2 _____
					3 _____	4 _____
					5 _____	
外部制御入力	全角8文字	1 _____	2 _____			
		3 _____	4 _____			
		5 _____				
チャイム	全角8文字	_____				
アナウンス	全角8文字	_____				
マルチリモコンマイク	全角8文字	1 _____	2 _____			
		3 _____	4 _____			
		5 _____	6 _____			
		7 _____	8 _____			
		9 _____	10 _____			
		11 _____	12 _____			
		13 _____	14 _____			
		15 _____	16 _____			
		17 _____	18 _____			
		19 _____	20 _____			
		一般リモコン	全角8文字	1 _____	2 _____	
				3 _____	4 _____	
				5 _____	6 _____	
7 _____	8 _____					
9 _____	10 _____					
スピーカー回線	全角8文字	1 _____	2 _____			
		3 _____	4 _____			
		5 _____	6 _____			
		7 _____	8 _____			
		9 _____	10 _____			
		11 _____	12 _____			
		13 _____	14 _____			
		15 _____	16 _____			
		17 _____	18 _____			
		19 _____	20 _____			
		外部制御出力	全角8文字	1 _____	2 _____	
				3 _____	4 _____	
				5 _____		
メッセージスイッチ	全角8文字	1 _____	2 _____			
ユーザー情報	業種	—	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ホテル <input type="checkbox"/> デパート・ショッピングセンター <input type="checkbox"/> オフィスビル <input type="checkbox"/> 庁舎・役所 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 集合住宅 <input type="checkbox"/> 病院			
	ユーザー名	全角20文字				
	住所	全角40文字				
	電話	全角20文字				
	納入年月	—	_____年 _____月			
	ルート	全角20文字				
	担当	全角20文字				
	備考	全角100文字				

書き込みのしかた
と調整

設定表

2.出火連動階系統表

件名：

記入日： 20 / /

記入者：

出火階	連動階			放送階選択スイッチ																				
	階	系統名	SW	階情報	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
放送階選択スイッチ (非常業務兼用)			1																					
			2																					
			3																					
			4																					
			5																					
			6																					
			7																					
			8																					
			9																					
			10																					
			11																					
			12																					
			13																					
			14																					
			15																					
			16																					
			17																					
			18																					
			19																					
			20																					

出火階は●印で記入します

1つの階に複数の放送階選択スイッチ（上図SW）があるときは、その階のすべてを出火階に設定します。

連動階は○印で記入します

出火階が2階以上のときはその直上階とエレベーターなどが連動階になります。

出火階が1階のときは直上階（2階）と地下階すべて、エレベーターなどが連動階になります。

出火階が地下階のときはその直上階および地下階すべてとエレベーターなどが連動階になります。

地下1階をのぞく地下階で出火した場合でも1階に放送することができます。

※地下階、エレベーターへは「非常放送」義務があります。

①地下階で出火した場合は、その直上階および地下階すべてとエレベーターに非常放送しなければなりません。

②出火階にかかわらず、エレベーターには、非常放送しなければなりません。

音声警報 階情報メッセージ一覧

階情報	メッセージ	階情報	メッセージ	階情報	メッセージ
0	階情報無し	14	14階	28	講堂
1	1階	15	15階	29	体育館1階
2	2階	16	16階	30	体育館2階
3	3階	17	17階	31	給食棟
4	4階	18	18階	32	機械室
5	5階	19	19階	33	地下駐車場
6	6階	20	20階	34	屋上駐車場
7	7階	21	地下1階	35	塔屋
8	8階	22	地下2階	36	武道館
9	9階	23	地下3階	37	この近所
10	10階	24	階段		
11	11階	25	エレベーター		
12	12階	26	屋上		
13	13階	27	体育館		

書き込みのしかたと調整

3.放送系統表

件名：

記入日： 20 / /

記入者：

※マルチリモコンマイクを複数台使用する場合は、本シートを台数分コピーしてご使用ください。

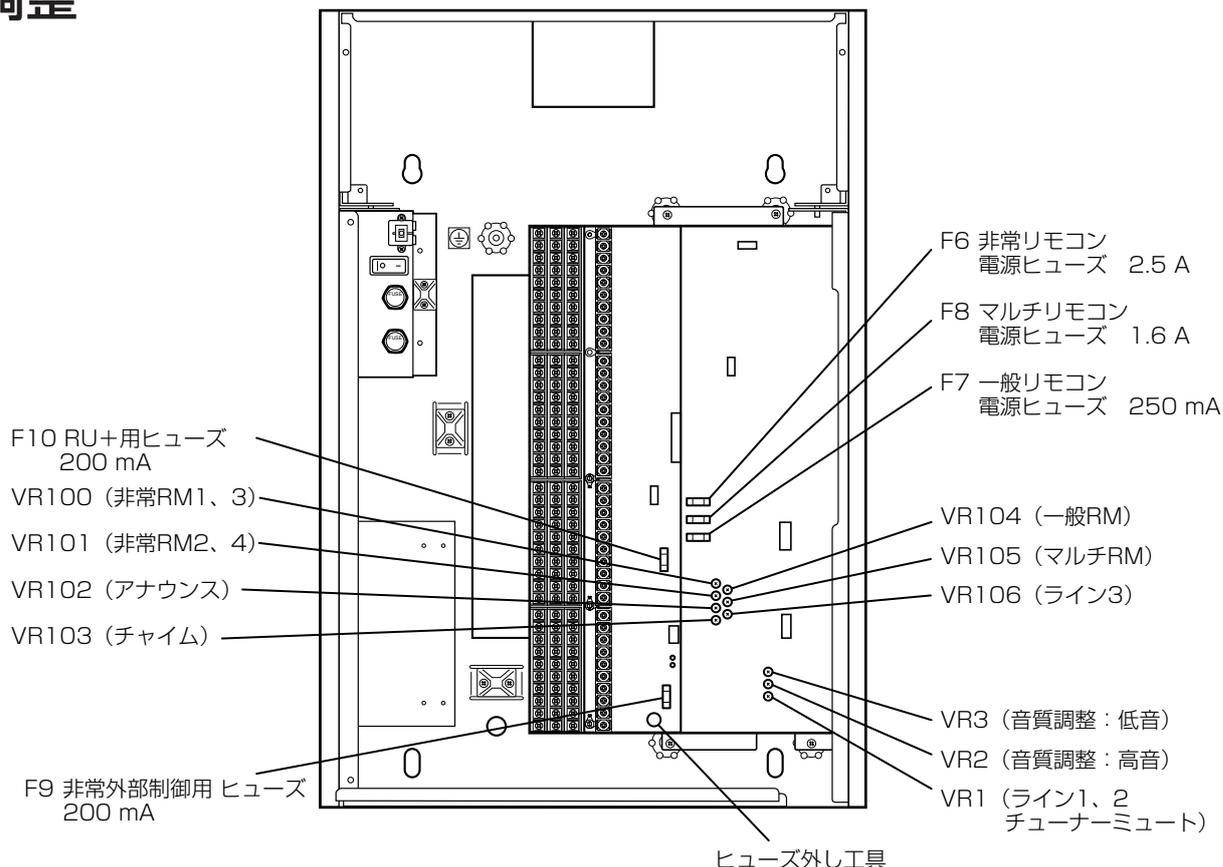
設定したスピーカー回線を●印で示しています。

階	系統名	SW	優先順位	優先放送	ライン入力	スピーカー回線																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
放送階選択スイッチ (非常業務兼用)		1																							
		2																							
		3																							
		4																							
		5																							
		6																							
		7																							
		8																							
		9																							
		10																							
		11																							
		12																							
		13																							
		14																							
		15																							
		16																							
		17																							
		18																							
		19																							
		20																							
フロア選択スイッチ		一斉																							
		A																							
		B																							
		C																							
		D																							
	E																								
非常リモコン		非常リモコンN01																							
		非常リモコンN02																							
		非常リモコンN03																							
		非常リモコンN04																							
マルチリモコンマイクNO		1																							
		2																							
		3																							
		4																							
		5																							
		6																							
		7																							
		8																							
		9																							
		10																							
		11																							
		12																							
		13																							
		14																							
		15																							
		16																							
		17																							
		18																							
		19																							
		20																							
一般リモコン		一斉																							
		1																							
		2																							
		3																							
		4																							
		5																							
		6																							
		7																							
		8																							
		9																							
	10																								
チャイム放送 アナウンス放送		一斉																							
		1																							
外部制御入力		2																							
		3																							
		4																							
		5																							

書き込みのしかたと調整

調整のしかた

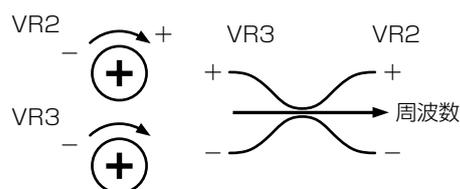
調整



- 非常リモコン入力1/3、2/4音量調整 (VR100、101)
非常リモコンの入力音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。VR100.101
(出荷時: 0 dBV) 
- アナウンス入力音量調整 (VR102)
アナウンス入力の音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。
(出荷時: 最大) 
- チャイム入力音量調整 (VR103)
チャイム入力の音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。
(出荷時: 最大) 
- 一般リモコンマイク入力音量調整 (VR104)
一般リモコンマイクの入力音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。
(出荷時: 0 dBV) 
- マルチリモコンマイク入力音量調整 (VR105)
マルチリモコンマイクの入力音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。
(出荷時: 最大) 
- ライン3入力音量調整 (VR106)
ライン3の入力音量を調整します。矢印方向で音量が増大します。VR106
(出荷時: 最大) 

● 音質調整（トーンコントロール）（VR2、VR3）

低音、高音それぞれの音質を調整します。
 VR2 → 高音調整（出荷時：フラット）
 VR3 → 低音調整（出荷時：フラット）

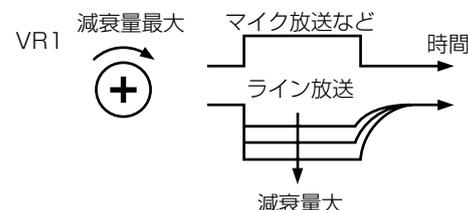


● ライン1、2、チューナーのミュート調整（VR1）

マイク1、2の放送中は、ライン1、2、チューナーの音声を減衰させ（ミュート）、マイク音声を優先させる回路を内蔵しています。VR1を調整し、減衰量を調整します。

矢印の方向で減衰量が最大になります。（出荷時は減衰量最大に設定されています）

書き込みにより、BGM制御「ON」に設定すると、本体マイク、チャイム、アナウンス、コールサイン、非常リモコン、マルチリモコンマイク、一般リモコン、サイレン音の放送で減衰（ミュート）されます。



● 非常／業務放送兼用マイク（本体マイク）音量調整

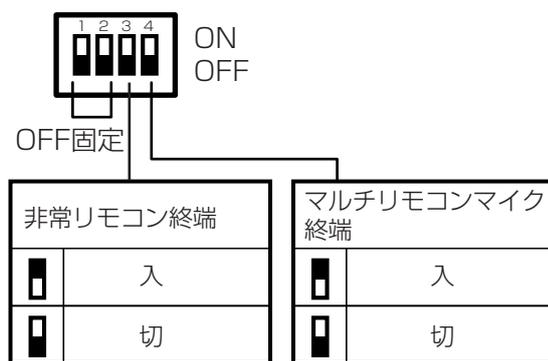
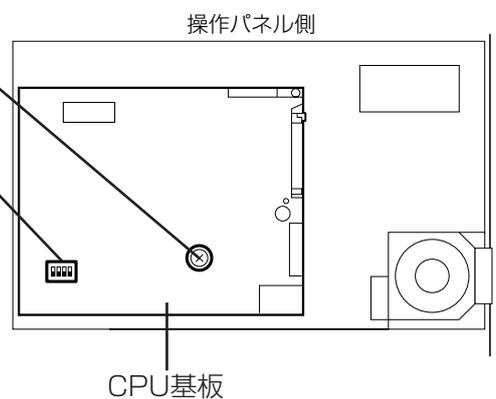
本体マイクの音量を調整します。

● 終端抵抗設定スイッチ

非常リモコン、マルチリモコンマイクを接続する際の終端抵抗の入／切設定を行います。

3番→非常リモコン用 終端抵抗 入／切スイッチ

4番→マルチリモコンマイク用 終端抵抗 入／切スイッチ
 （出荷時：切）



● ヒューズの交換

基板上にあるヒューズは、EL基板下側のヒューズ外し工具を使用して、ヒューズホルダーを変形させないように交換してください。（104ページ）



書き込みのしかた
と調整

調整のしかた

● 内蔵メッセージ音源の音量調整

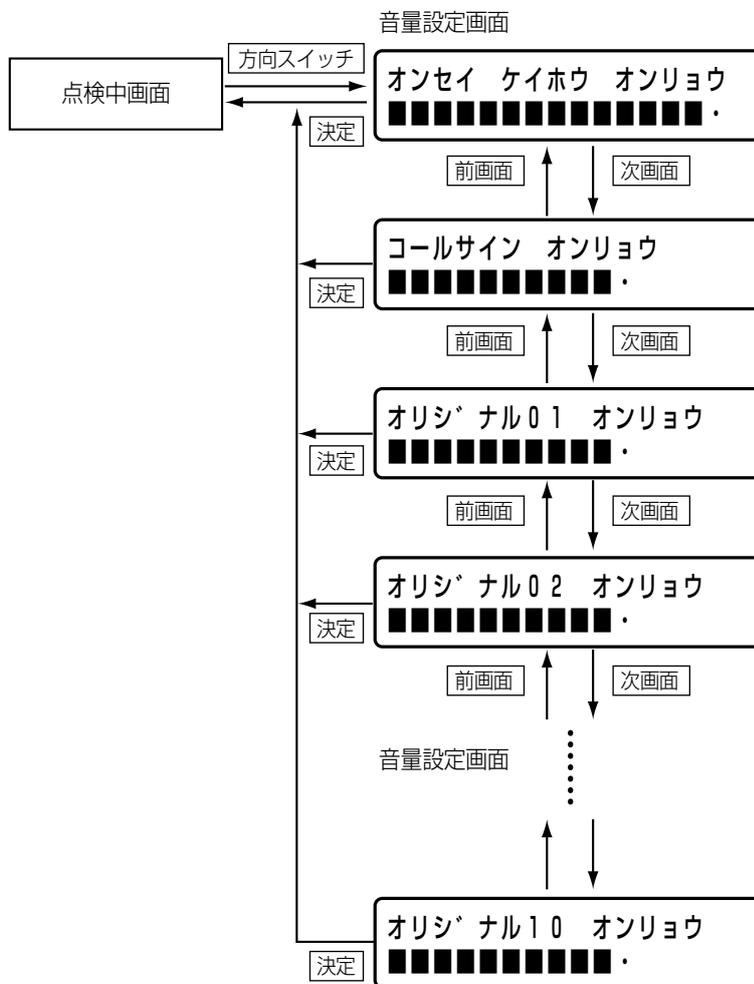
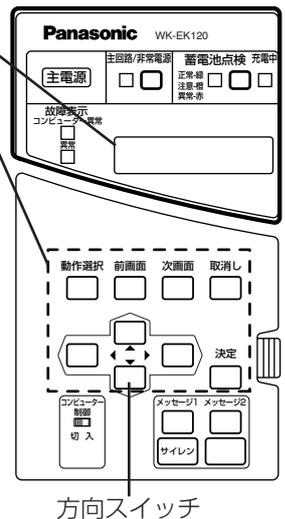
液晶画面を使用して、本機に内蔵されている以下の内蔵メッセージの音量を調整することができます。

- ・ 音声警報
- ・ コールサイン
- ・ オリジナルメッセージ1～10

「動作選択スイッチ」を操作し、本機を点検モード（テンケンモード）に移行します。

点検モードの画面で「決定」スイッチを3回押して点検中（テンケンチュウ）画面にし、方向スイッチと「次画面」スイッチによって各音量の設定画面を選択し、各音量を設定します。

点検モードについては「保守点検」の総合点検（115ページ）を参照ください。



※画面の音量は出荷時の設定です。

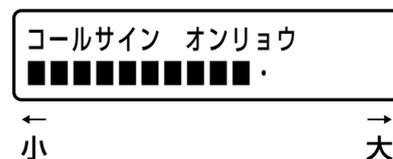
● 音声警報音量調整

音声警報メッセージ音量を調整することができます。
出荷時の調整値を「・」で表示します。上下（▲▼）スイッチにより、2 dBステップで、設定することができます。
設定された値が「■」で表示されます。
※消防検査終了後の音量変更は、所轄消防署の確認を受けてください。



● コールサイン音量調整

コールサイン上り、下りの音量を調整することができます。
音量は上り、下りの両方が変わります。
出荷時の調整値を「・」で表示します。上下（▲▼）スイッチにより、2 dBステップで、設定することができます。
設定された値が「■」で表示されます。

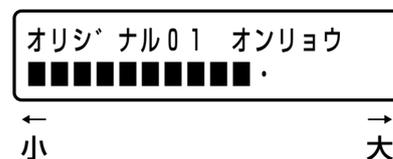


メモ

コールサイン音の設定が「オリジナル1」または「オリジナル2」のときは、本機のコールサイン音量調整でマルチリモコンマイクWR-MC100のコールサイン音量も調整されます。

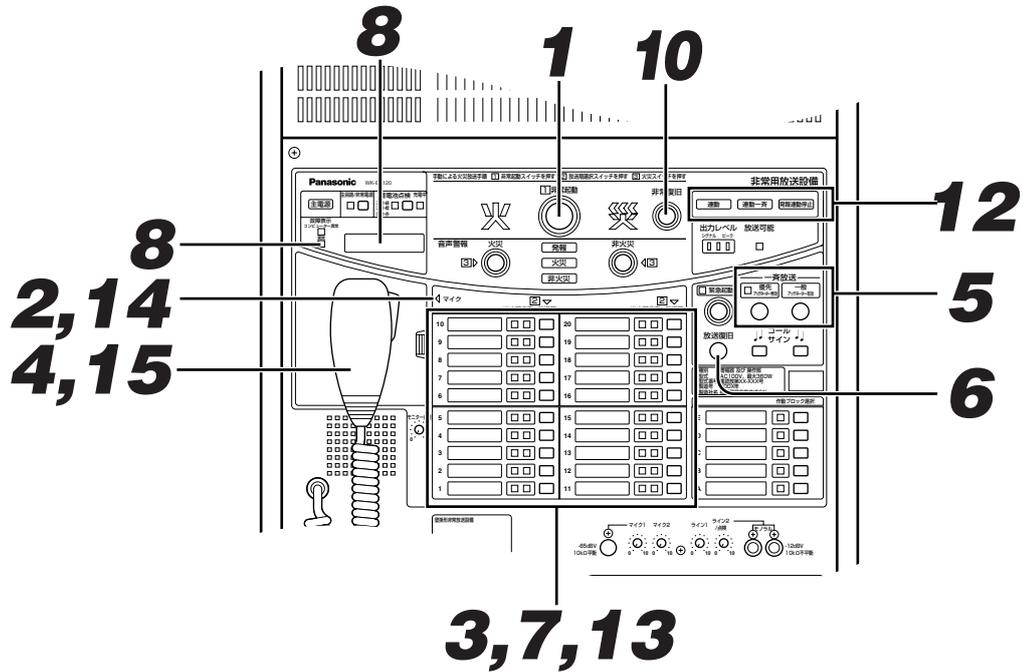
● オリジナルメッセージ（1～10）音量調整

10個の内蔵オリジナルメッセージの音量を調整することができます。
出荷時の調整値を「・」で表示します。上下（▲▼）スイッチにより、2 dBステップで設定することができます。
設定された値が「■」で表示されます。
次画面スイッチ、前画面スイッチにより設定するメッセージの番号を選択し、調整します。



設置時の点検

■動作点検（非常放送）



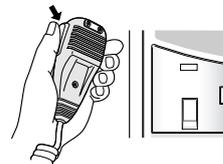
1 手で非常起動スイッチを押します。火災灯が点滅し、放送階選択指示灯が点滅しますか？

2 マイク指示灯が点滅していますか？ モニタースピーカーより操作指示音声（「放送階選択スイッチを押せ」）が流れていますか？

3 放送階選択スイッチを1か所押します。発報放送表示灯と押された階の階別作動表示灯が点灯し、発報放送が鳴りますか？

4 マイクを取り、放送します。マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、発報放送が止まり、マイク放送が**3**で押された階に流れますか？

スイッチを押す



5 一般放送の一般一斉スイッチを押し、マイク放送します。すべての階の階別作動表示灯が点灯し、全館に放送が流れますか？

6 放送終了後は、放送復旧スイッチを押します。
階別作動表示灯が消えスピーカー放送も切れますか？
モニタースピーカーより操作指示音声（「放送階選択スイッチを押せ」）が流れていますか？
●放送階選択指示灯が点滅します。

7 任意の放送階選択スイッチを2、3か所押しします。
放送階選択指示灯が点灯し、階別作動表示灯が点灯しますか？

8 7で押した階のいずれか一つのスピーカー回線短絡させます。火災または非火災放送スイッチを押して放送します。
短絡させた階の階別作動表示灯が点滅しますか？
故障表示灯の異常表示が点灯しますか？
液晶画面に短絡させたスピーカー回線番号が表示されますか？
●短絡状態を解除します。

9 8の状態、分電盤のブレーカーを「切」にします。
8の状態が継続していますか？
（確認後、すぐに分電盤のブレーカーを「入」にしてください。）

10 非常復旧スイッチを押します。
火災灯、放送階選択指示灯、階別作動表示灯、マイク指示灯が消えますか？

11 本機のコンピューター制御スイッチを「切」にしてから「入」にしてください。
故障表示灯（異常表示灯）が消えますか？

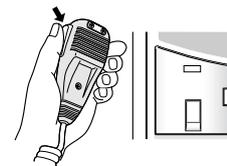
12 書き込みモードで連動一斉に設定します。
連動一斉表示灯が点灯しますか？

13 本機の階別信号入力端子をショートします。火災灯が点滅、全館に発報放送が流れ、放送階選択指示灯、出火階表示灯、すべての階別作動表示灯が点灯しますか？（ブロック作動灯は点灯しません。）
●発報放送終了後、モニタースピーカーから火災音信号（ピーピーピー）が鳴動します。

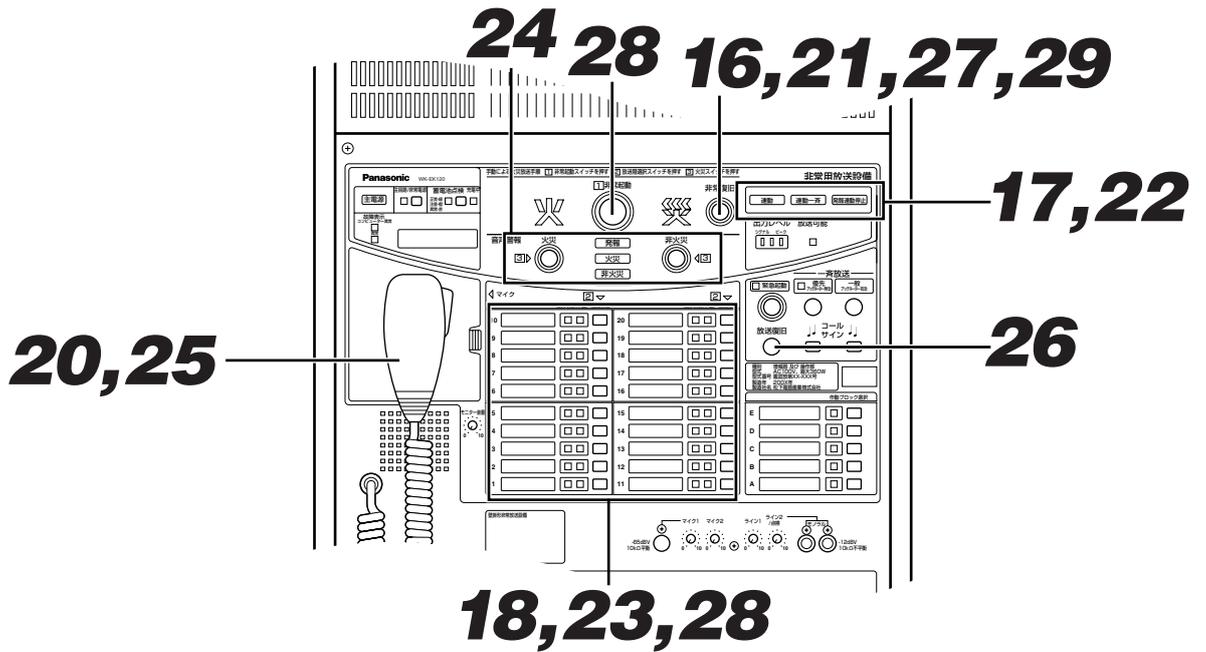
14 マイク指示灯が点滅していますか？

15 マイクを取り、放送します。
マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、火災音信号（ピーピーピー）が止まり、放送が全館に流れますか？

スイッチを押す



設置時の点検



16 本機の階別信号入力端子を復旧し、非常復旧スイッチを押します。
火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯、すべての階別作動表示灯が消えますか？

17 書き込みモードで連動に設定します。
連動表示灯が点灯しますか？

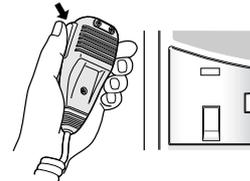
18 本機の階別信号入力端子をショートします。
火災灯、マイク指示灯が点滅し、発報放送が流れ、放送階選択指示灯、出火階表示灯、出火連動階設定で書き込まれた出火階および連動階の階別作動表示灯が点灯しますか？

- 1つの階に複数の室があるときは、その階のすべてが赤く点灯します。
- 発報放送終了後、モニタースピーカーから火災音信号（ピーピーピー）が鳴動します。

19 本機の火災確認信号端子をショートします。
火災灯、火災放送表示灯が点灯し、出火階、連動階に火災放送が流れますか？

20 マイクを取り、放送します。
マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、火災放送が止まり、出火階、連動階に放送が流れますか？

スイッチを押す



- マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュービュー）が鳴動します。

書き込みのしかたと調整

21 本機の階別信号入力端子と火災確認信号端子を復旧し、非常復旧スイッチを押します。
火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯、出火階および連動階の階別作動表示灯が消えますか？

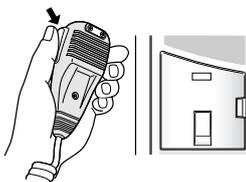
22 書き込みモードで発報連動停止に設定します。
発報連動停止表示灯が点灯しますか？

23 本機の階別信号入力端子をショートします。
火災灯が点滅し、モニタースピーカーから火災音信号（ピーピーピー）が鳴り、出火階表示灯、出火階および連動階の階別作動表示灯が点灯しますか？
●1つの階に複数の室があるときは、その階のすべてが赤く点灯します。

24 火災放送スイッチを押します。
火災放送表示灯が点灯し、自動的に出火階、連動階に火災放送が流れますか？
(火災放送は次の操作まで、繰り返し流れます。)
非火災放送スイッチを押します。
非火災放送表示灯が点灯し、非火災放送が流れますか？
(非火災放送は2回流れます。)

25 マイクを取り、放送します。
マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、非火災放送が止まり、出火階、連動階に放送が流れますか？

スイッチを押す



26 放送終了後は放送復旧スイッチを押します。
階別作動表示灯が消灯、放送階選択指示灯、マイク指示灯が点滅し、非火災放送が止まりますか？

注：第2タイマーがタイムアップする前に放送復旧スイッチを押してください。(タイムアップ後は無効になります。)

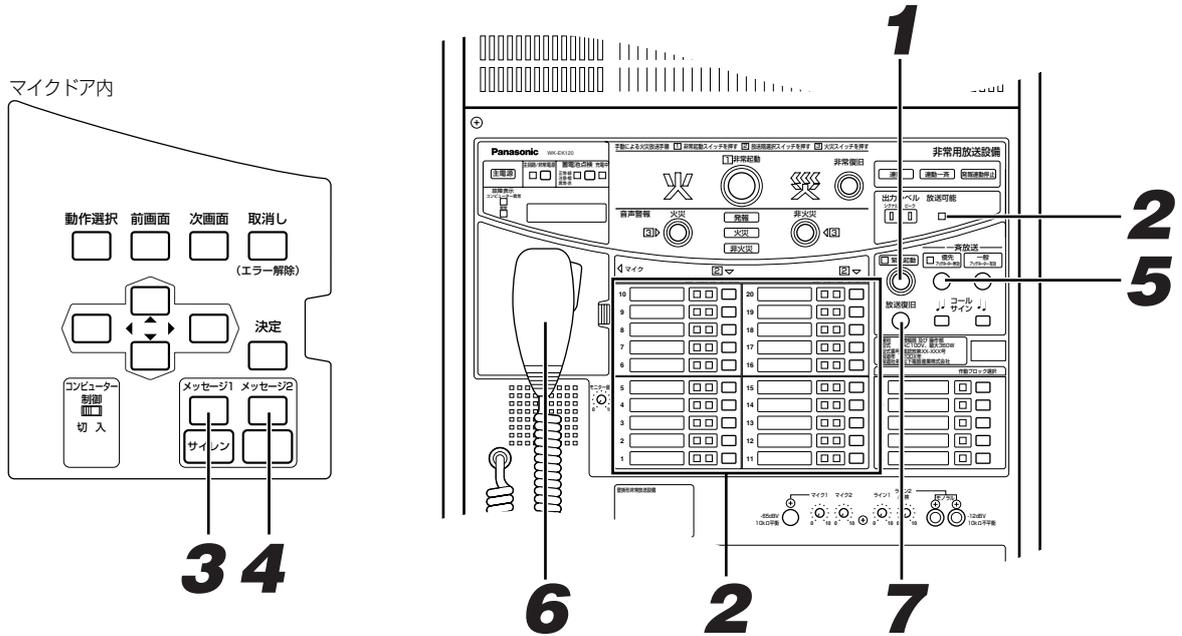
27 本機の階別信号入力端子を復旧させ、非常復旧スイッチを押します。
火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯が消えますか？

28 非常起動スイッチと任意の放送階選択スイッチを押し、発報放送を放送します。
第1タイマーがタイムアップ後、火災放送が放送されますか？
第2タイマーがタイムアップ後、全館に火災放送が放送されますか？

29 放送を確認後、非常復旧スイッチを押します。

設置時の点検

■動作点検（緊急放送）



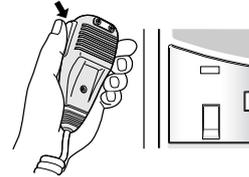
1 緊急起動スイッチを押します。
緊急起動表示灯が点灯しますか？

5 一斉放送の優先一斉スイッチを押します。
すべての階別作動表示灯が点灯しますか？

2 任意の放送階選択スイッチを押します。
放送可能表示灯が点灯、押された階の階別作動表示灯が点灯しますか？

6 マイクを取り、放送します。
マイクスイッチを押すと、放送が全館に流れますか？

スイッチを押す

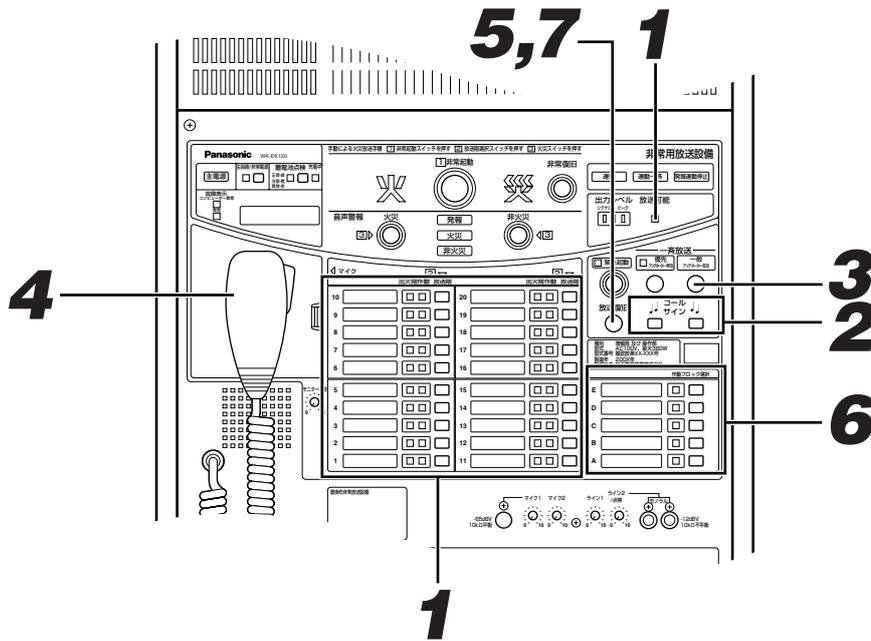


3 メッセージ1スイッチを押します。
2で押した階にサイレンが鳴りますか？

4 メッセージ2スイッチを押します。
2で押した階に設定したメッセージが流れますか？
(出荷時の設定は、「省エネ運動のお願い」メッセージです。)

7 放送終了後は、放送復旧スイッチを押します。
緊急起動表示灯、階別作動表示灯、放送可能表示灯が消え、スピーカー放送も止まりますか？

■動作点検（業務放送）



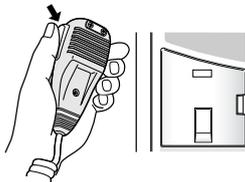
1 任意の放送階選択スイッチを押します。
放送可能表示灯が点灯、押された階の階別作動表示灯が点灯しますか？

2 コールサインスイッチ上りまたは下りを押します。
1で押した階にコールサインが鳴りますか？

3 一斉放送の一般一斉スイッチを押します。
すべての階別作動表示灯が点灯しますか？

4 マイクを取り、放送します。
マイクスイッチを押すと、放送が全館に流れますか？

スイッチを押す



5 放送終了後は、放送復旧スイッチを押します。
作動表示灯、放送可能表示灯が消え、放送が止まりますか？

6 ブロック指定したブロック選択スイッチを押し、放送します。
放送可能表示灯が点灯し、ブロック指定された場所の階別作動表示灯が点灯し、放送が流れますか？

7 放送終了後は放送復旧スイッチを押します。
放送階選択指示灯、階別作動表示灯、ブロック作動表示灯、放送可能表示灯が消えますか？

書き込みのしかたと調整

設置時の点検

■スピーカー回線の点検および絶縁抵抗試験

●スピーカー端子の絶縁抵抗試験

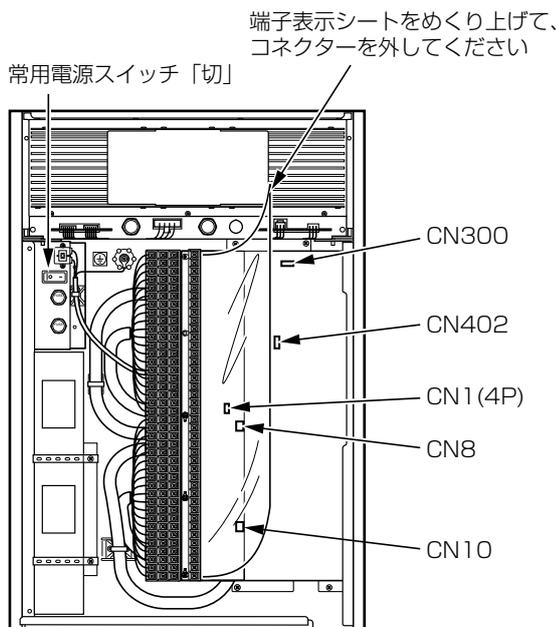
必ず常用電源スイッチを「切」にして、かつコネクタ－CN300、CN402を外してください。

- 外したコネクタ－は試験後に戻してください。
- 絶縁抵抗試験は常用電源スイッチを「切」の状態で行ってください。

●火災報知器側（EL/EF/EB）で絶縁抵抗試験をする場合

必ず常用電源スイッチを「切」にして、かつコネクタ－CN1、CN8を外してください。

- 外したコネクタ－は試験後に戻してください。
- 絶縁抵抗試験は常用電源スイッチを「切」の状態で行ってください。



- CN1、CN8 : EL/EF/EBの絶縁抵抗用サージアブソーバコネクタ－
- CN300、CN402 : スピーカ－回線絶縁抵抗用サージアブソーバコネクタ－

お願い

スピーカ－接続端子、EL、EF、EB等の各端子には、雷サージおよび静電気保護のためにシャーシとの間に、ZNR(サージアブソーバ)が取り付けられています。指定のコネクタ－を外してから絶縁抵抗試験を行ってください。外さないで試験を行うと試験結果はNGとなります。

また絶縁抵抗試験は配線の片側と大地間で行います。配線相互間で行うと接続されている機器(含む本機)を破損する場合があります。

保守点検

■総合点検

非常放送、緊急放送、業務放送の各放送モードが正しく動作するかどうかを総合的に点検します。

1. 操作パネルのマイクドアを開け、**動作選択**スイッチを押し、機器の状態を「テンケンモード」にする。

状態は、通常動作→設定情報→点検→書き込みモード→通常動作の順に切り替わります。

2. 上下スイッチ▲▼にて、「SP回線」、「EMG24V」、「SP回線, EMG24V」の点検方法を選択して、**決定**スイッチを押し。

SP回線：スピーカーからの出力をカットするため外部に点検時の音は、聞こえません。液晶画面、モニタースピーカーで確認します。

EMG24V：ローカルアンプの放送を中断せずに点検を行います。

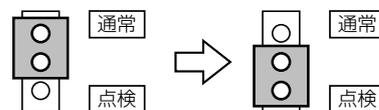
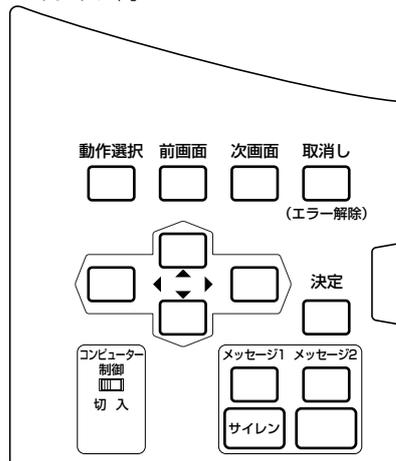
非常制御設定コネクタの設定により、本機の電源を「切」にしてもローカルアンプの放送を継続し、停電からの非常起動点検を行うことができます。

非常制御コネクタCN10を「点検」側に設定します。(114ページ)

点検終了後などは、上記コネクタを必ず「通常」側へ設定してください。

SP回線, EMG24V：外部に点検時の音を出さず、ローカルアンプの音も中断せずに点検できます。

マイクドア内



3. 操作パネルのライン2入力を点検入力として使用する場合は、「テンケンニューリョク」画面で、**[ON]** を上下スイッチ▲▼で選択して、**決定**スイッチを押し。点検モードに入ります。

音声警報を放送しないで、点検中のメッセージをカセット等から放送できます。

他にマイク1、マイク2、ラジオチューナーからの放送もできます。

※操作パネルを開けるときは、ライン2/点検入力に挿したプラグを抜くか、開く角度を狭めてプラグが側面板に当たらないようにしてください。

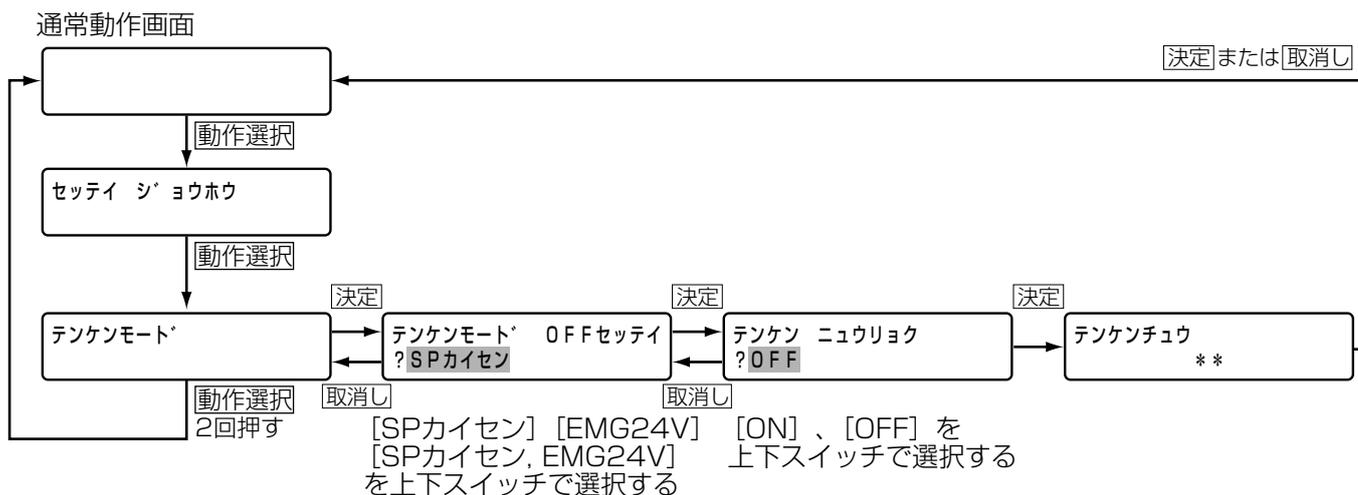
4. 実際に点検するモード「テンケンチュウ」にして点検を行う。

非常放送：「■動作点検（非常放送）」の **1～29** を点検します。(108～111ページ)

緊急放送：「■動作点検（緊急放送）」の **1～7** を点検します。(112ページ)

業務放送：「■動作点検（業務放送）」の **1～7** を点検します。(113ページ)

5. 点検終了後は、**決定**スイッチまたは**取消し**スイッチを押し、必ず通常動作に戻す。



■自動点検について

本機には、コンピューターによる自動点検機能がついており、蓄電池異常、通信異常、スピーカー回線短絡、本体マイク異常、パワーアンプ異常、主回路／非常電源異常、主電源異常、非常外部制御異常の点検を行うとともに、その内容がログに記録されます。

点検項目	点検内容	点検方法 (コンピューターが自動的にを行います)	異常発生時の表示とブザー音		復旧方法
			表示灯とブザー音	液晶表示 (異常発生時は、バックライトが点滅します)	
蓄電池異常	蓄電池が正常電圧であるかどうかを判定	24時間おきに自動的に点検	蓄電池表示灯： 赤点灯 ブザー音：鳴動	非常用蓄電池の場合 <イジ' ヨウ>チクテ' ンチ ヒジ' ヨウ ヨウ 業務用蓄電池の場合 <イジ' ヨウ>チクテ' ンチ キ' ヨウム ヨウ	蓄電池点検スイッチを押して、蓄電池表示灯が赤に点灯している場合は、蓄電池を交換してください。
通信異常	本機と非常リモコン間の通信を点検	常時自動的に点検	異常表示灯：点灯 ブザー音：鳴動	<エラー>ツウシン ヒジ' ヨウRM 下側に対象の「ヒジ' ヨウRM」とアドレスNOが表示されます。	非常リモコンから放送の操作を再度して異常表示が復旧しないか確認してください。異常が消えない場合は、非常リモコンの接続や通線が確実に接続されているかを確認します。
スピーカー回線短絡	スピーカー回線の短絡を検出	短絡状態のスピーカー回線で放送を行おうとした時に検出	異常表示灯：点灯 ブザー音：なし	<イジ' ヨウ>SPカイセン ??、??、??、?? 下側に異常発生時のスピーカー回線番号が表示されます。	異常発生時のスピーカー回線のショートや端子台配線部分を確認してください。
本体マイク異常	本体マイクの断線を監視	常時自動的に監視	異常表示灯：点灯 ブザー音：なし	<イジ' ヨウ>ホントイマイク	本体マイクの内部接続を確認してください。
電力増幅ユニット異常	電力増幅ユニットの異常監視	電力増幅ユニットのヒューズ断、温度異常を常時監視。ファンの異常は、24時間おきに自動的にファンを動作させて点検	異常表示灯：点灯 ブザー音：なし	<イジ' ヨウ>ハ' ワーアンプ'	故障履歴を設定支援で読み込み、電力増幅ユニットの異常詳細を確認し、対処します。
主回路／非常電源異常	主回路、非常電源の電圧を監視	常時自動的に監視	主回路／非常電源表示灯：消灯 ブザー音：なし		常用電源AC100 Vや蓄電池の電圧を確認してください。
主電源表示	主電源の電圧を監視	常時自動	主電源表示灯：消灯 ブザー音：なし		常用電源AC100 Vの電圧を確認してください。
非常外部制御異常	ヒューズ断を監視	常時自動的に監視	異常表示灯：点灯 ブザー音：鳴動	<イジ' ヨウ>ヒューズ' ヒジ' ヨウカ' イフ' セイキ' ヨ	EL基板上のF9非常外部制御用ヒューズを確認してください。

※スピーカー回線短絡の異常表示は、通常状態または業務放送状態で非常復旧スイッチを押すと復旧します。

※ブザー音は、操作パネルの任意の放送階選択スイッチを押すと鳴動が止まります。

※マイクドア内の[取消]スイッチ（エラー解除）を押すと液晶表示の表示内容が消えます。

※複数の異常が発生した場合、液晶画面の表示は、新しく発生した異常の内容に更新されていきます。

マイクドア内の[取消]スイッチ（エラー解除）を押すと、1つ前に発生した異常が表示されます。

異常の内容がそれ以上表示されなくなるまで[取消]スイッチ（エラー解除）を押し、発生した異常をすべて確認してください。

一度異常の内容を表示させたあとに再度表示させたいときは、[取消]スイッチ（エラー解除）を長押ししてください。画面は最も新しく発生した異常内容が表示されている状態に戻ります。

■電源の点検

- 本機には、セルフチェック機能があり、コンピューターが24時間おきに蓄電池の点検を自動的に行いますが、手動でも点検が行えます。
- 手動で点検を行いますと、コンピューターは、それから24時間おきに自動的に点検を行います。



■手動点検（蓄電池の点検）

1. 充電中表示灯が点灯していることを確認する。
2. 操作パネルの蓄電池点検スイッチを押す。

10秒後に蓄電池電圧が判定され、表示灯が点灯します。

緑：正常電圧の範囲内

橙：正常電圧の下限（蓄電池の交換時期が間近です。）

赤：動作電圧以下（蓄電池を交換してください。）

点検結果（点灯色）は、次の点検まで保持されます。

蓄電池が動作電圧以下のときには、液晶画面が以下の表示になり、ブザー音が鳴ります。

<イジ ヨウ>チクデ ンチ
ヒジ ヨウ ヨウ

任意の放送階選択スイッチを押してブザー音を止め、蓄電池を交換してください。

ブザー音は接続している非常リモコンからも鳴りますので、同様に非常リモコンの任意の放送階選択スイッチを押して止めます。

液晶画面の<イジヨウ>チクデンチの表示は、次の点検で正常電圧の下限以上の判定が出るまで表示されます。表示内容を消したいときは、マイクドア内の[取消]スイッチを押してください。

※手動点検を行うと、以後24時間おきに自動点検を行います。

蓄電池点検スイッチ

主回路/非常電源
点検スイッチ

液晶画面



●常用電源の点検

1. 操作パネルの主電源表示灯が点灯していることを確認する。

停電および常用電源が低い場合は点灯しません。

●主回路/非常電源電圧の点検

1. 主回路/非常電源表示灯が点灯していることを確認する。
停電および主回路電源電圧が異常の場合は点灯しません。
2. 主回路/非常電源点検スイッチを押して非常電源電圧を確認する。
非常電源電圧が異常の場合は点灯しません。

注意

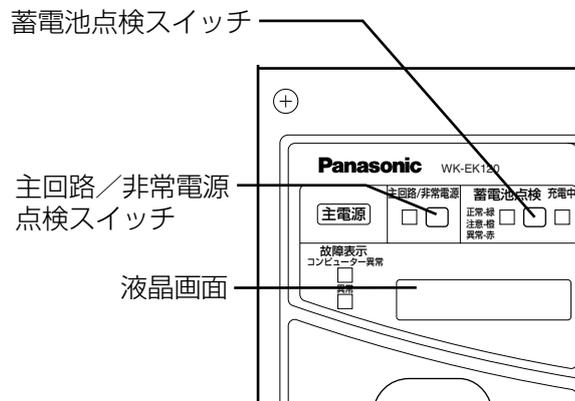
蓄電池の電圧の点検は、蓄電池を消耗させます。

連続して蓄電池点検スイッチを押したり、押し続けたりすると、蓄電池が消耗し、非常時に本システムが動作しなくなる恐れがあります。

メモ 蓄電池点検スイッチを押すと、充電表示灯は消灯します。

■蓄電池の電圧測定のかた

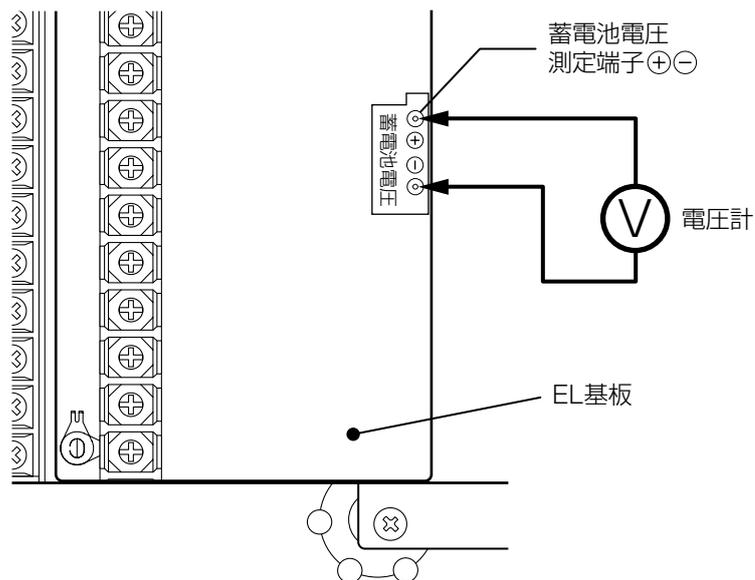
1. 操作パネルの蓄電池点検スイッチを押す。



2. 内部のEL基板上の蓄電池電圧測定端子の電圧を測定する。

蓄電池点検スイッチを押してから10秒以内に測定してください。(充電中表示灯が消灯中に測定)

※21 V以下は、蓄電池が消耗していますので、交換してください。



■蓄電池の交換について

⚠ 注意

蓄電池の交換は、販売店か
保守契約店に依頼する



感電の原因となります。

- 蓄電池は非常放送されなくても、寿命があります。
- 点検の際容量不足があれば、新品と交換してください。
- 蓄電池の交換時期は約4年です。
4年を経過すると性能が低下してきますので、蓄電池の電圧状態が正常の範囲内でも交換してください。
- 交換した蓄電池の取り扱いには注意してください。

電力増幅ユニット (出力)	ニッケル・カドミウム蓄電池
	品番
WU-PK106 (60 W)	NCB-165
WU-PK112 (120 W)	NCB-350
WU-PK124 (240 W)	NCB-600
WU-PK136 (360 W)	NCB-600

- 不要になったニッケル・カドミウム蓄電池は貴重な資源を守るために、廃棄しないでニッケル・カドミウム蓄電池のリサイクルにご協力ください。



Ni-Cd

保守点検のお願い

- 消防法により定期点検、消防署への報告および点検結果の維持台帳への記録が義務づけられています。
- 建物の規模、用途によっては**消防設備士**または、総務大臣が認めた**有資格者**が点検しなければなりません。
- 当社では非常用放送設備が正しく動作するために、締結をおすすめします。
- 保守点検契約をしていただくことは、ご使用者にかわって「消防設備士」・「消防設備点検資格者」が定期点検をお引き受けするわけですから**保証期間内であっても定期点検業務については有償となります。**



故障かな!?

下記の表示が、機器前面の表示灯に表示された場合には、この表に従って状態を確認し対処してください。これらの対処をしても状態が改善しない場合は、販売会社へご相談ください。

機器の状態	対処方法
音声入力に接続された音源機器やマイクの入力音量が小さい(大きい)	本機には、前面パネルに設けられたボリュームの他に、機器内部に下記の入力音量を調整するボリュームが設けられております。 「非常リモコン1/3、2/4」、「アナウンス」、「チャイム」、「一般リモコン」、「マルチリモコンマイク」、「ライン3」 上記のボリュームを適切な音量に調整してください。(104ページ参照)
内蔵メッセージの音量が小さい(大きい)	下記の内蔵メッセージは、音量を調整することができます。 「音声警報」、「コールサイン」、「オリジナルメッセージ1~10」 上記メッセージは、「点検モード中」の「音量設定画面」で設定することができます。 消防検査終了後の「音声警報」の音量変更は、所轄消防署の確認を受けてください。(106ページ参照)
周辺機器に電源が供給されない	本機は、下記の周辺接続機器にDC電源を供給します。 「非常リモコン」、「一般リモコン」、「マルチリモコンマイク」 「非常リモコン」：本機の機器内部に実装されたヒューズが切れていることが考えられます。(104ページ参照) 「一般リモコン」：放送制御や一斉制御端子がメイクされていないと、電源が供給されません。(32~33ページ参照) 「マルチリモコンマイク」：書き込みモードの機器構成画面でマルチリモコンマイクを設定登録していないと、電源が供給されません。(62ページ参照)
オリジナルのメッセージが放送できない	パソコンで標準的に使用されている音源ファイル(=WAV形式)、壁掛形非常用放送設備用の設定支援ソフト(無償提供)、PCカードが必要です。 WAV形式ファイルは、サンプリング周波数44.1 kHz、16ビットに対応しています。 オリジナルメッセージは、設定支援ソフトにてWAV形式のファイルをオリジナル形式へ変換し、PCカードを使用して本機に書き込む必要があります。 (93ページ参照) ※設定支援ソフトの入手については、販売会社へご相談ください。
コールサインが放送されない	コールサイン用の音源データが書き込まれていない可能性があります。 コールサイン音設定で「オリジナル1」または「オリジナル2」を設定したときは、音源データを設定支援ソフトで作成し、本機に書き込む必要があります。(93ページ参照)
主電源表示灯が消灯している	本機に常用電源(AC100 V)が供給されていない、または、電源部の電力増幅ユニットヒューズ(F1)の切れが考えられます。電力増幅ユニットヒューズ(F1)を確認してください。 ※停電動作時には、本表示灯は消灯します。

機器の状態	対処方法
主回路／非常電源表示灯が消灯している	<p>主回路／非常電源表示灯は、本機の回路電圧が正常動作するための電圧になっていることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 停電でない時に消灯： 本機に常用電圧（AC100 V）が供給されていない、回路故障、または電源ボックス内の回路ヒューズ切れが考えられます。 ● 停電の時に主回路／非常電源点検スイッチを押下点検で消灯： 蓄電池が十分に充電されていないか、蓄電池が寿命の可能性が考えられます。蓄電池の交換時期は約4年ですが、使用環境や条件によって期間は異なります。 ただし、下記の場合は故障ではありません。 蓄電池をお買い上げ直後は、充電が充分でないため正常点灯（緑色）しない場合があります。満充電の目安は約24時間です。
蓄電池点検表示灯が「橙」または「赤」に点灯する	<p>蓄電池点検表示灯は、蓄電池の電圧を、正常「緑」、注意「橙」、異常「赤」の3段階で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常使用状態 最新の点検結果を表示しています。 ● 蓄電池点検スイッチ押下時 「橙」点灯：蓄電池の交換時期が近づいています。 「赤」点灯：蓄電池の交換が必要です。 <p>上記のような場合は、停電時に非常放送ができません。すみやかに蓄電池交換が必要です。 ただし、下記の場合は故障ではありません。 蓄電池をお買い上げ直後は、充電が充分でないため、異常「赤」、注意「橙」に点灯する場合があります。これは、満充電（満充電の目安は約24時間です。）に至る過程での表示であり、故障ではありません。</p>
充電中表示灯が消灯している	<p>内蔵蓄電池への充電回路の動作状態を示します。 充電表示灯が消灯している場合は、充電回路の故障または、電源部内部の回路ヒューズが切れている可能性が考えられます。 この場合、内蔵蓄電池は充電されていない可能性がありますので、停電時に非常放送ができない可能性があります。</p>
故障表示灯が点灯している 「コンピューター異常」表示灯点灯 「異常」表示灯点灯	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューター異常表示灯点灯 内蔵のコンピューター制御に異常が発生した場合に点灯します。マイクドア内のコンピューター制御スイッチを「切」にすると、一時的な緊急対応として本体マイクおよびライン3で一斉放送を行うことができます。 「切」設定後、「入」に戻して正常に動作するか確認してください。問題が解決しない場合には、電源を再度立ち上げ直して正常に動作するか確認してください。 ● 異常表示灯点灯 内蔵のコンピューター以外の異常が本機に発生しています。発生原因については、発生時に液晶画面に内容が表示されます。異常表示は、マイクドア内の「取消し」スイッチで消すことができます。消してしまった後のエラー内容の確認は、「取消し」スイッチの長押しで確認することができます。 <p>※異常の発生履歴は、「書き込みモード」中の「動作履歴画面」で確認することができます。（96ページ参照）</p>
<エラー>ツウシン が液晶画面に表示されている	<p>非常リモコン (WR-EC110/EC115/EC120) と通信ができていません。 接続されている装置の故障、または本機から電源が供給されていない（非常リモコン端子基板上の電源ヒューズ切れ）、接続されているケーブルに問題がある可能性が考えられます。</p>

故障かな!?

機器の状態	対処方法
<イジョウ>パワーアンプ が液晶画面に表示されている	内蔵されている電力増幅ユニットの異常が考えられます。具体的には、空冷ファンの異常 (240 W)、内蔵ヒューズ切れ、異常な温度上昇が発生した場合に表示されます。 動作履歴画面で確認することができます。(96ページ参照)
<イジョウ>SPカイセン が液晶画面に表示されている	スピーカー回線の短絡が考えられます。短絡を検知したスピーカー回線番号が表示され、異常検知したスピーカー回線はスピーカーから切り離されます。当該回線を使用した場所への放送はできません。通常状態または業務放送状態で非常復旧スイッチを押すと復旧します。
<イジョウ>ホントイマイク が液晶画面に表示されている	非常/業務放送兼用マイクロホンのマイクロホンケーブルの断線、プラグの抜けが考えられます。確認してください。
<イジョウ>ヒューズ が液晶画面に表示されている	短絡が考えられます。非常外部制御端子に接続された配線や接続機器に異常がないか、確認してください。
PCカード カクニンデキマセン が液晶画面に表示されている	本機がPCカードを認識できていません。PCカードが正常に挿入されていないか、挿入されているPCカードが本機対応品でない可能性があります。(89ページ参照)
データニ イジョウアリ サギョウヲ チュウシシマス が液晶画面に表示されている	PCカード上のデータに異常があり、書き込みできませんでした。書き込み対象データを設定支援ソフトで読み込み、正常かどうかを確認してください。
カキコミ ニ シツパイ サギョウヲ チュウシシマス が液晶画面に表示されている	本機へのデータ書き込み、またはPCカードへのデータ読み出しで異常が発生しました。PCカードが本機対応品でないか、PCカードにライトプロテクトが設定されている可能性があります。(89ページ参照)
ステニ ソンザイ シテイマス ウワガキ シマスカ? が液晶画面に表示されている	PCカード上に同名のファイルが存在しています。上書きしてもよい場合は、 [決定] スイッチを押してください。上書きしたくない場合は、 [取消し] スイッチを押してください。
メッセージ ソウシュツチュウ ショリ ヲ チュウシ シマス が液晶画面に表示されている	業務放送で本機内蔵のメッセージを再生中に、動作履歴の初期化が実行されたときに表示されます。再生完了後に、再度書き込みを行ってください。
PCカードヘノ ヨミダシヲ モウイチド シテクダサイ! が液晶画面に表示されている	PCカードへのデータ読み出し中に、非常放送や緊急放送が起動して作業が中断されたことを示します。再度データの読み出しを行ってください。
ガイトウスル ファイル ガ アリマセン が液晶画面に表示されている	PCカードからデータを読み込むときに、該当するファイルが存在しませんでした。PCカードに必要なファイルが存在しているかどうかを、パソコンで確認してください。
PCカードからの書き込みでファイル 名が表示されない	PCカードに書き込まれたファイルの拡張子が違います。ファイルの拡張子を正しく設定してください。(89ページ参照) PCカードのドライブ直下に置いたファイル数が多すぎます。35以下にしてください。(89ページ参照)
	業務放送音源データを作成したときのバージョンが違います。バージョンVer 1.1以降の「設定支援ソフト」で業務放送音源データを作り直してください。(88、93ページ参照)

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WK-EK110, WK-EK115 WK-EK120
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410